

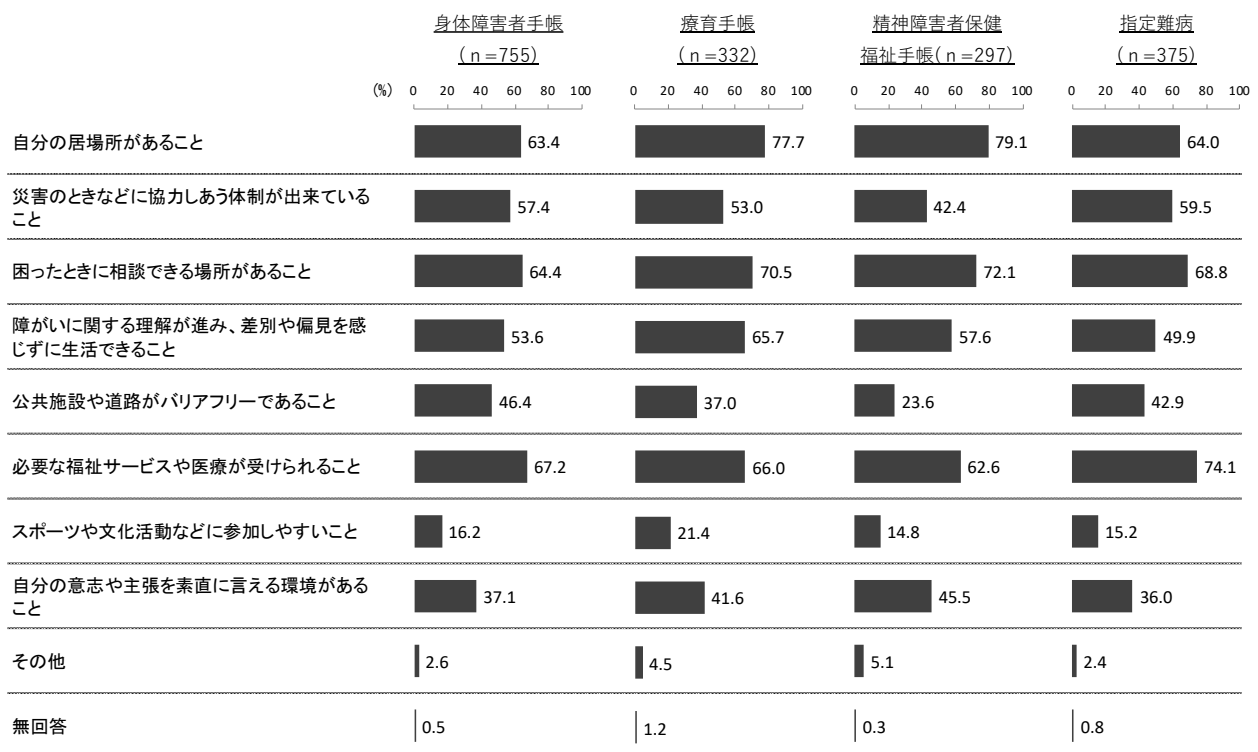
## i 障がいのある人の調査結果

### 1. 地域での生活について

#### (1) 地域における共生

問1 あなたにとって、「地域における共生」を進める上で、特に重要だと思うことはなんですか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、指定難病者では、「必要な福祉サービスや医療が受けられること」が最も高くなっており、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では、「自分の居場所があること」が最も高くなっている。そのほか「困ったときに相談できる場所があること」「災害のときなどに協力し合う体制ができていないこと」なども高くなっている。



#### (その他)

- ・ 高次脳機能障害の理解を広める
- ・ 高齢者に対して障害者と高齢者の違いを周知徹底させること
- ・ 手帳等をカミングアウトしても普通の人のように働けること
- ・ 障害者にも色々な障害があるという事
- ・ 町内の理解
- ・ 普段から学校や地域活動において区別なく同じ場所空間で生活できていること。突然いきなり友達になんて健常者同士だって無理
- ・ 無理に共生しようとするしないこと
- ・ 幼児の頃から中学生生活まで同じ教室ですごす
- ・ バス停が近くにあること
- ・ 階段が大変
- ・ 交通機関及び民間店舗などのバリアフリー化
- ・ 公共交通機関、障害者タクシーなど
- ・ 公共施設に、自分にとっての不便が無いこと
- ・ 障害者用交通利用の充実。(乗合いタクシー等)
- ・ 赤ちゃん以外でオムツをしている人の、オムツ交換が出来るトイレが欲しい
- ・ ショートの行き先を増やしたい
- ・ 平等な援助
- ・ もし一人暮らしで支援員が来て、出来ない所をしてくれたり、もし施設で入居して働きながら安心して暮らせること
- ・ 地域では無いがハビリ先で良い環境がある事
- ・ 父子、母子家庭などのサポート環境
- ・ 障がい者をバイトや社員として雇ってくれると嬉しいです。
- ・ 身体が悪いなりに働ける場所がある事
- ・ 本当に働けない人の声にもう少し耳を傾けてほしい。見た目だけで判断して欲しくない。
- ・ 様々な分野の仕事が有る事です。
- ・ 1と関連するが、以前住んでいた所(生まれ育った)では障害の有無関係なく近隣の方々が声がけ等をして下さって、何でも言える良い環境でした。
- ・ 障害者同士の出会いの場があること
- ・ お金があること
- ・ お金を持っていること
- ・ 家庭内の問題なのに、高校で大きく問題視され、学校を続けるつもりなら、まずは無期停学と言われました。無期停学の間に「毎日これだけの課題をこなさない」と言われましたが、正常な人でも大人でも難しい内

容で、発達障がいを持つ自分には、到底できるとは思いませんでした。「さっさと自主退学してくれ」と言われているように感じ、退学しましたが、心に負った傷が深く、なかなか先に進めない状態です。学校による規則はあるでしょうが、「この子が少し頑張ればできる範囲」というのは人によって違うはずで、配慮があるべきだと思います

- ・ 外国人多くアパートも大勢で住んで 自転車バイク車合う人皆外国人 悪い人と決めつける訳では無いですが 災害防犯凄く不安
- ・ 健常者ならば 普通の事でも 障害者それぞれのハンディキャップに 対しての 出来ない事等に見下すような 眼差しが無い様な そして その様な 行為が軽蔑される様な 社会の 風潮が 確立された社会が 望ましいですが、未だそこまでの社会環境が出来上がってはいない…
- ・ 健常者向けのサービスにハンディがある人も自然と参加できる環境が望ましいです。
- ・ 今は親と同居してるがそのさきが施設のみんなとうまく出来るか心配です
- ・ 私は虐待によって精神疾患になりました。治療先が市内にないために浜松まで通院もしています。通院先からは家族との接触は禁止されている

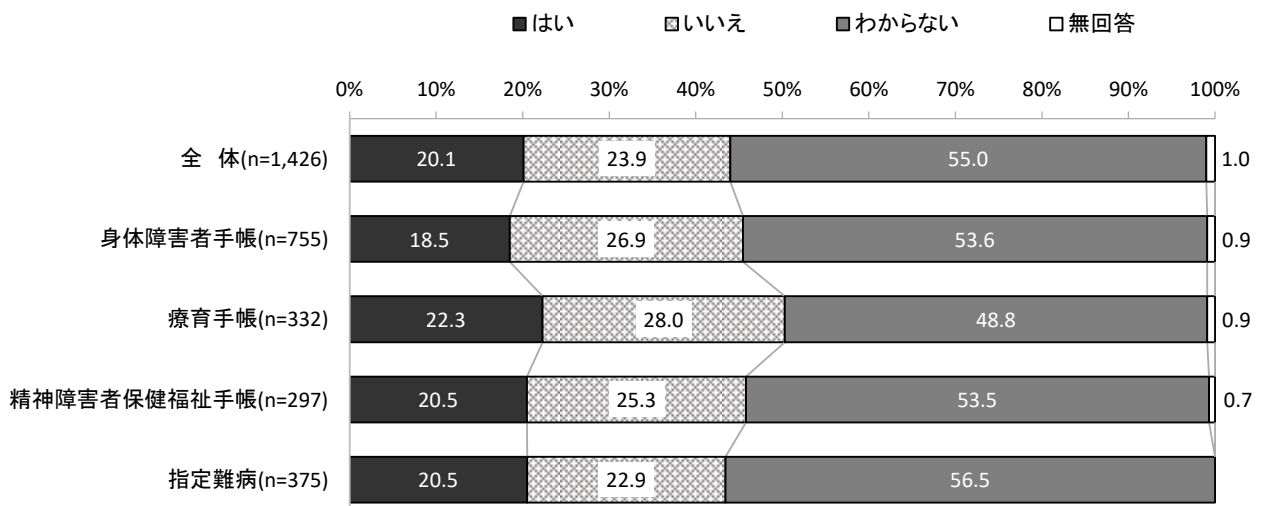
のに、搬送となれば問答無用で両親へ連絡をされ、病状が不安定になります。今は1人暮らしですが、地域で共生していくために、虐待親への連絡などの危険性を救急隊や病院に分かってほしいと願っています。

- ・ 治安、近隣住宅について健全なこと
- ・ 共生の意味がよく分からない
- ・ 質問の意味がわかりません
- ・ 重度障害のため理解不能
- ・ 小さな事にはなりますが困っています。聴覚障害あり同報無線が聞こえません。町内会の役が周ってきますが会合に出ても聞こえませんが断る事もできません。
- ・ 障害を持つ人が自分で自由に生活できること。
- ・ 他の人たちと変わりなく過ごせること。
- ・ 他者との健全な関係を築きやすい場があること。依存ではなく、自分なりに自立できる環境があること。

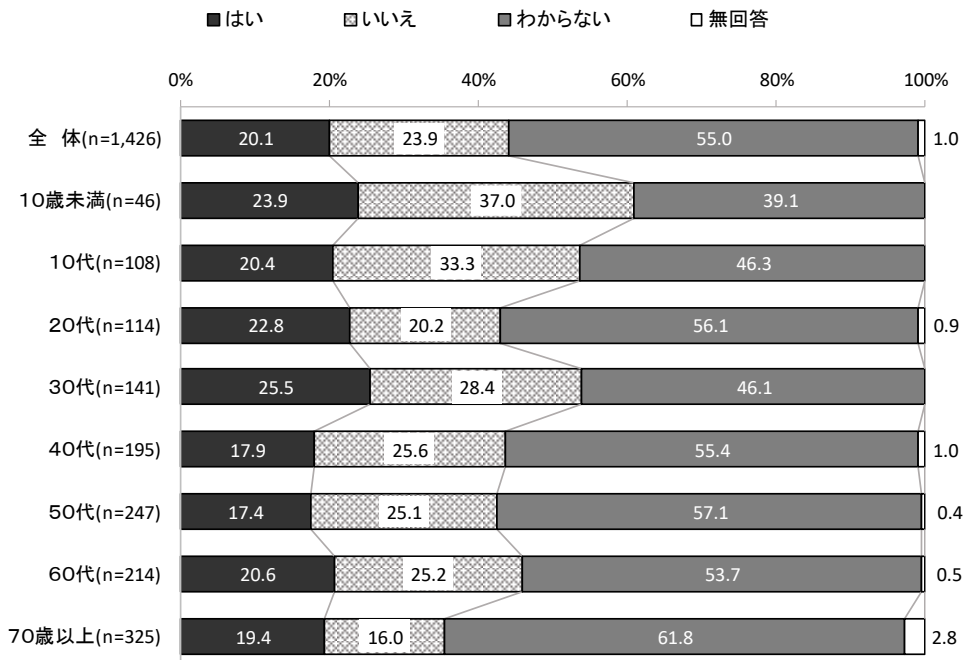
**問2 あなたの身近では「地域における共生」が進んでいると思いますか。「地域における共生」の具体的な例は、前問の選択肢を参考にお答えください。(ひとつだけ)**

全体では、「はい」20.1%、「いいえ」23.9%、「わからない」55.0%となっている。身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「はい」は2割前後となっており、大きな差はみられない。

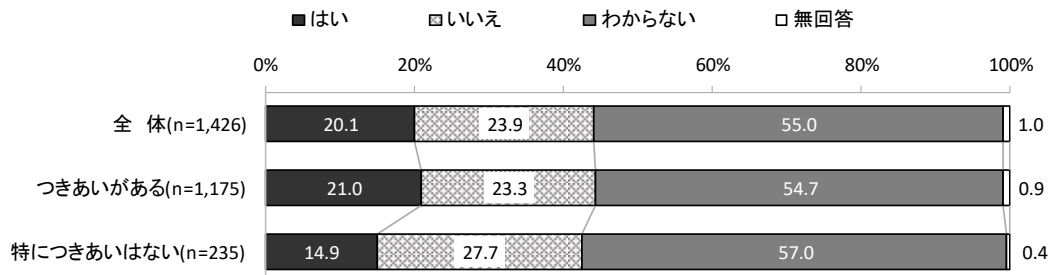
年齢別でみると、10代以下で進んでいないと感じている割合が高くなっている。



<年齢別>

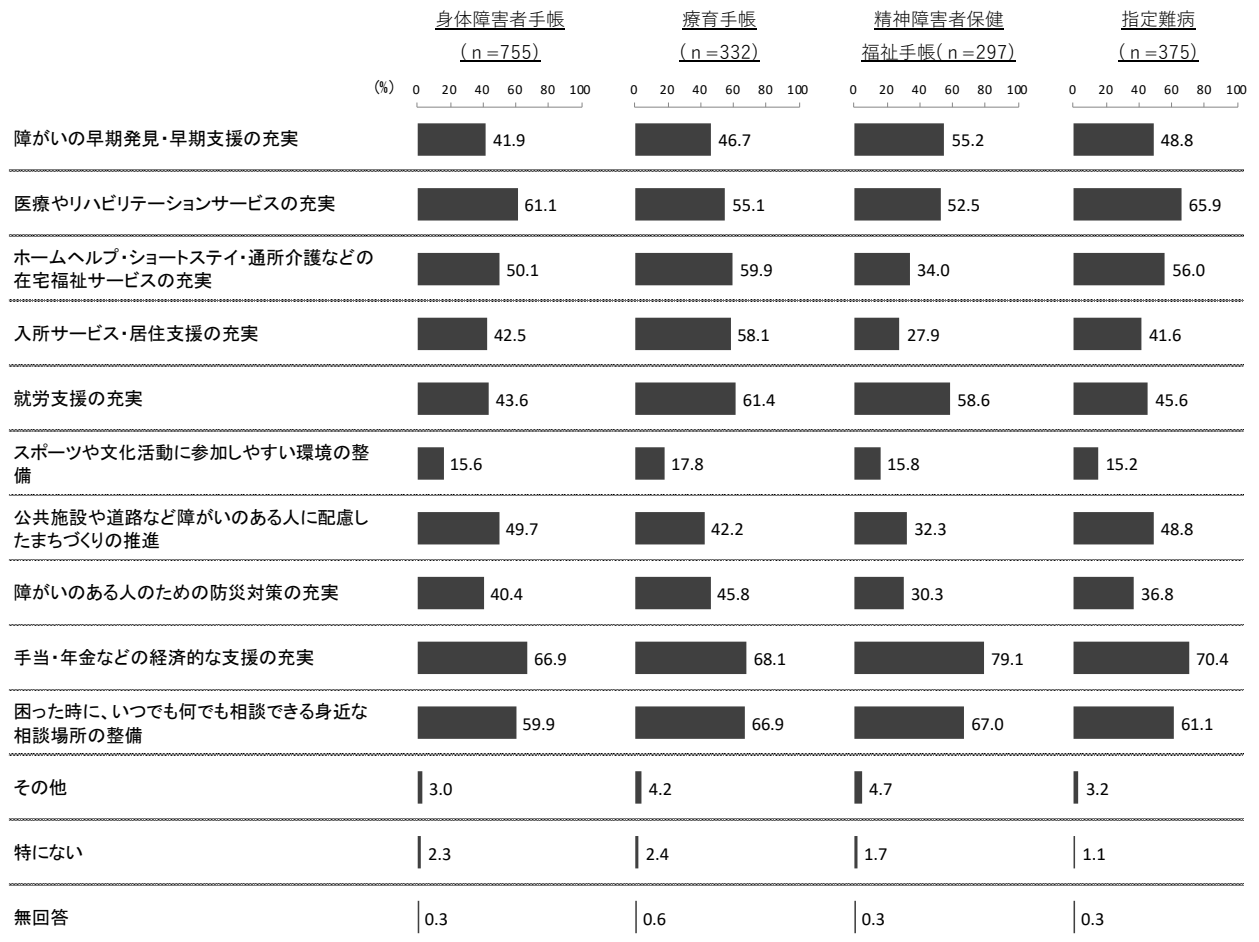


<近隣・地域の人との付き合い状況別>



**問3 あなたは、障がいのある人が安心して暮らしていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)**

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「手当・年金などの経済的な支援の充実」が最も高くなっている。身体障害者手帳所有者、指定難病者は、「医療やリハビリテーションの充実」が2番目に高く、次いで「身近な相談場所の整備」となっている。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者は、「身近な相談場所の整備」が2番目に高く、次いで「就労支援の充実」となっている。

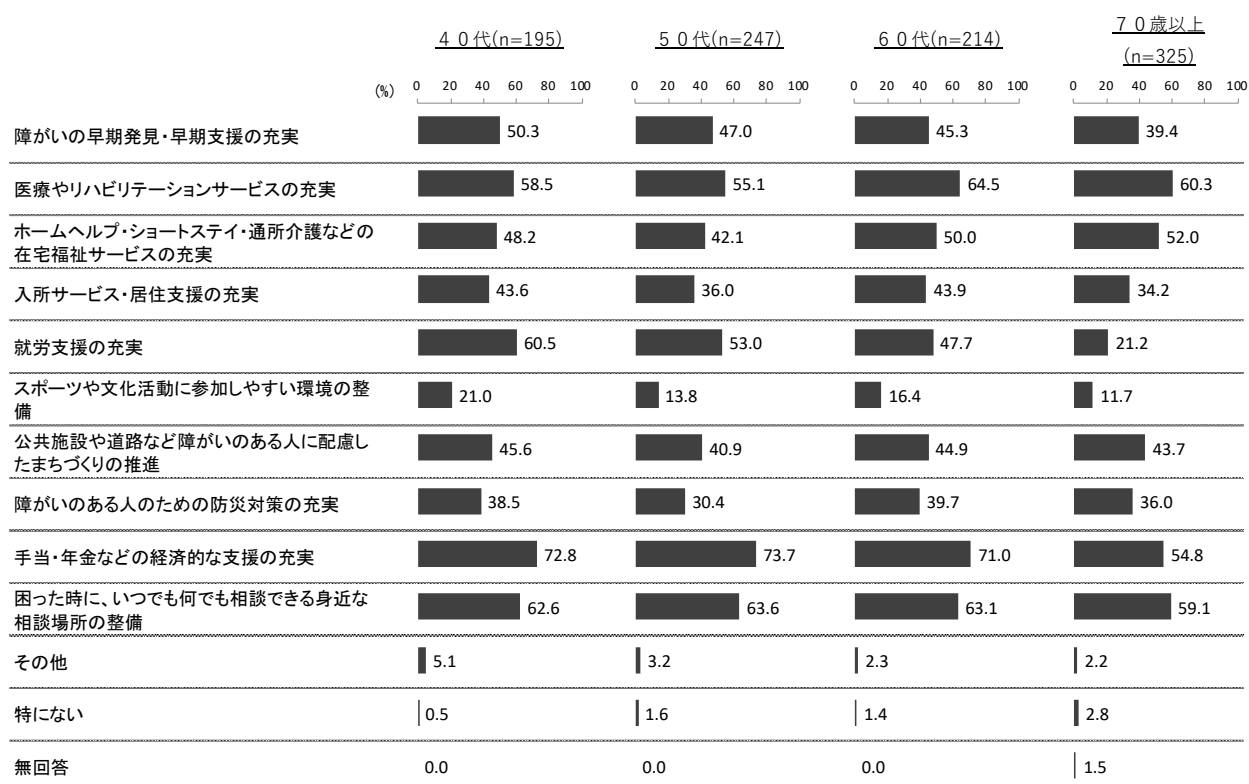
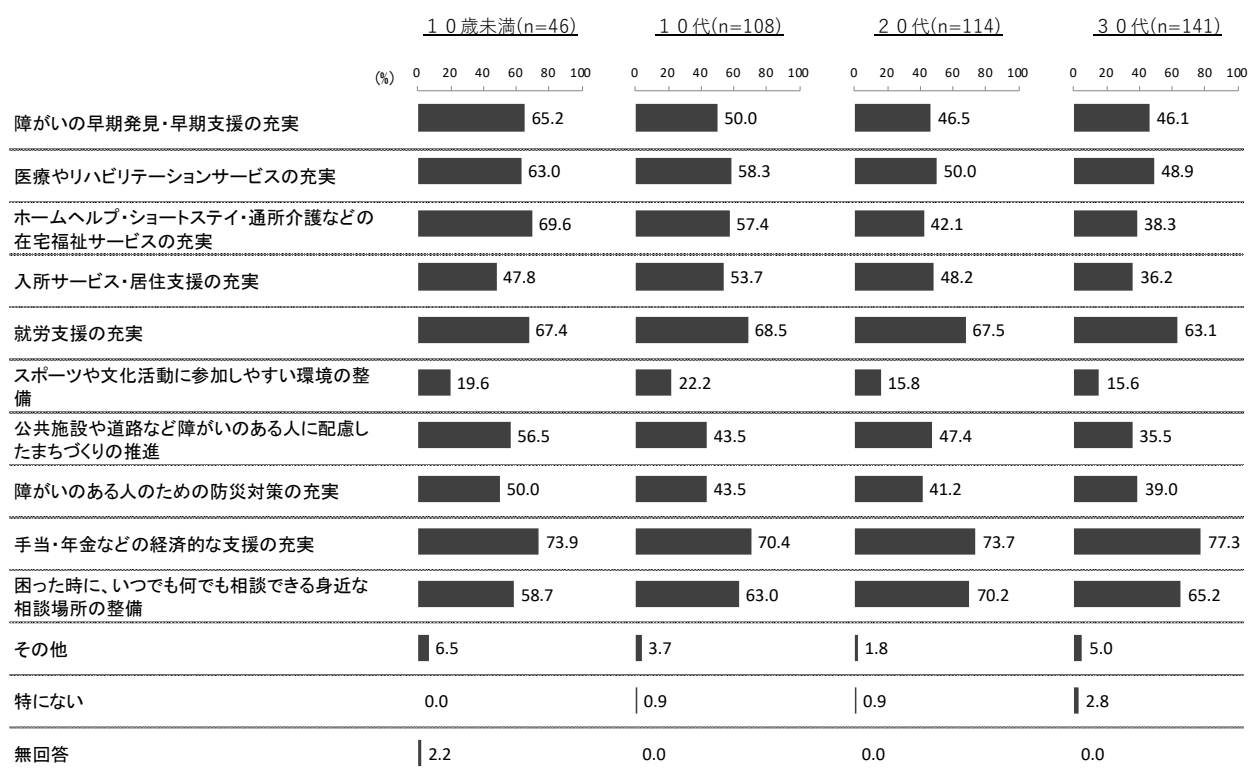


(その他)

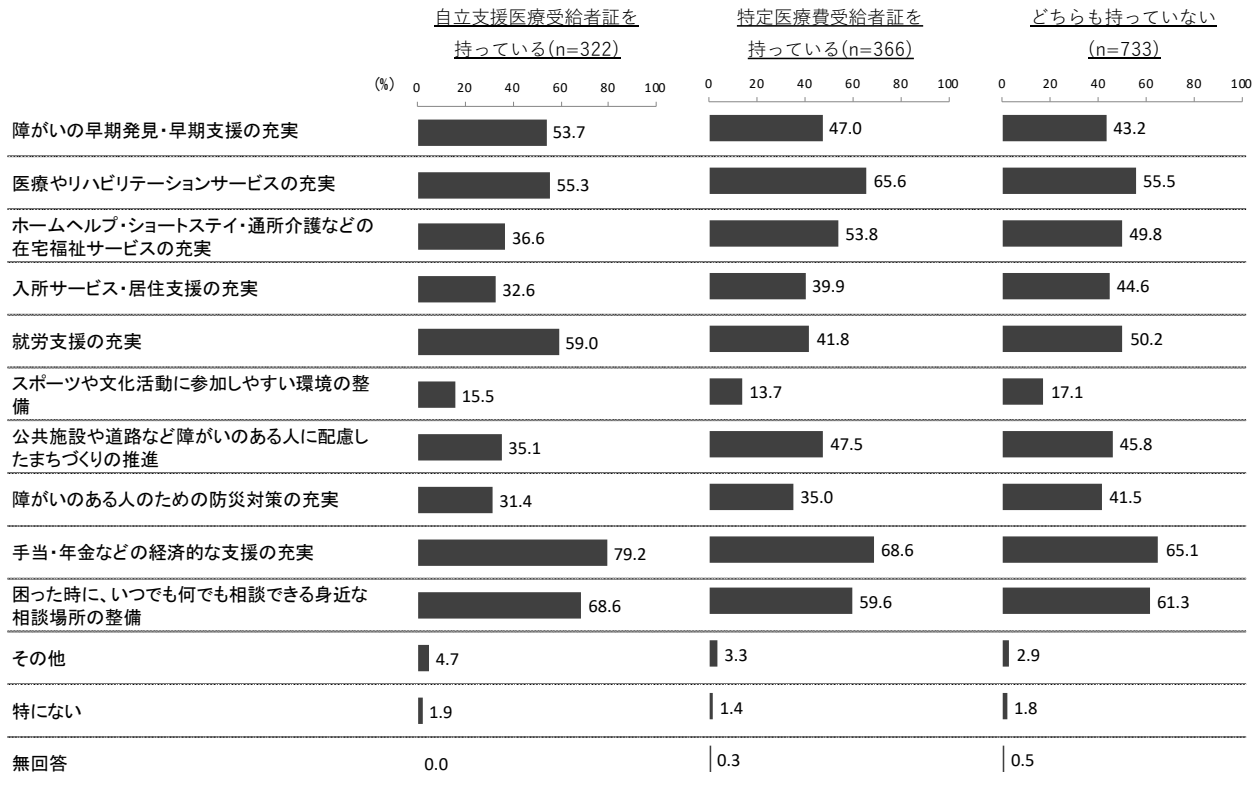
- ・ 会社や近隣の人の障害に関する理解
- ・ 教育です。誰でも障害者になりうること、だからこそ互いの協力関係が大切であるという意識を醸成することが必要だと思います。
- ・ 高齢者に対して障害者と高齢者の違いを周知徹底させること
- ・ 差別の解消
- ・ 差別や区別のないこと
- ・ 小さい頃からの差別、区分意識の排除
- ・ 障がいがある人が安心して暮らすためには、周りの人たちの支えが重要であると思う。そういった家族、きょうだい、支援者に対しての何か集まり、心のケアなどが気軽にできるといい。
- ・ 障がいに対する認知向上「劣っているのではなく違うだけ」など、知る機会を増やす。
- ・ 障害への理解
- ・ 障害者雇用に関して、努力義務や企業任せなので、雇い主も雇われ側双方大変だと感じます。働くことへの充実さを前向き検討していただきたいです。
- ・ 障害者雇用の充実性
- ・ 障害者駐車場の違反罰則化、県庁周りが歩道傾斜で危ない
- ・ 障害者用駐車場を使用する健常者の罰則化
- ・ 幼ない頃からあたりまえに接していれば自然と助け合いができる
- ・ 理解の促進、その教育の拡充。差別や偏見への罰則規定を設けるなど。
- ・ 医師が記載しない事
- ・ 医療機関に受診するための福祉バス
- ・ 医療費が高額で負担が大きい 仕組みも分からず区分も自己負担が多く途方にくれます
- ・ 病気や怪我で急性期の病院に入院した際、寝たきりにならないような治療をしてもらえる
- ・ 薬の調達
- ・ テーマ型コミュニティ等の集まり
- ・ 健常者が障がい者と関われるコミュニティづくり
- ・ 手話サークルに通い、交流の場を図る

- ・ 手話で話す事ができる環境
- ・ 話し相手、日常的安否確認
- ・ B 型工賃アップ
- ・ 経済的な援助
- ・ 生活保護、他、手当
- ・ お金を出せば、日常生活を手伝ってくれる人
- ・ たまに障害者の為の支援員が来てくる充実
- ・ 情報の周知、サービス申し込み等、アプリや LINE サービスなどを使った方法
- ・ 日常生活に必要なスーパー、コンビニがある事
- ・ 歩道があるにはあるが狭く、ものが置かれている。
- ・ 利用しやすい交通機関
- ・ バリアフリー社会
- ・ ハンディがあっても、今ある能力を生かすための教育、就労訓練など。特に AI などの技術を使いこなすための教育やハード面での支援など。
- ・ 区役所・県庁役人の協力
- ・ 災害時、すぐ助けに来てもらえるシステムを
- ・ 仕事の拡充
- ・ 自分の障害を周囲にオープンにしないことも選択できること
- ・ 情報の発信の簡易な収集手段
- ・ 生保なので言える環境がほしい
- ・ 通所受給の日数が少ないうえに、3 箇所を曜日で利用しているのですが、月によって足りない時があって言葉や文字の理解が増え、お友達とも遊べるようになってきたのもっと通わせてあげたいのに事業所ごとに決めた日数しか使えず毎月変更するは事業所の方に負担があるので簡単に日数を変えれなくて困ってます。ネットから親が月の日数の範囲内で事業所の利用日数の変更申請ができるようにするとかもっと簡単ににしてほしいです。
- ・ 通常でいけば、親族が自分より先に亡くなると思うので、一番の理解者であり支援者である人がいなくなったとき、ごちゃごちゃした手続きやら地域の中での決まりごとやら、どう対応していったらいいか、という不安は漠然とあります
- ・ 働く人も損をしないこと、働く人に感謝すること

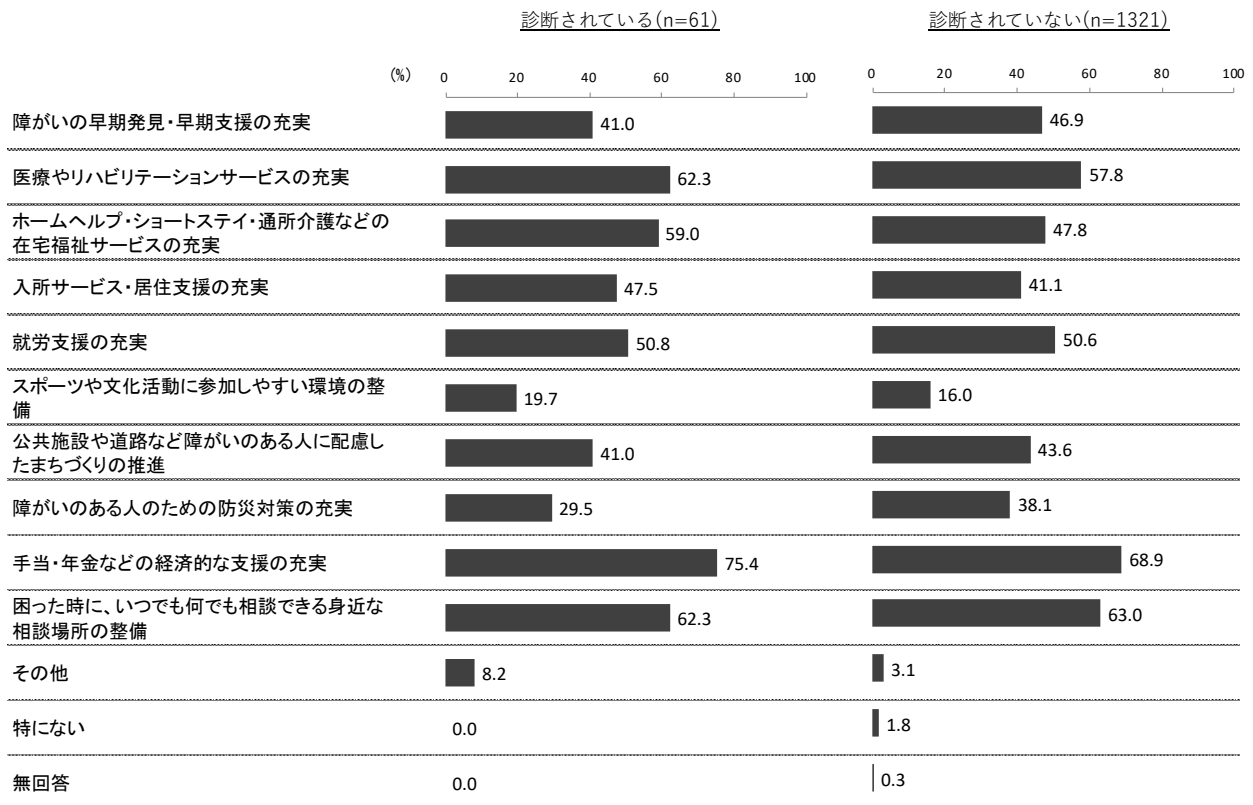
<年齢別>



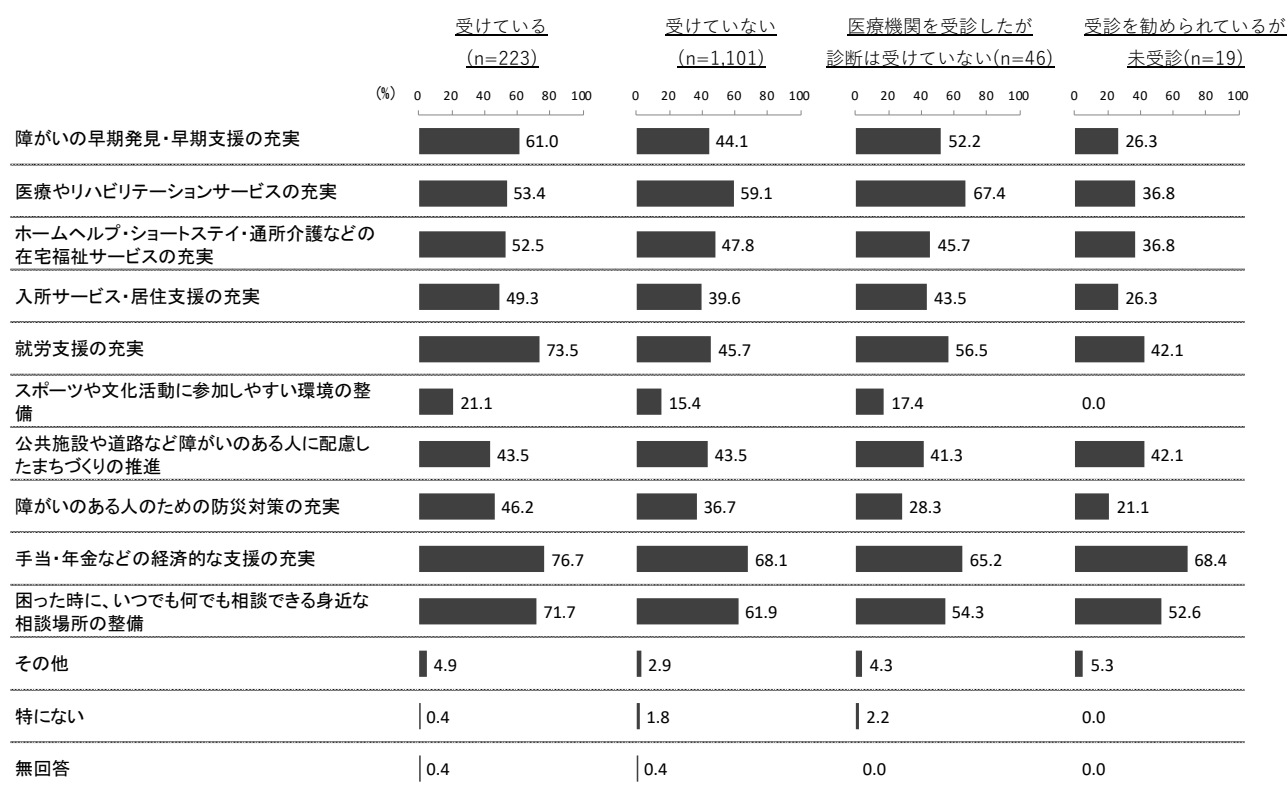
< 受給者証有無別 >



< 「高次脳機能障がい」診断別 >



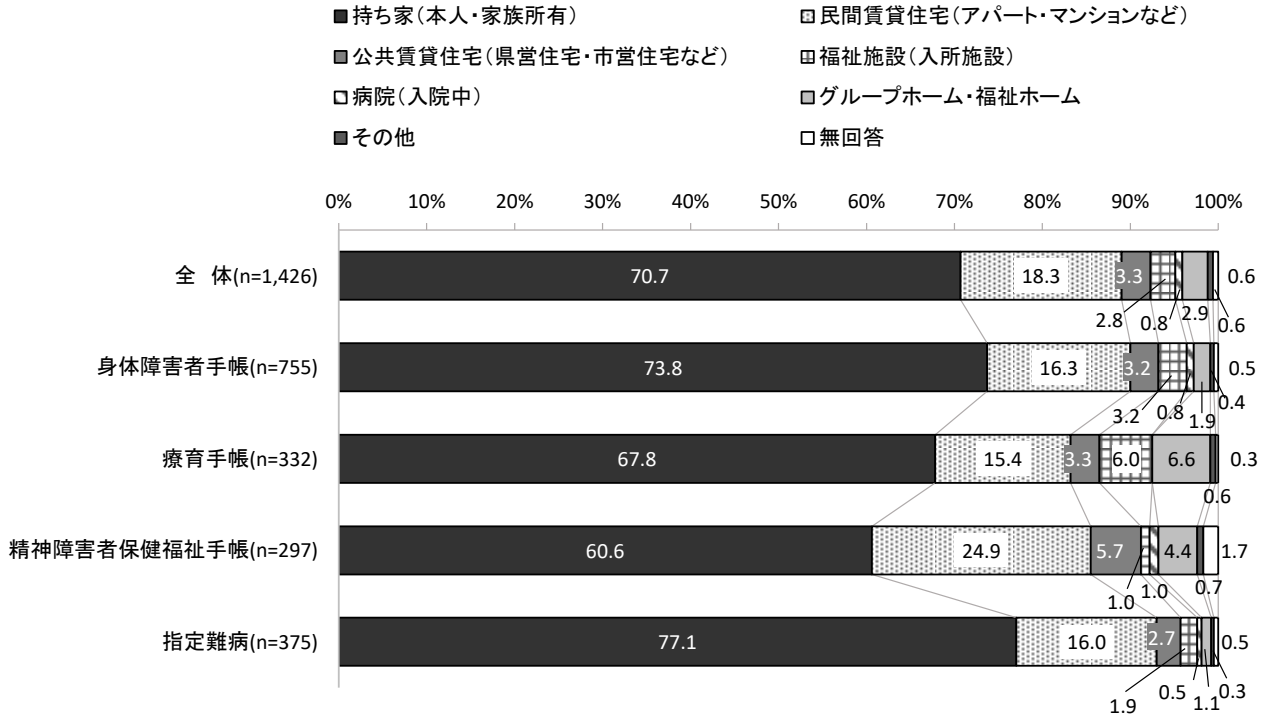
<発達障がいの診断有無別>



(2) ご家族や支援者

問4 あなたの現在のお住まいの種類はどれですか。(ひとつだけ)

全体の70.7%が「持ち家」に住んでいる。「民間賃貸住宅」「公共賃貸住宅」と合わせて自宅に住んでいる人が9割以上となっている。



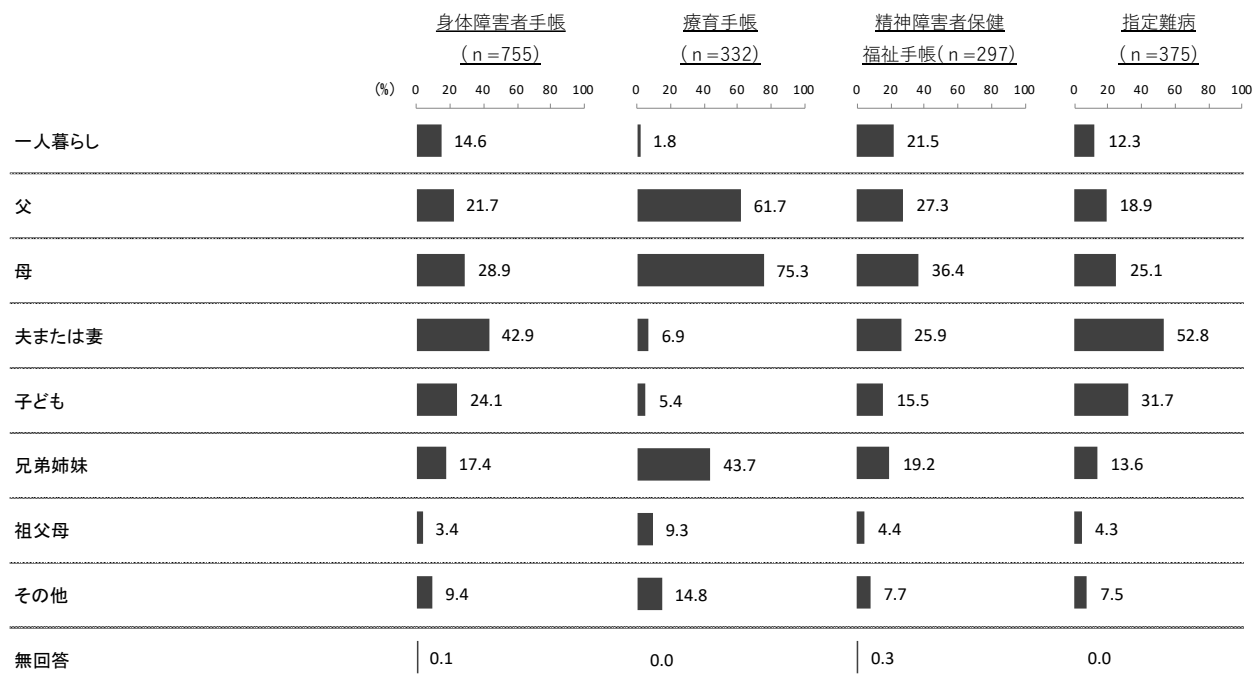
(その他)

マンション専有居住者/普段1人暮らしで半年は入院/借地/回答したくない/社宅(2件)/シェアハウス

**問5 あなたは、誰と一緒に暮らしていますか。(いくつでも)**

身体障害者手帳所有者と指定難病者では、「夫または妻」の同居率が高く、療育手帳所有者では、「母」と「父」の同居率が高くなっている。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「母」と同居している人の割合が最も高いが、「一人暮らし」の割合も2割と、身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者に比べて高くなっている。

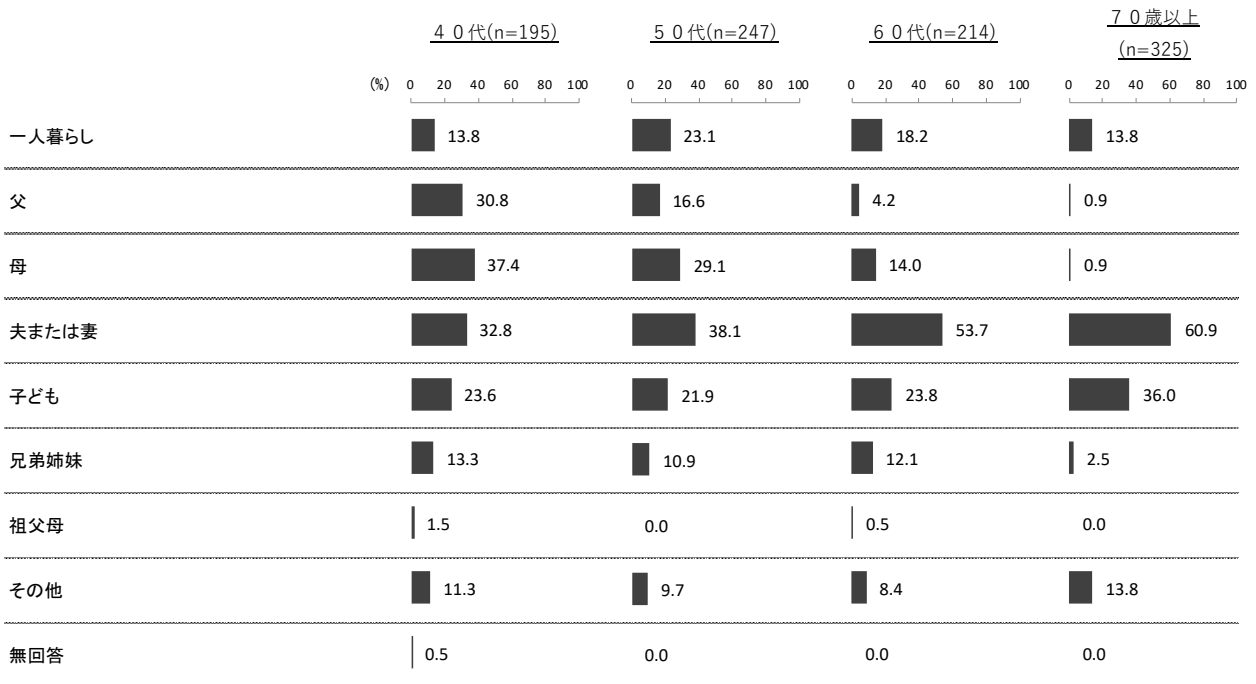
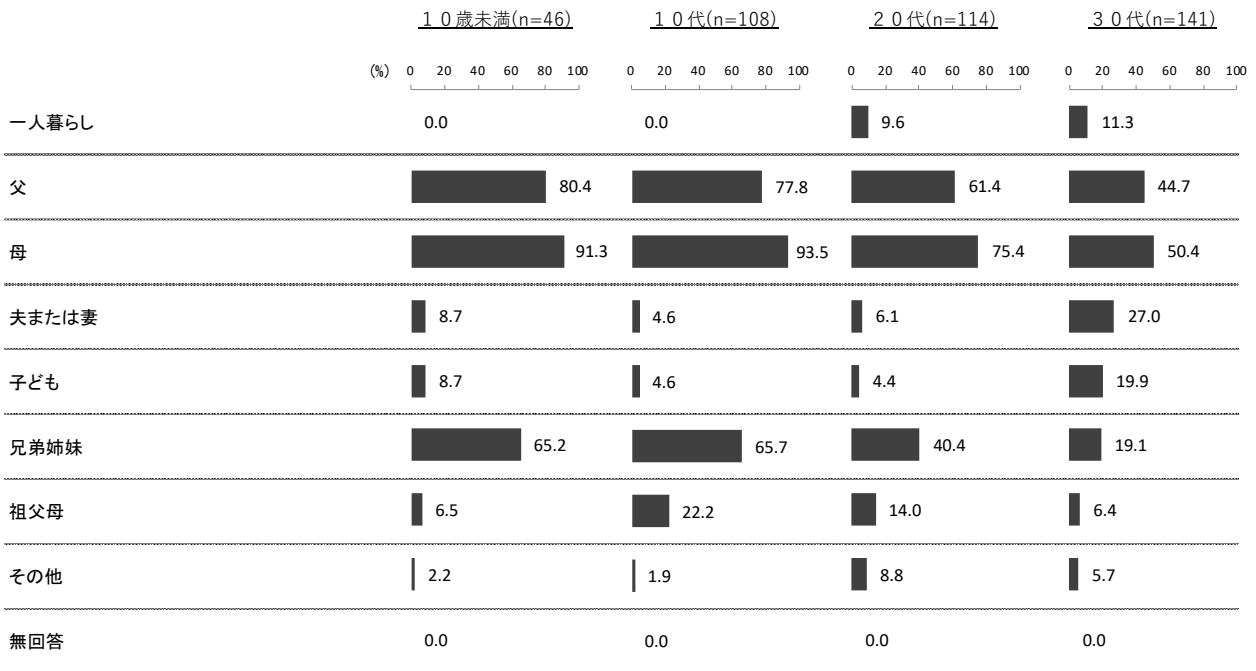
年齢別でみると、40代以下では「母」と同居が最も高くなっている。



(その他)

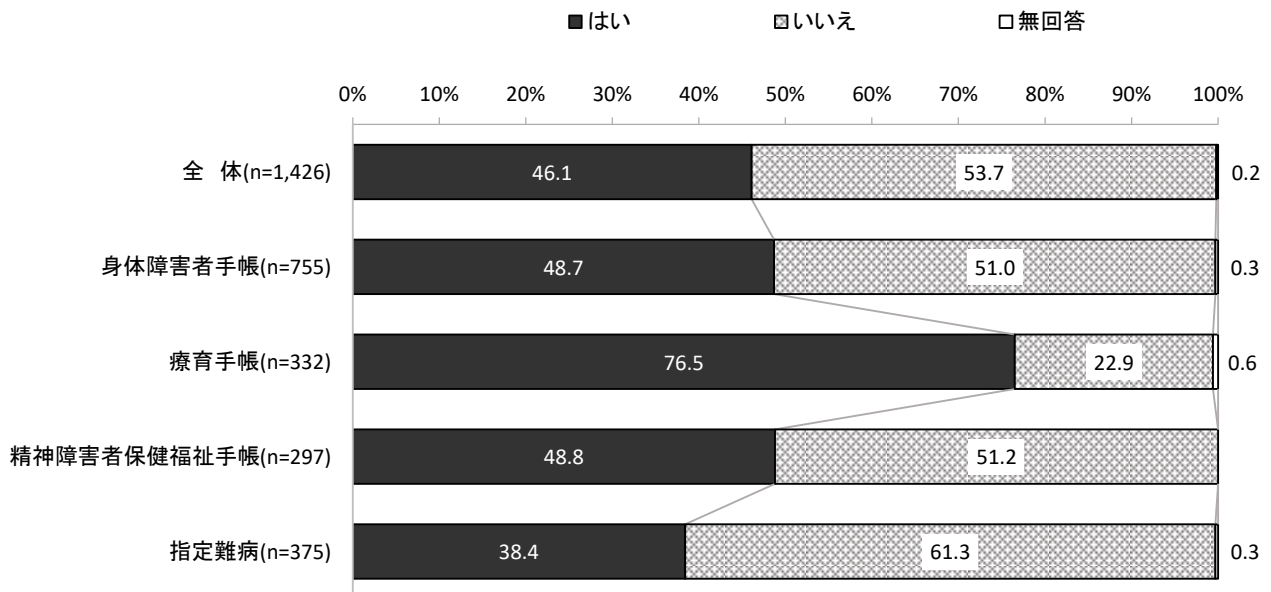
他の施設入所者(40件)/入院中(4件)/孫・ひ孫(15件)/おじ・おば(4件)/甥・姪(2件)/義父・義母(5件)/子の配偶者(6件)/姉妹の家族/曾祖母

<年齢別>



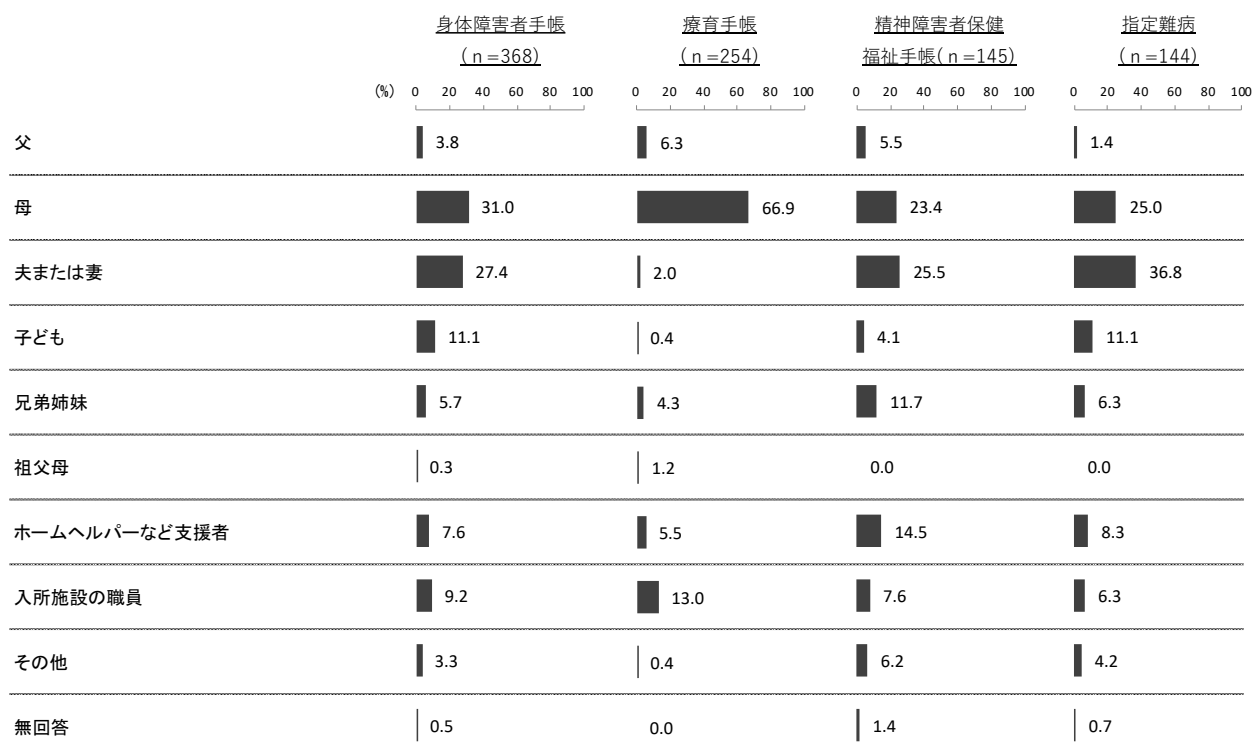
**問6 あなたは、普段の生活で介助又は支援を必要としていますか。(ひとつだけ)**

全体としては、普段の生活で介助又は支援が必要かは、「はい」46.1%、「いいえ」53.7%となっている。「はい」を手帳所有者別で見ると、療育手帳所有者は76.5%と他と比べて高い割合となっている。次いで精神障害者保健福祉手帳所有者は48.8%、身体障害者手帳所有者は48.7%と続く。指定難病者は「いいえ」が61.3%と身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者に比べて高くなっている。



**問7 問6で「はい」の場合、主な介助者又は支援者は誰ですか。(ひとつだけ)**

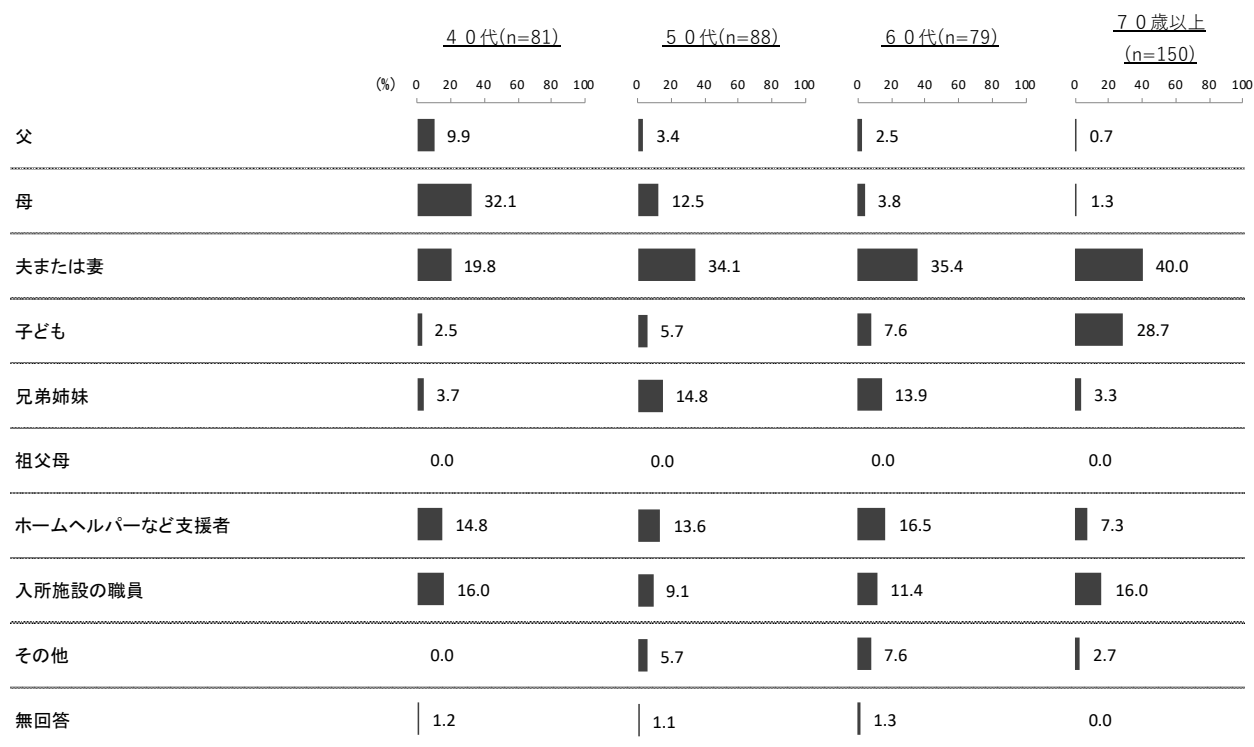
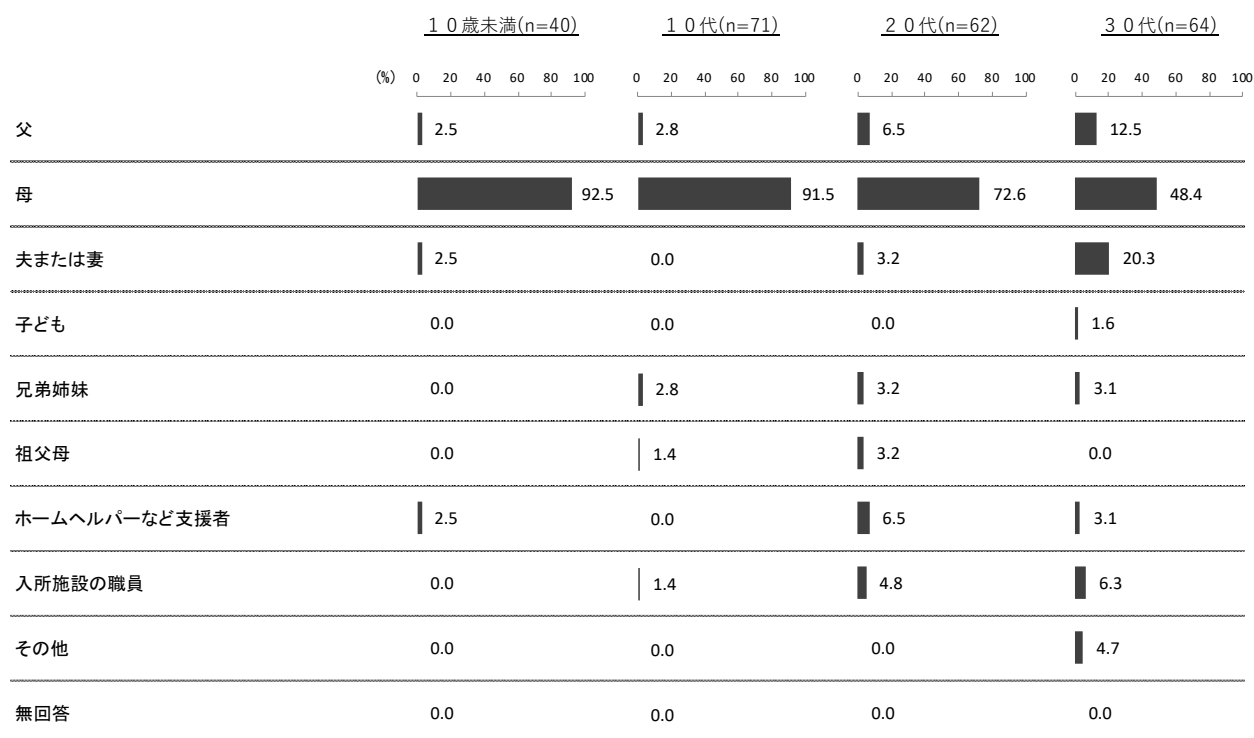
主な支援者又は介助者について、身体障害者手帳所有者と療育手帳所有者では、「母」が最も高く、精神障害者保健福祉手帳所有者と指定難病者では、「夫または妻」が最も高く、次いで「母」の順となっている。療育手帳所有者は、「母」66.6%が身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者と比べて高くなっている。



(その他)

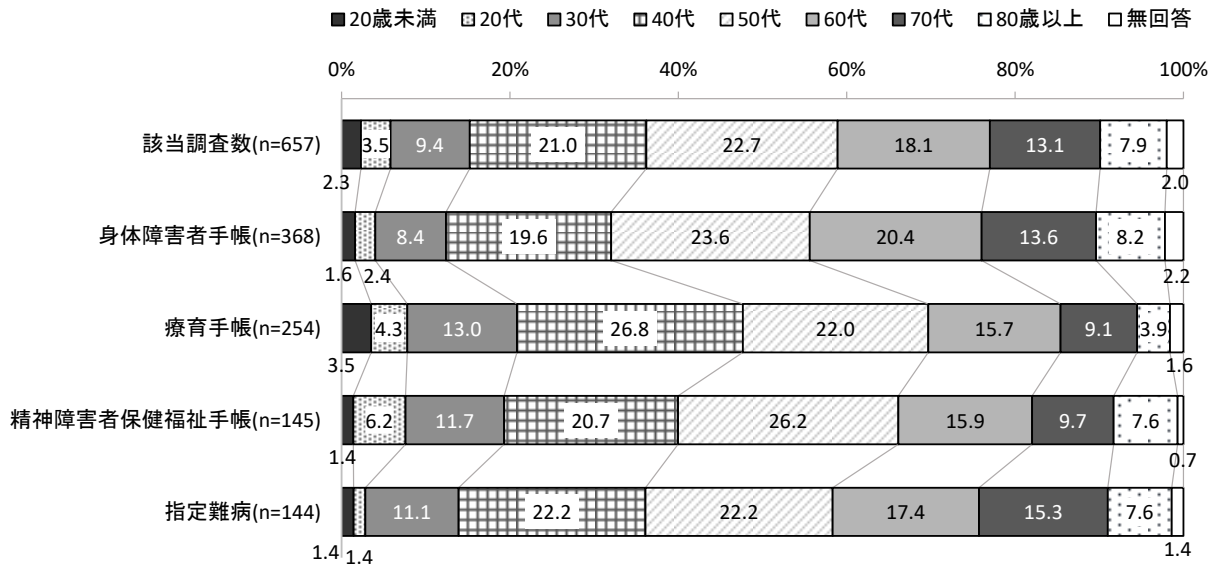
友人(2件)/知人(2件)/訪問看護(2件)/誰もいない(2件)/要介護5の母のヘルパー/B型作業所職員/障がい者雇用先の管理職員/となり同志/民生委員/病院の先生

<年齢別>

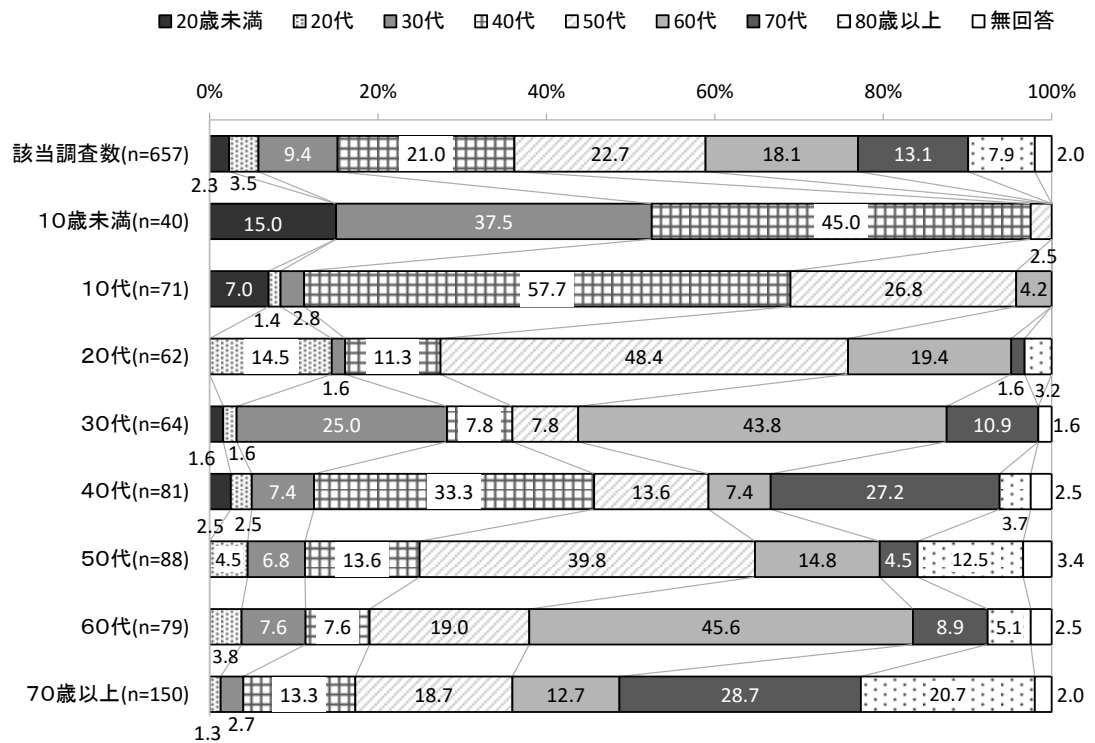


**問8 問6で「はい」の場合、主な介助者又は支援者の年齢はいくつですか。(ひとつだけ)**

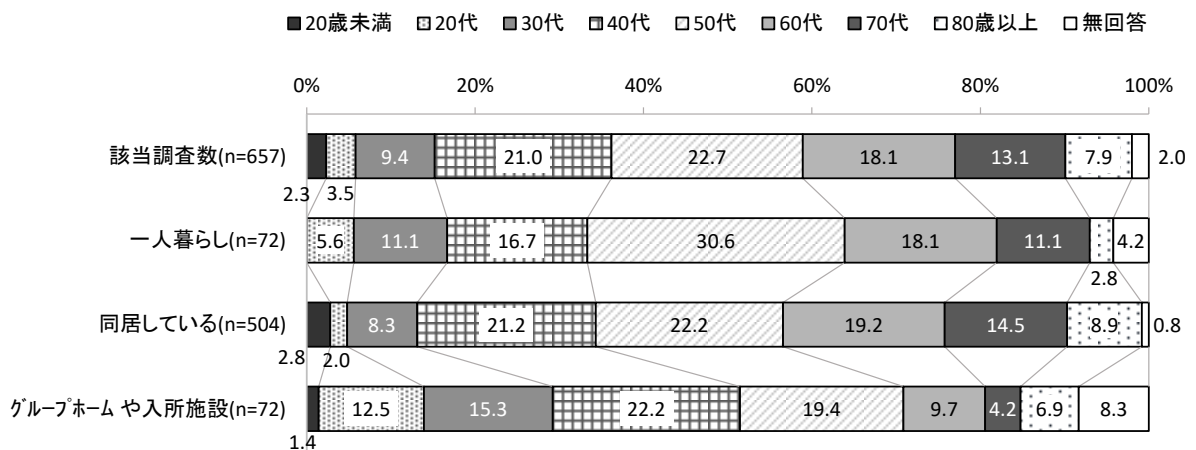
主な介助者の年齢としては、療育手帳所有者で若い世代が多くなっており、40代以下でおよそ5割を占めている。一方、身体障害者手帳所有者と指定難病者では、70代以上で2割以上を占めている。



<年齢別> ※本人年齢別

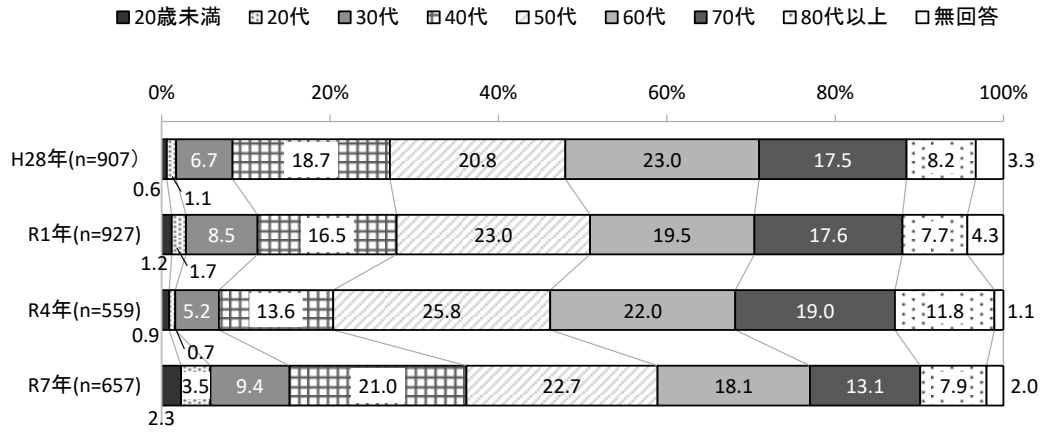


<同居の状況別>



<経年比較>

令和4年の調査では、「30代」「40代」の割合が低かったが、今回調査では、40代以下の各年代において過去最も高い割合となっている。



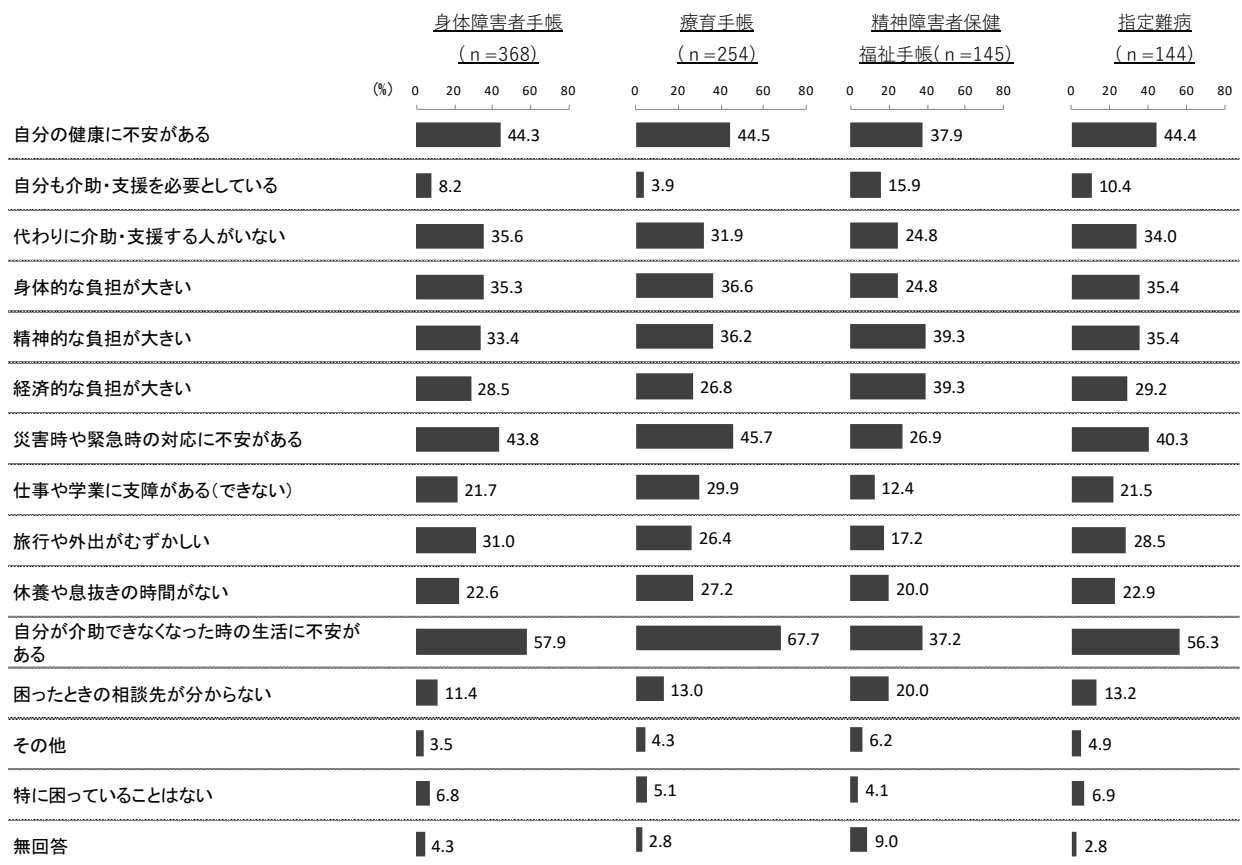
**問9 問6で「はい」の場合、介助・支援をしている方にお伺いします。介助・支援をしていて困ることは何ですか。  
(いくつでも)**

介助・支援をする上で困っていることは、「自分が介助できなくなったときの生活に不安がある」が身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者では5割を超え、最も高くなっている。次いで「自分の健康に不安がある」や「災害時や緊急時の対応に不安がある」などが高い。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「精神的負担が大きい」と「経済的な負担が大きい」が並んで高く、「自分の健康に不安がある」と「自分が介助できなくなったときの生活に不安がある」が僅差で続いている。

対象者の年齢別でみると、10代未満の障がい者を介助している人では「仕事や学業に支障がある」が65.0%と高くなっている。

日常的に医療ケアを受けている障がい者を介助している人については、全般的に「災害時や緊急時の対応」、「身体的な負担」に不安を抱えている人が高くなっている。

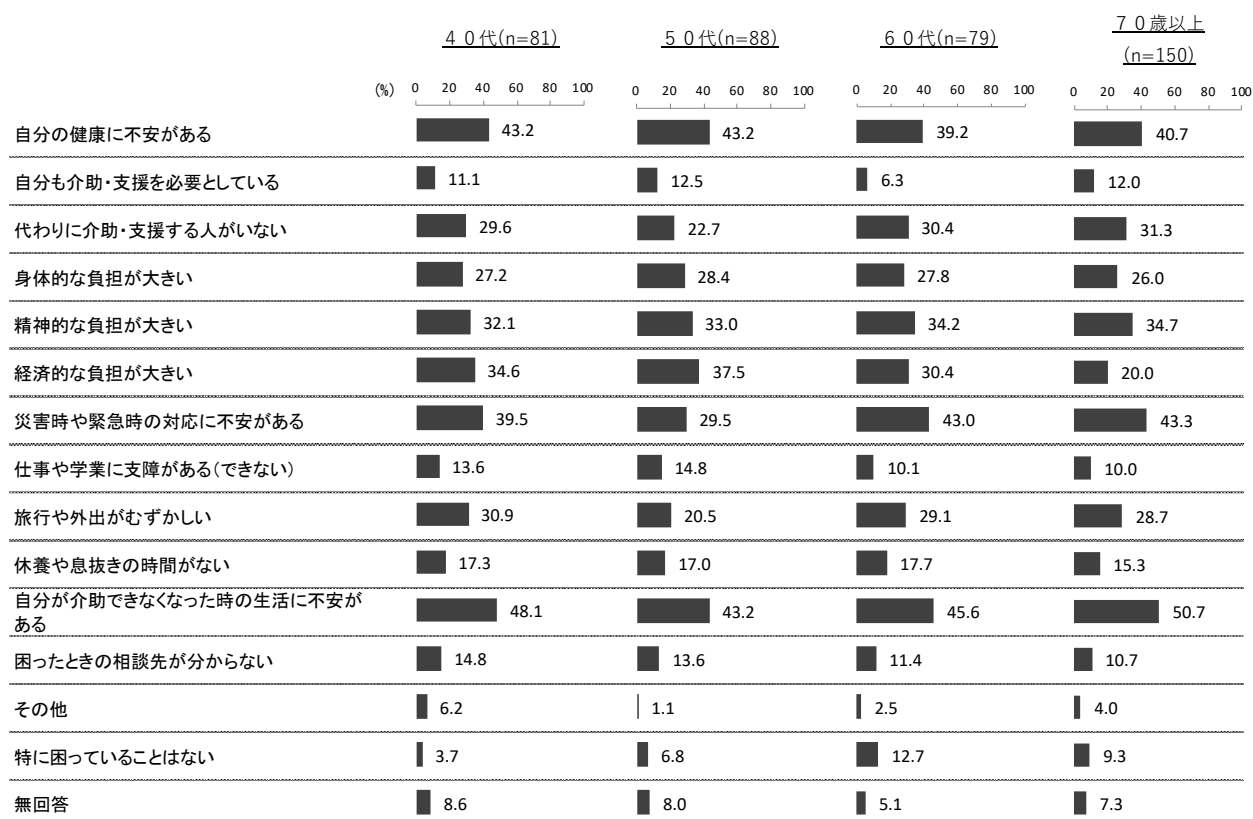
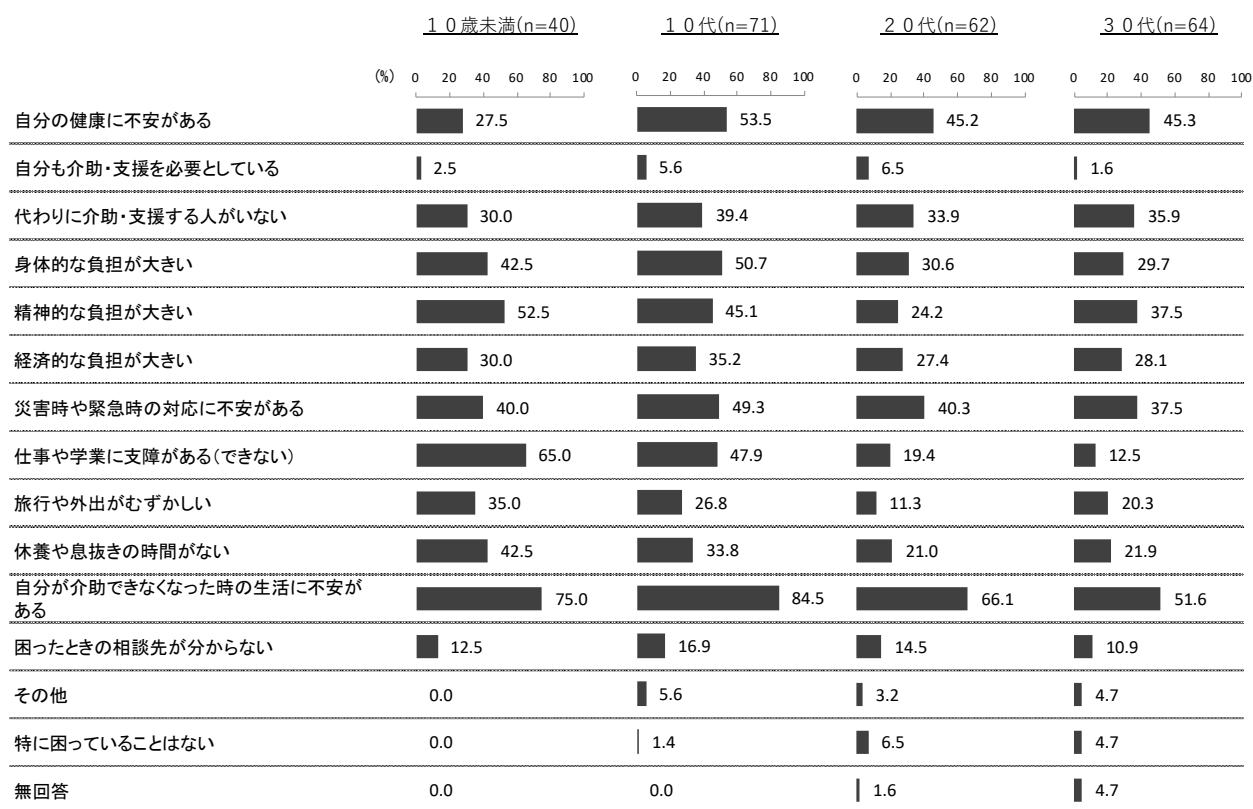
介助者の年齢別でみると、「自分の健康に不安がある」は、年代が上がるほど高くなり、特に70代以上で63.5%と高くなっている。



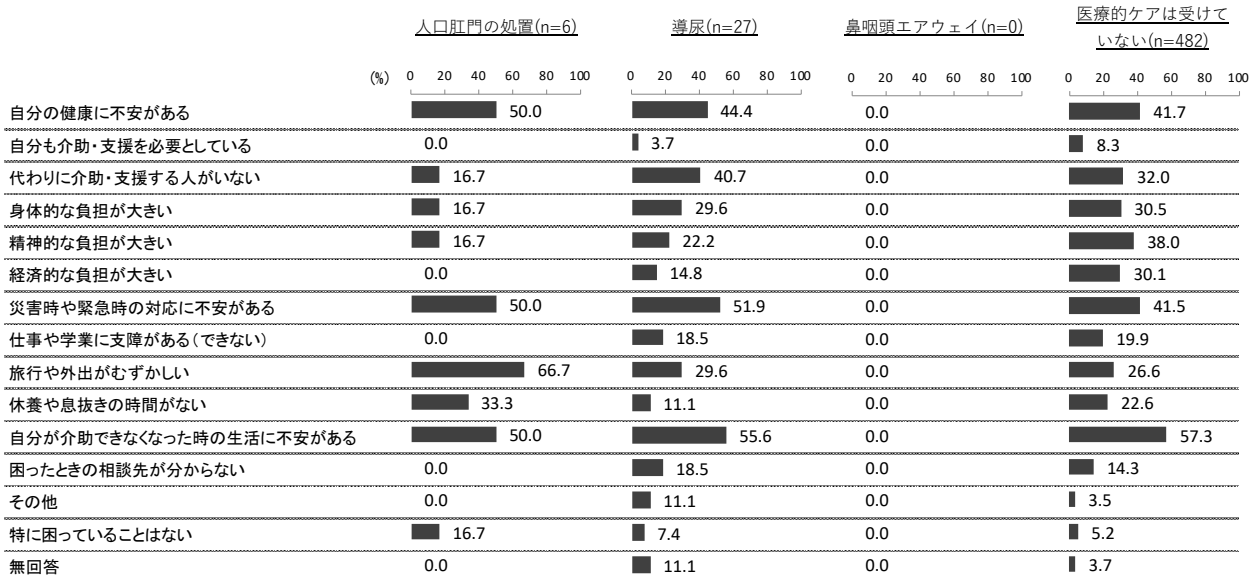
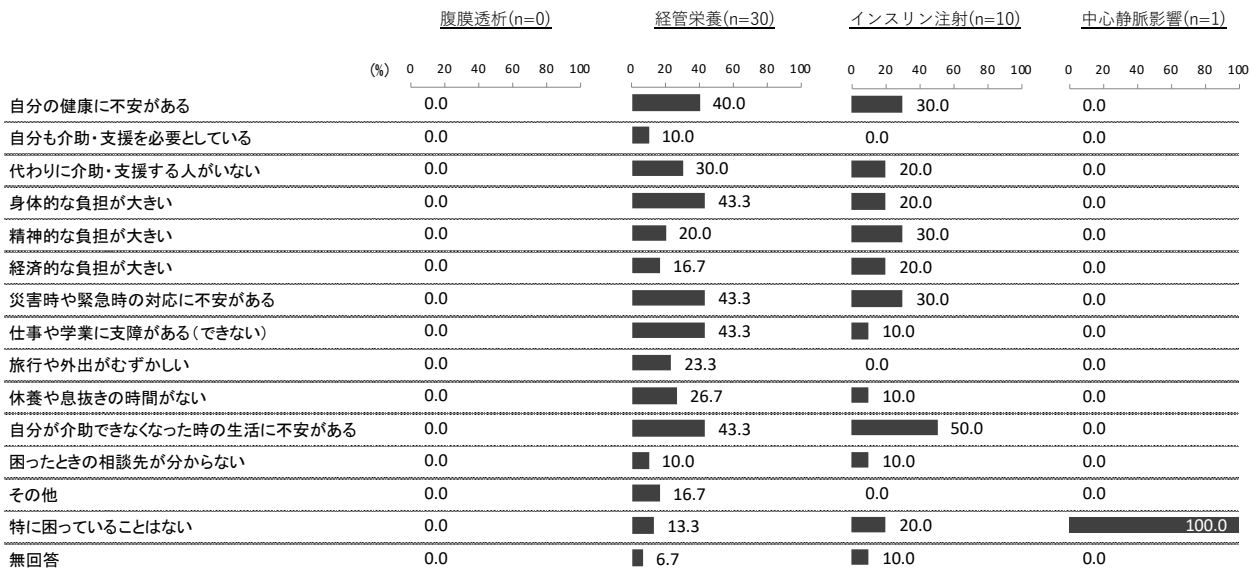
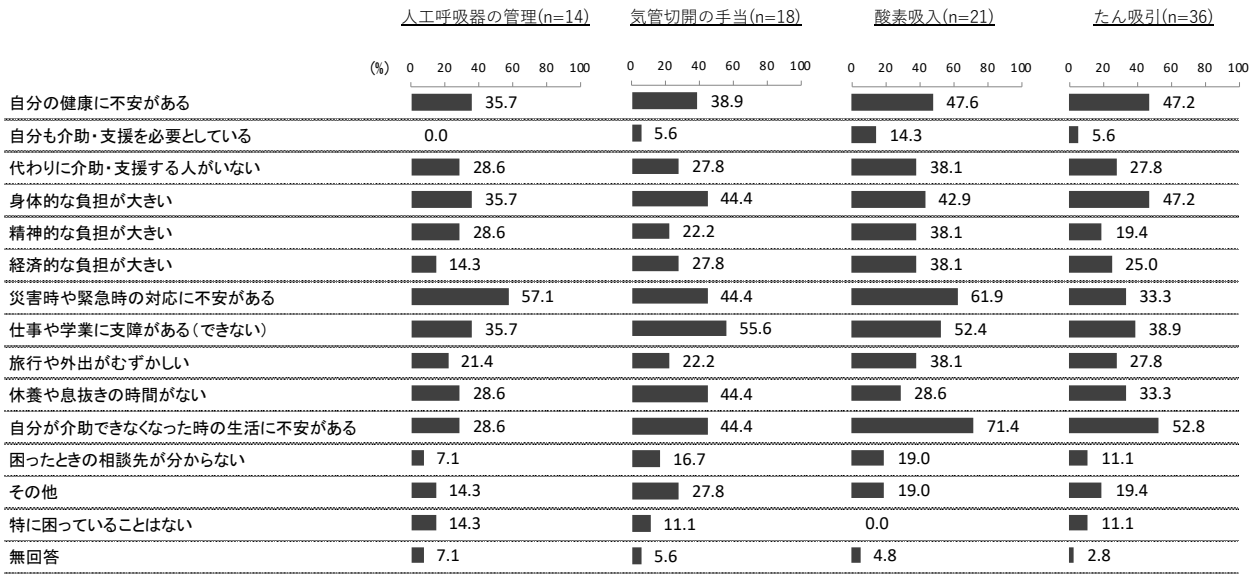
(その他)

障がい者に関する制度が難しすぎる(わかりにくい)/障害が悪化した時の未来が見えない/他の家族の葬儀など、急な外出の用事ができた際、施設に預けることができなかつた/所得制限で福祉サービスを受けるのにお金がかかる。いろいろな手当がもらえない。兄弟はグレーゾーンで診断はないので自費でいろいろなお金がかかり、経済的に厳しい。たくさん納税して支援が得られないつらさがある。/短期入所を利用したい時に利用出来ず困る。2ヶ月先の予定など分からず予約しても当日にキャンセルされて予定が狂う事もある。本当に困る。子供と遠方の親のダブル介護で短期入所をフル活用したいが全く出来ない。/障害の特性から、映画館や美術館、スキーに連れて行けない。/デイサービス等対等でない/身内がない/毎夜出掛けるのが必然となっている/自宅の耐震補強が出来ない。生命保険に加入してない。/介助支援して働く時間が限られる/送迎に関しては、代わりにしてくれるところが無いと思うので、自分に何かあったら同じ生活は難しいのではという不安。時間の融通がききやすかったり、週1から働けるような就職先とのマッチングサービスがあると嬉しい。/車の運転、交通移動手段、近くにスーパーコンビニ薬局がある事/兄弟間での争いが絶えない

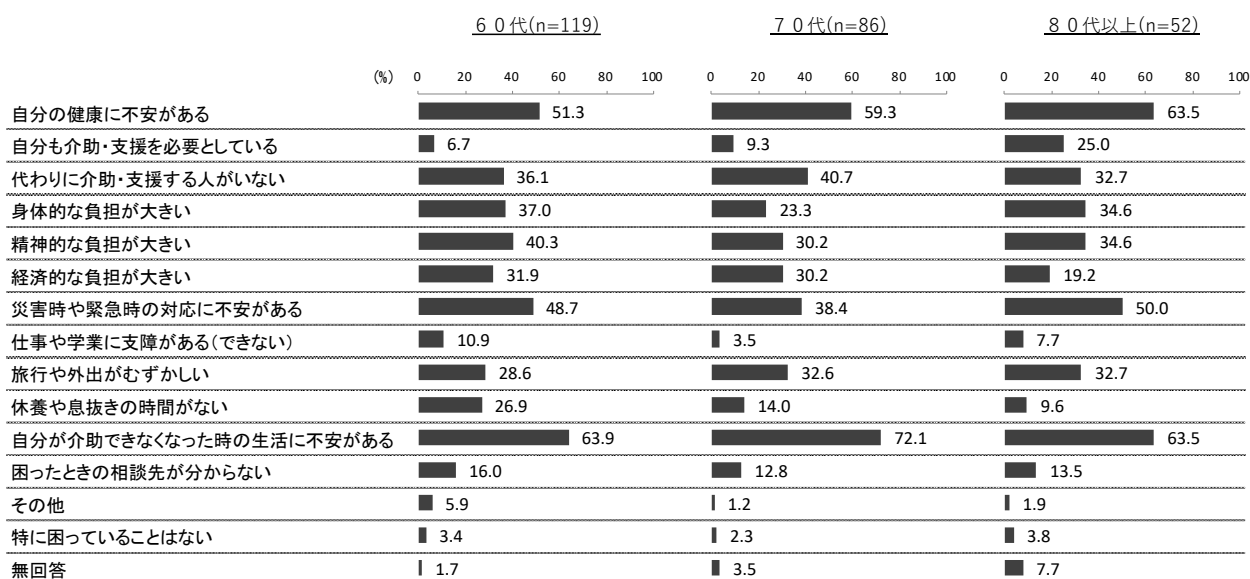
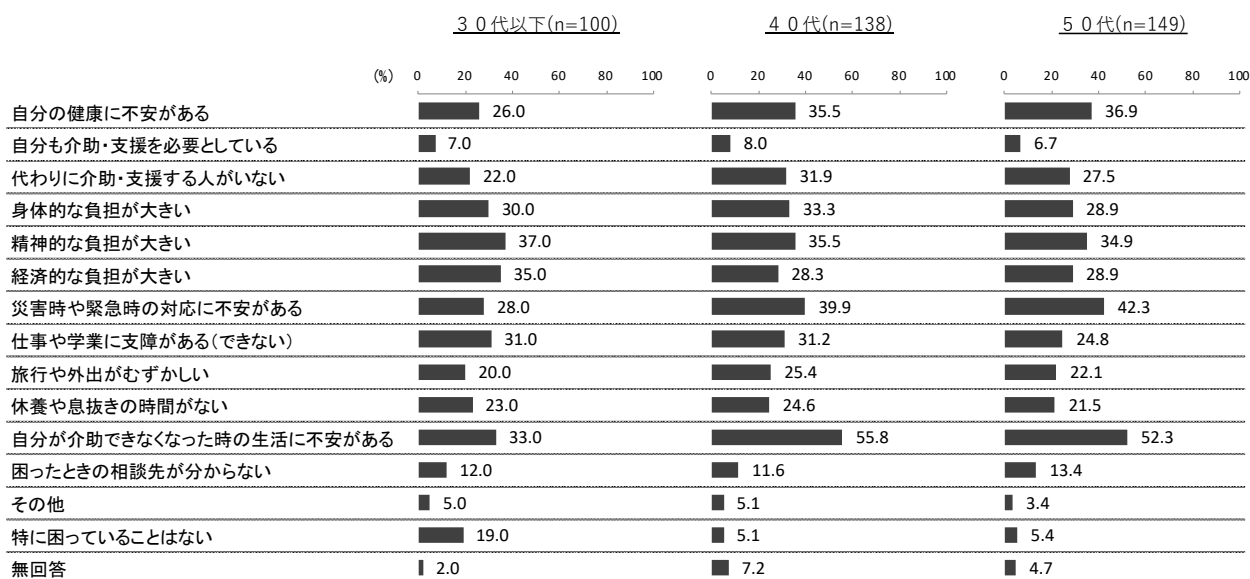
<年齢別>



<日常的に受けている医療ケア別> ※「その他」省略



<主な介助者の年齢別>

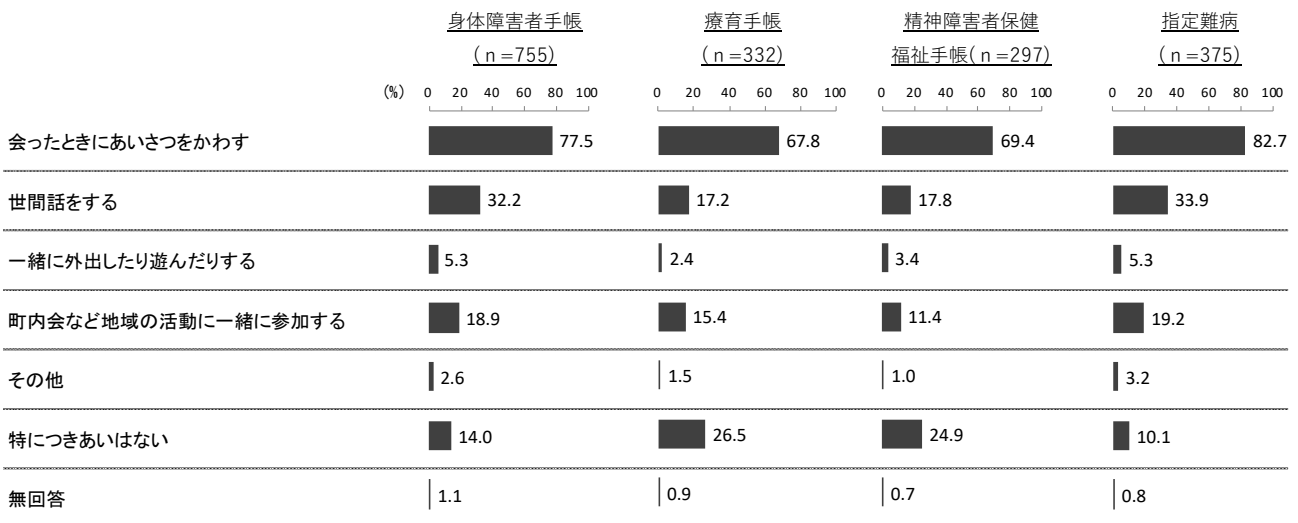


(3) 近隣・地域の人との関わり方

問 10 あなたは、近所・地域の人との程度のつきあいをしていますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「会ったときにあいさつをかわす」が6割以上と高くなっている。身体障害者手帳所有者、指定難病者においては、「世間話をする」が3割以上と高いが、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者は、2割未満となっている。

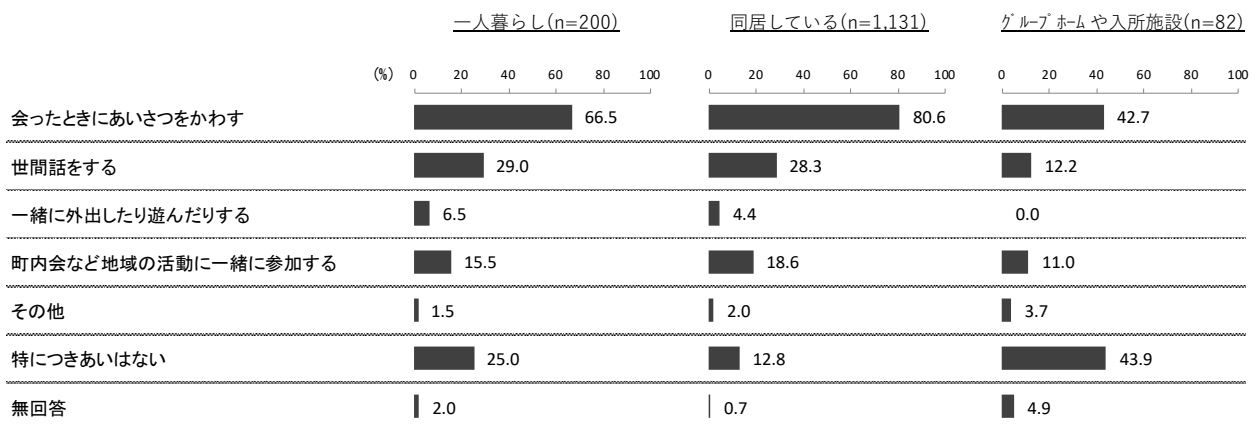
同居の状況別では、一人暮らしの人は「会ったときにあいさつをかわす」66.5%が高くなっており、次いで「世間話をする」29.0%となっている。家族や親せきと同居している人についても、「会ったときにあいさつをかわす」80.6%が高く、次いで「世間話をする」28.3%となっている。一方、グループホームや入所施設を利用している人では、「特につきあいはない」43.9%が高くなっている。



(その他)

入所(2件)/知的障害と言葉が話せないので一人で外出する事はない/手話サークル、市ろうあ協会の行事に参加する/世間話をする人は、数人。同じマンション内では、あいさつ程度のみ。/挨拶したいが言語もおじぎも大変/本人は寝たきりでしゃべることができず、外出もできないので近所付き合いは無い/今の所に住んで6年で知り合いはいない/民生委員/今までは町内会など地域の活動と一緒に参加していた/ひとりで外出や会話ができない/LINEで相談など/挨拶はできませんが、笑顔で対応している。/一部の方とは世間話をするが、多くは挨拶もしない。/他の友達と会話する/会話が難しい/マンション管理について話をする/隣組の人が来てくれる、往診/趣味の付合多い/近所の親しい人には自分の病気について話してある/ラジオ体操、健康体操参加

<同居の状況別>



(4) 日常生活の悩みや将来の不安

問 11 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。(いくつでも)

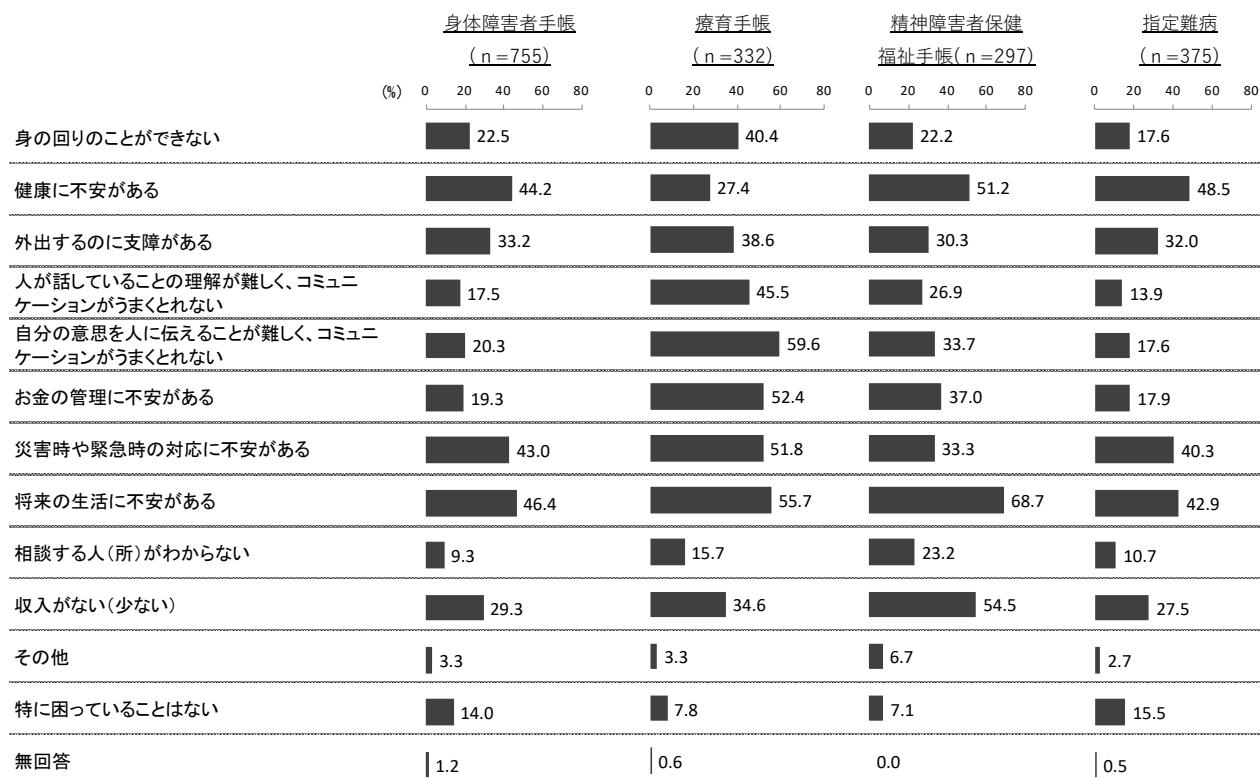
身体障害者手帳所有者においては、「将来の生活に不安」46.4%が最も高く、次いで「健康に不安」44.2%、「災害時や緊急時の対応に不安」43.0%となっている。療育手帳所有者では、「自分の意思を人に伝えることが難しく、コミュニケーションがうまくとれない」59.6%が最も高く、次いで「将来の生活に不安」55.7%、「お金の管理」52.4%、「災害時や緊急時の対応」51.8%となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「将来の生活に不安」68.7%が最も高く、次いで「収入がない」54.5%、「健康に不安」51.2%となっている。指定難病者では、「健康に不安」48.5%が最も高く、次いで「将来の生活に不安」42.9%、「災害時や緊急時の対応に不安」40.3%となっている。

年齢別でみると、「収入がない」は30代までは年齢を追うにつれて増加し、30代以降は減少している。10代以下においては「自分の意思を人に伝えることが難しく、コミュニケーションがうまくとれない」が6割前後と高くなっている。「健康に不安がある」は20代以下では3割未満と低いですが、40代以上では4割以上と高くなっている。

「自立支援医療受給者証」の所有者についてみると、「将来の生活に不安がある」が68.6%、「収入がない」が53.1%と高くなっている。

発達障がい診断名別でみると、全般的に「自分の意思を人に伝えることが難しく、コミュニケーションがうまくとれない」や「将来の生活に不安がある」が高くなっている。

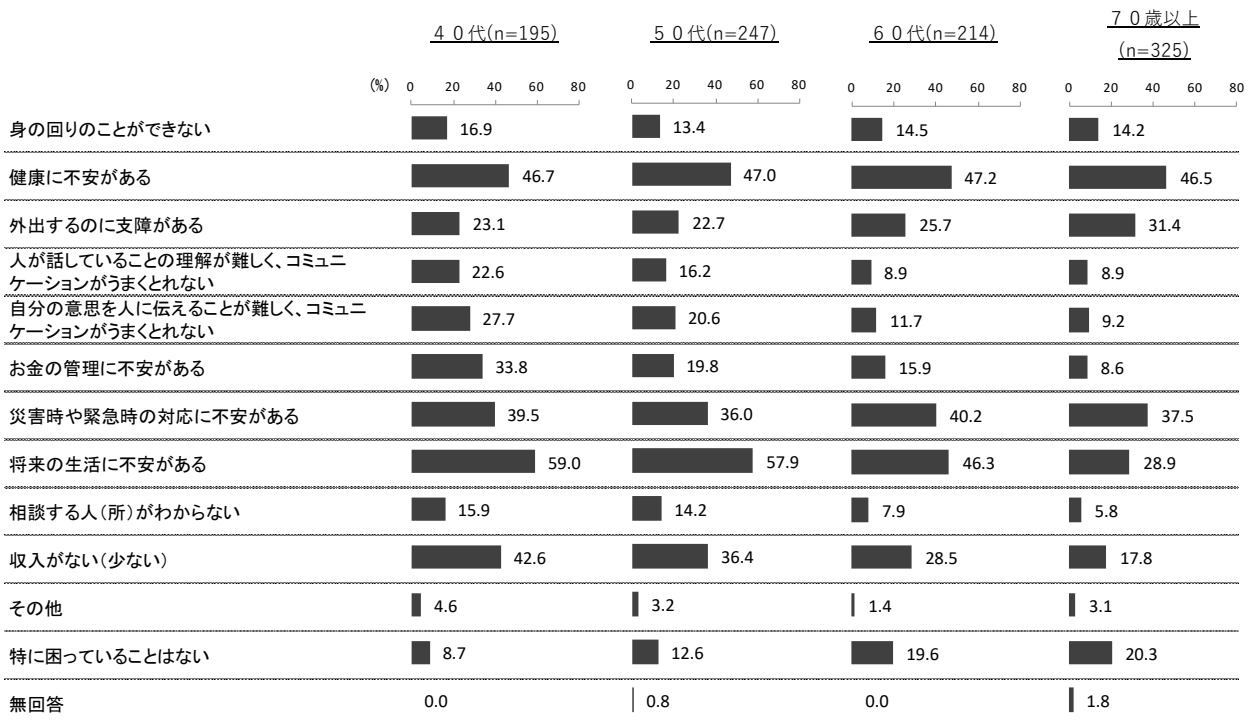
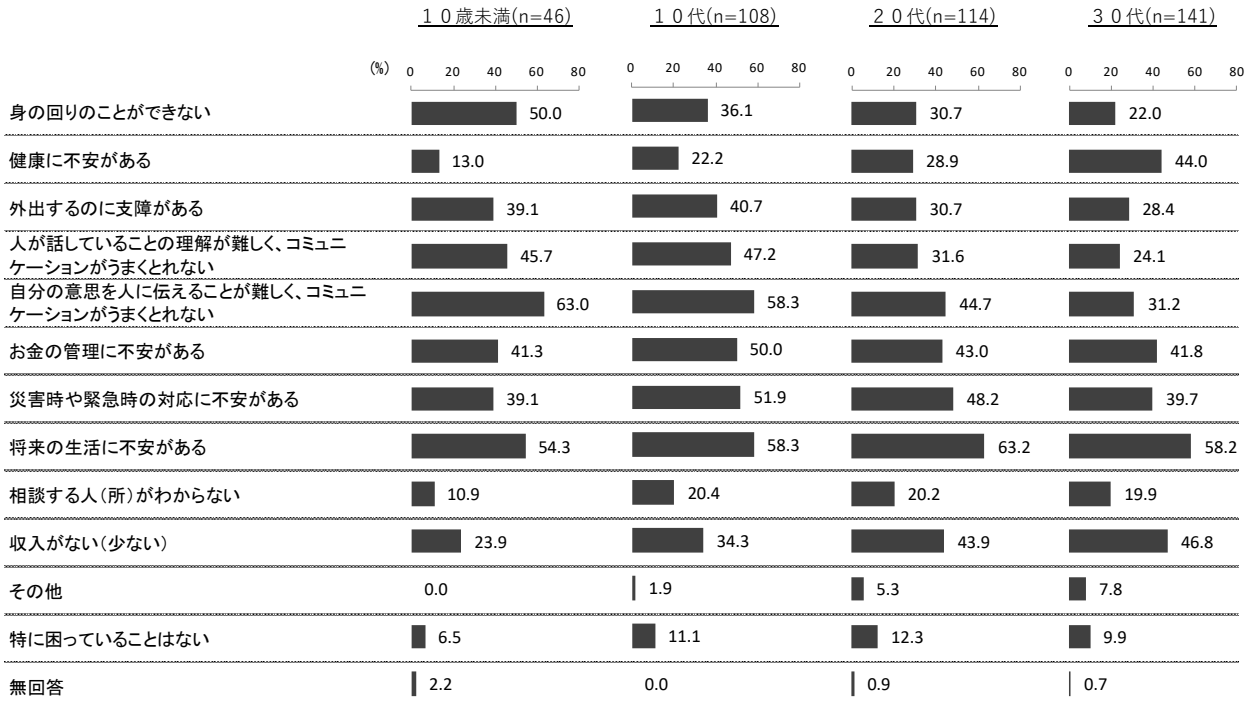
日常的に受けている医療ケア別では、「健康に不安がある」や「災害時や緊急時の対応に不安がある」が高くなっている。



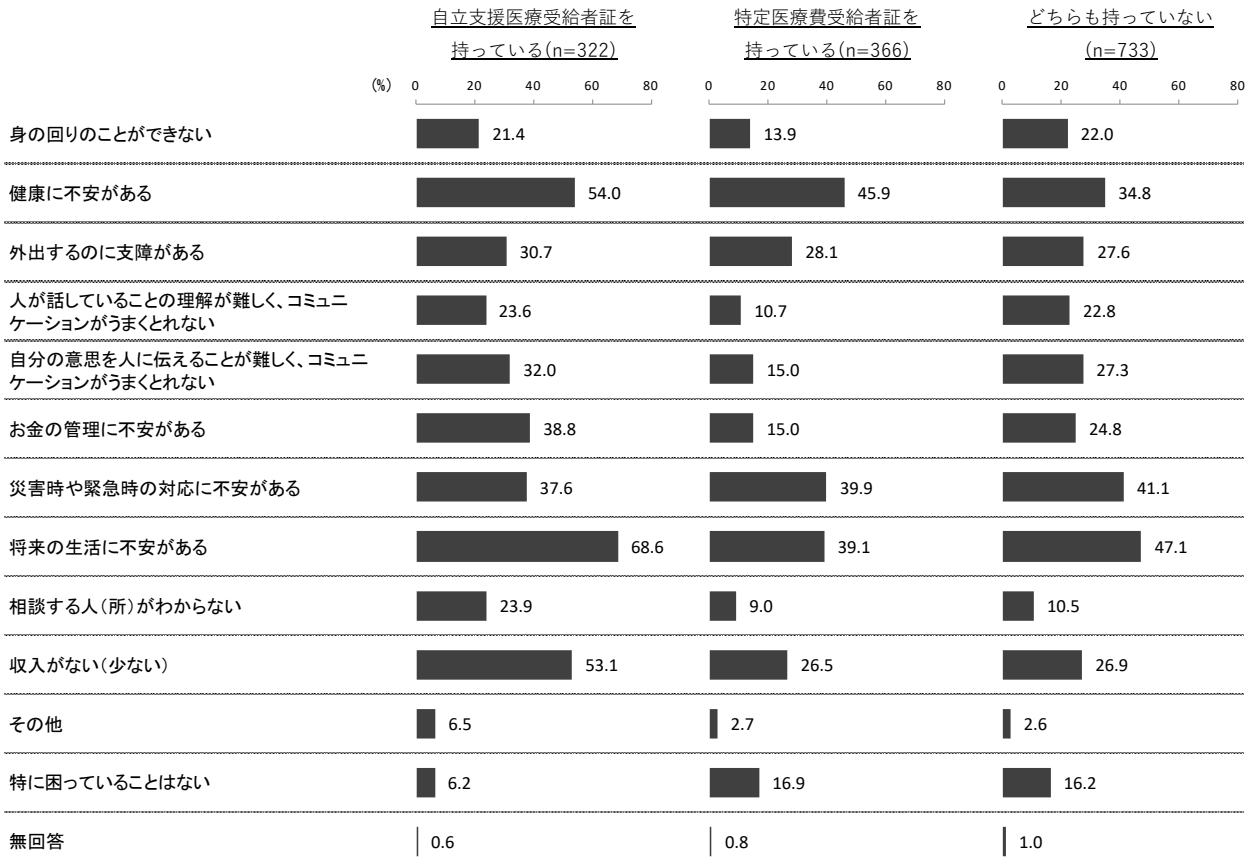
## (その他)

- ・ 支援者がいない
- ・ 1.身の回りのことが全くできないわけではなく、できないことが少しずつ増えてきている。
- ・ トイレ
- ・ 不安から逃げるためにゲーム中に逃げ込んでしまって、やるべきことが後回しになり、生活の上でも家族に負担をかけていると思う
- ・ 元気なときもあるので、自分としては苦しいが、症状を軽く見られやすい
- ・ 重度障害のため理解不能
- ・ 本人が答えられないので、困っている事がわからない
- ・ 話すことが苦手なので常に無言でいるため相手側の誤解を招くことがある
- ・ 将来に対しては今よりも障害が進む可能性があるため、その時に自分の回りの家族に負担を掛ける事にとっても不安を感じている。
- ・ 就職先が限られる
- ・ ヘルプマークに無知な人が多い
- ・ 認知が進行してるので同じ会話をなんどもする
- ・ この先一人暮らしが出来るか不安がある
- ・ 働くことが難しい
- ・ 災害時に病院に行けなくなって薬が無くなったら困ると思う
- ・ 10に類似してしまうかもしれませんが、一昨年、持病の悪化に伴い就労困難が続きました。その影響で昨年度の有給が付与されず大変な思いをしたり、収入が不安定になり不安な気持ちになりました。
- ・ 人工呼吸器を離脱出来ないため差別される事が多く途方にたづねています
- ・ この先同じような場所で長く働けるか
- ・ 結婚したいが、相手が友達のままでもいいと言っている。結婚を周りの人が反対しない社会作りが必要だと思う。
- ・ 何が困っているかわからないと思う(母)
- ・ 地域活動支援センターが終了すること
- ・ 補装具がないとコミュニケーションがとれない
- ・ 時間、日にちの管理ができない。文字が書けないことがある。
- ・ 借家が古いので引っ越しを考えているが、高齢のため施設がいいのか高齢者でも入居できるところが(民間・公営)あるのかどこに相談したらよいかわからない。
- ・ ショート先
- ・ 生活保護を受けていますが、お金の管理が苦手で交通費や食費が足りなくなることがあります。そのため、保護費の一部をルルカマネーやマイルクーポンにして貰えたらありがたいと思っています。
- ・ 9の相談するところがわからないで、こちらから役所へ聞きに行かないと答えられないと言われるが役所から声をかけてくれることあるのかと言われる役所かは
- ・ 精神的に不安定になることが多い
- ・ 家事仕事に時間がかかる。
- ・ 見た目ではわからない為無理に作業させられる
- ・ 自立生活へ向けた収入が少なく、満足に食料品などを調達できないと思っている。
- ・ 通院でにくい
- ・ 家事など忙しくて時間が足りない
- ・ エアコンの年度が古いので静かにして欲しい(音がする)
- ・ トラブルになったときの弁護士費用。付き添い入院の負担。先が見えないことへの不安。相続ができないこと。
- ・ 日常生活に必要なスーパーコンビニ薬局が近くにない事
- ・ 診察に行けない
- ・ 近頃忘れっぽくなっている
- ・ 医療費が1割から2割になって大変 難病に支払うお金と他にかかっている医者もあるのでけっこう医療費がかかる
- ・ 難聴会話にズレ
- ・ 夕刻頃から身支度が出来なくなる

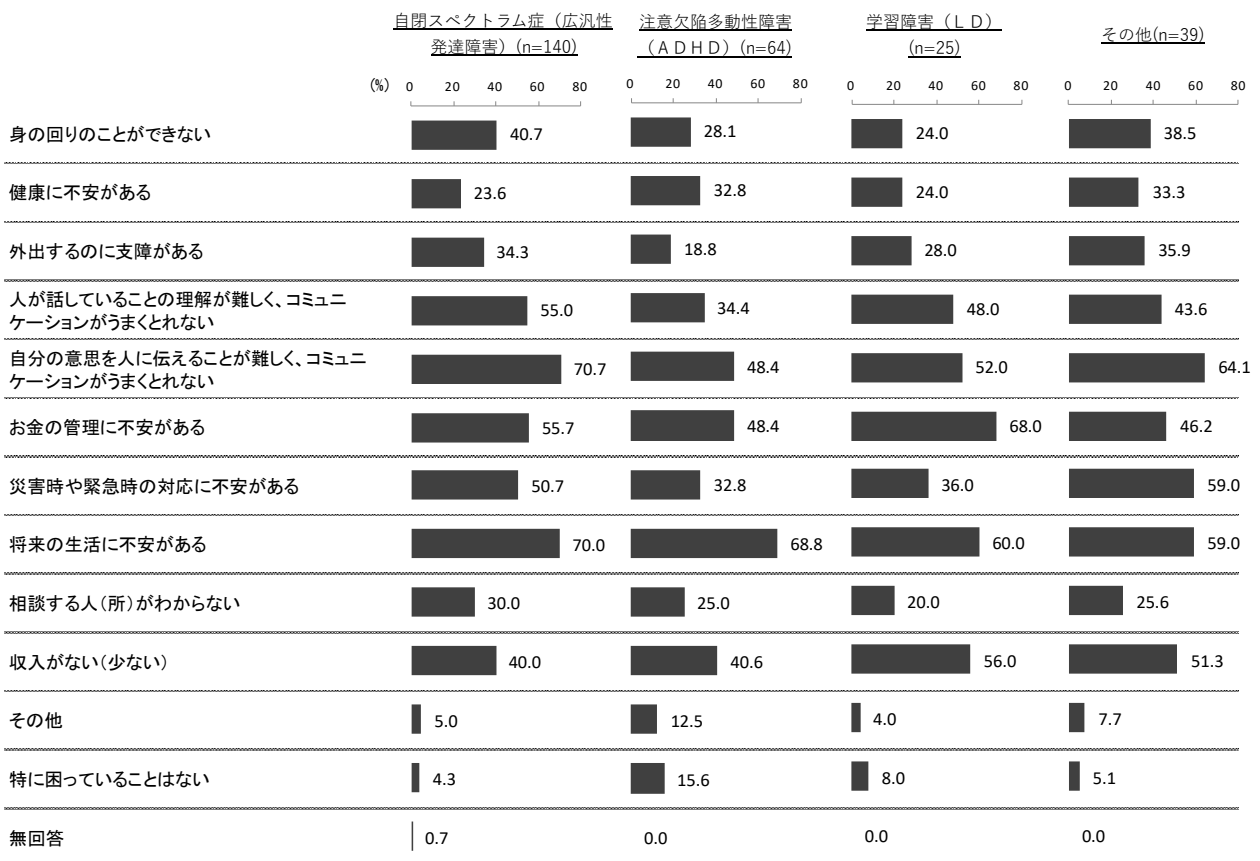
<年齢別>



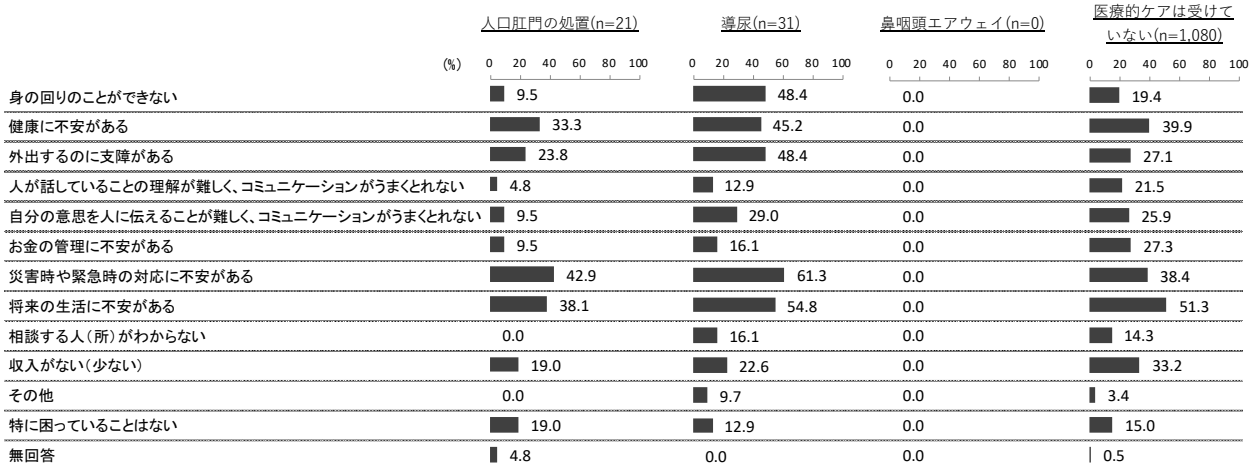
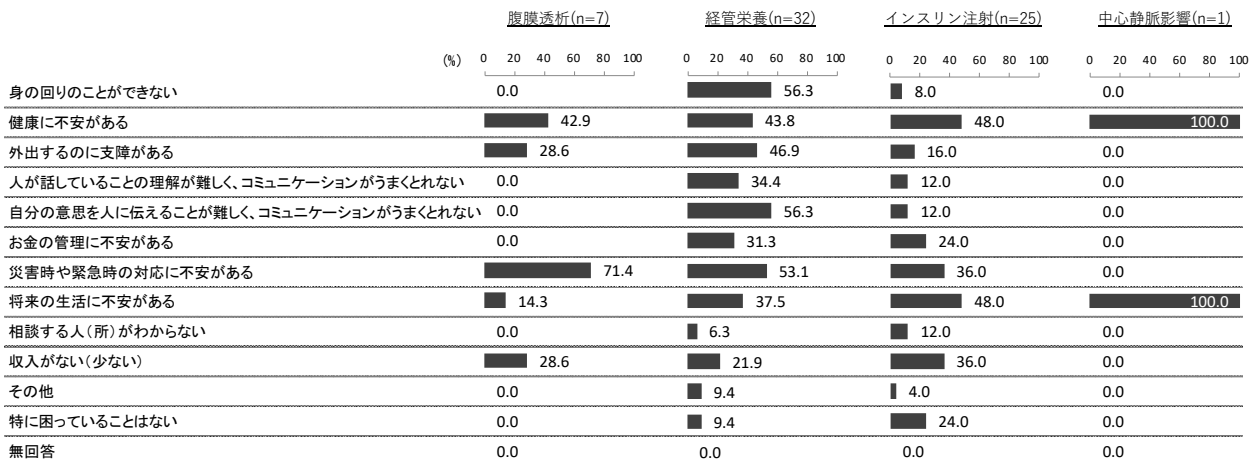
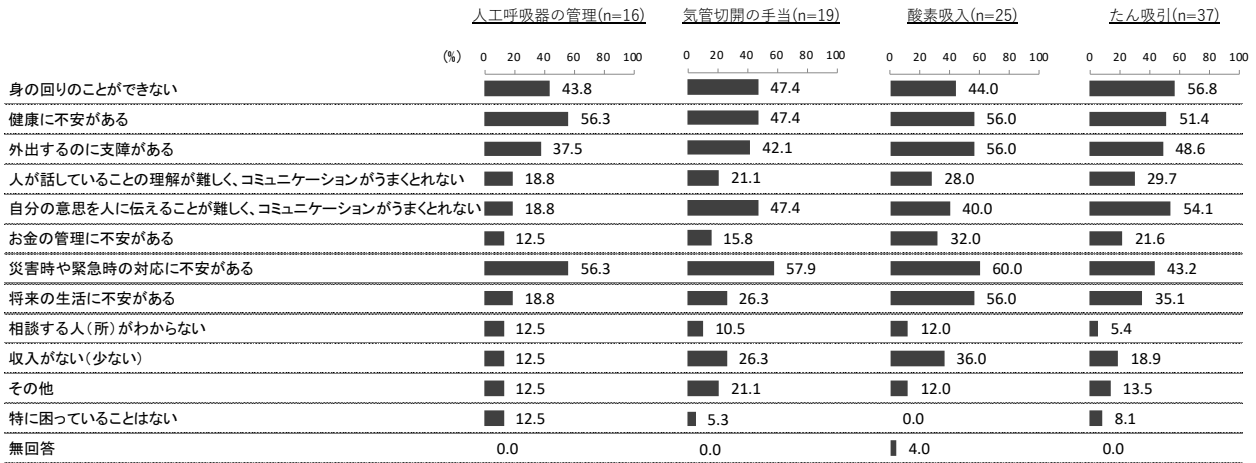
<受給者証有無別>



<発達障がいの診断名別>



<日常的に受けている医療ケア別> ※「その他」省略

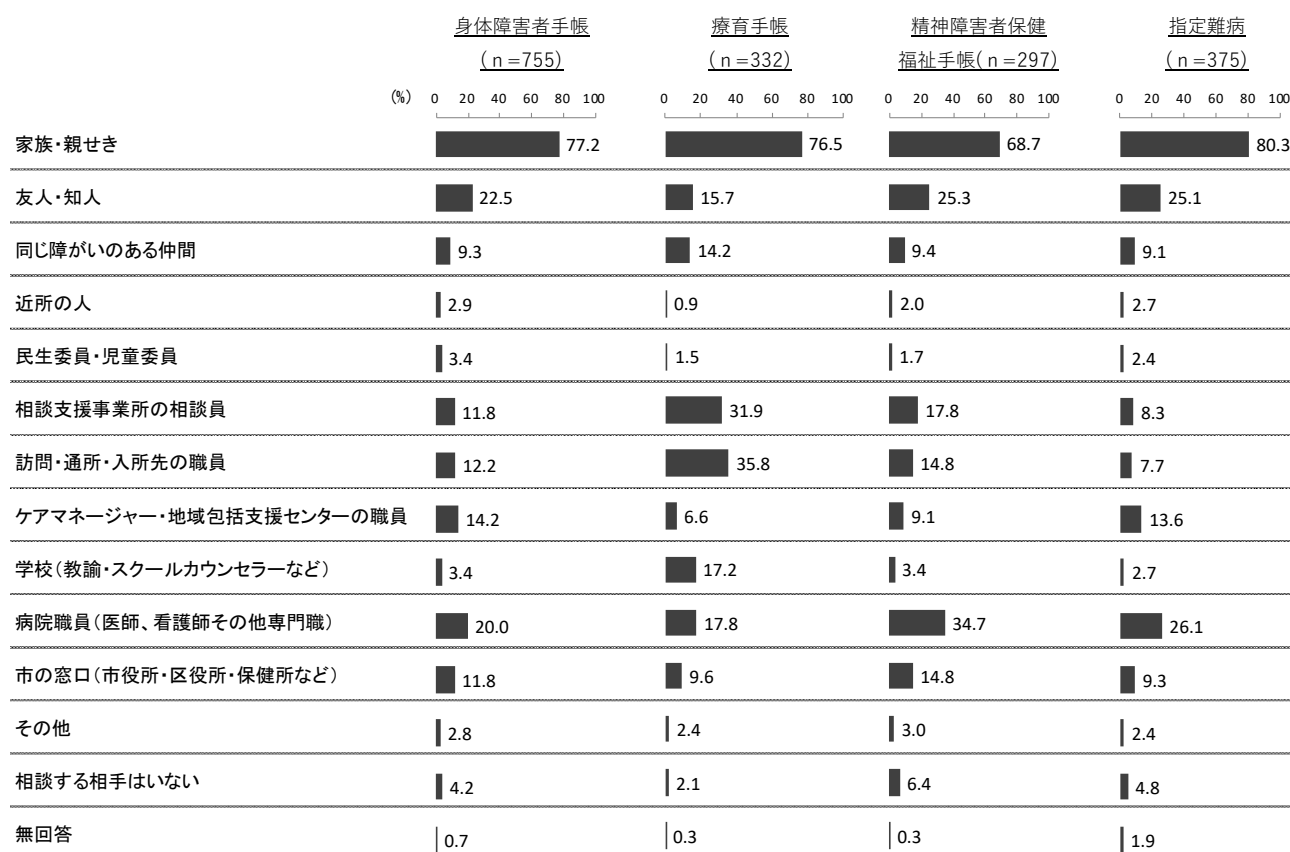


問 12 あなたは、困った時は誰(どこ)に相談していますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「家族・親せき」が最も高くなっている。精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は、「病院職員」が「家族・親せき」に次いで高く、2割以上となっている。療育手帳所有者は、「訪問・通所・入所先の職員」と「相談支援事業所の職員」が3割台で高くなっている。

年齢別でみると、いずれの年代も「家族・親せき」が最も高くなっている。また、10代以下では「学校」に相談する割合も高くなっている。

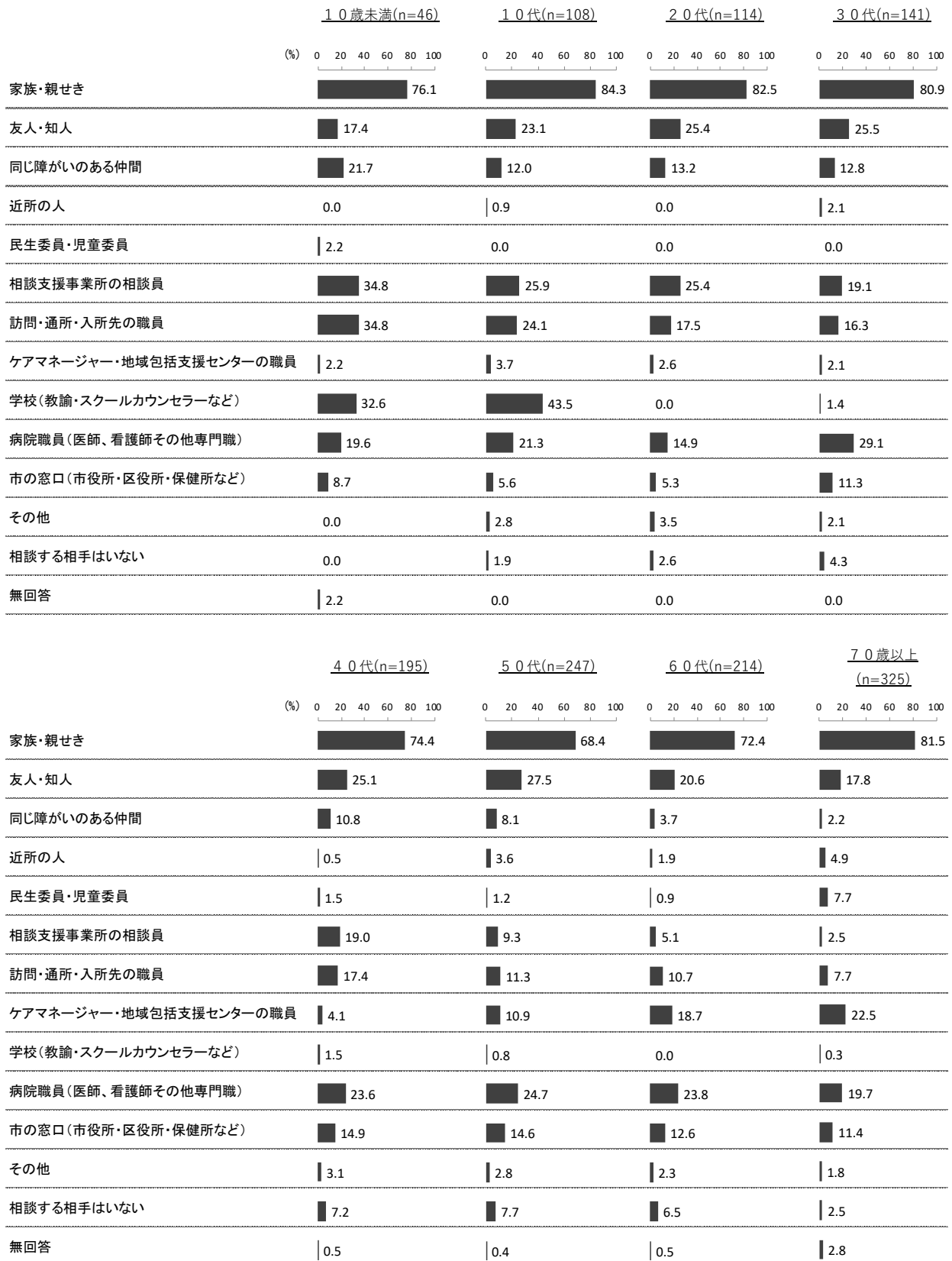
同居状況別では、一人暮らしの人は「家族・親せき」58.5%が同居している人と比較して低くなっている。また、「相談する相手はいない」9.5%と同居している人やグループホームや入所施設を利用している人に比べ高くなっている。グループホームや入所施設を利用している人では「訪問・通所・入所先の職員」64.6%が最も高くなっている。



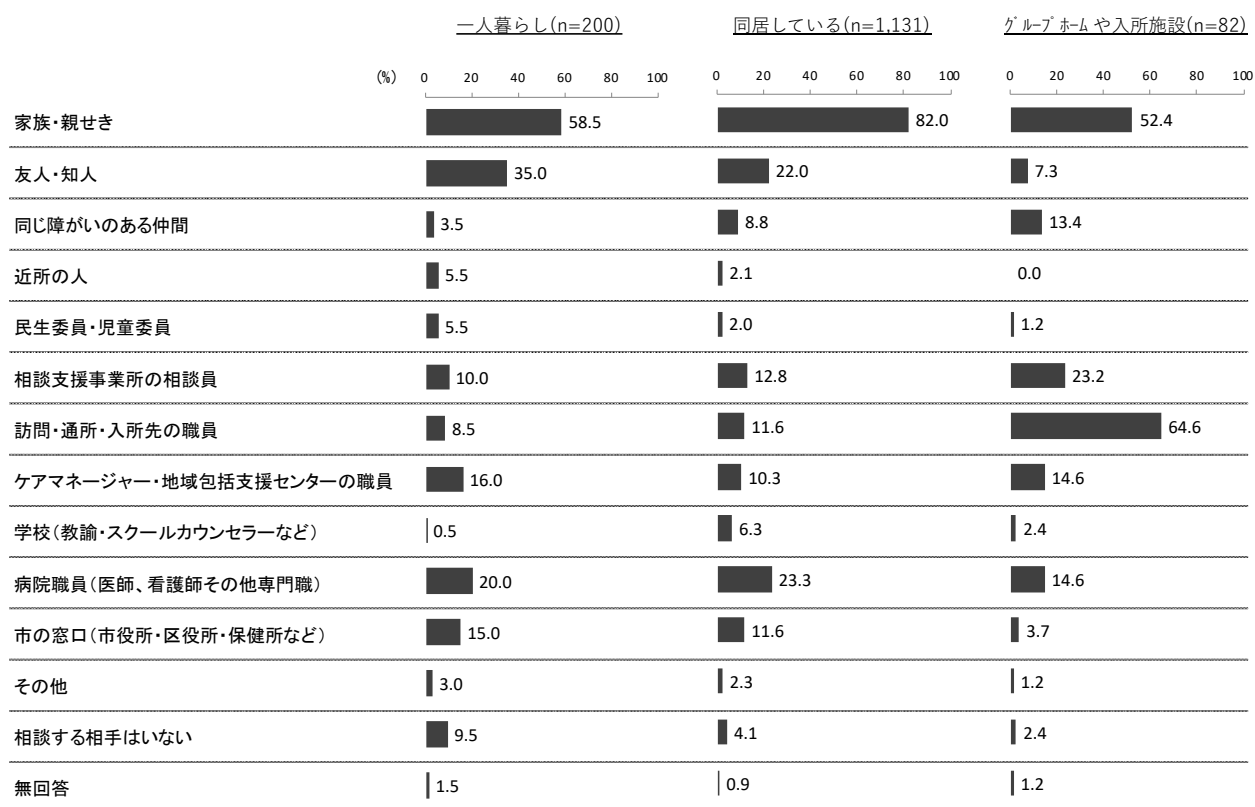
(その他)

職場の人(3件) / 職場の上司(2件) / インターネットで調べる(2件) / 今のところない(2件) / 会社の社長 同僚 / 自分で相談出来ないで代わりに母がしている / 自分では出来ないで妻に全部任せている / 保護観察中なので保護司、保護観察官。母は障がい者協会や病院、事情を知っていて話を聞いてくれる人にも頼っているらしいです。 / 以前、お世話になったかつての上司や、現在の賃貸住宅の世話をした下さった不動産屋さん。 / 今の所は問題ないですが、将来的には多分、役所の担当部署に相談するかと思います。 / 宗教法人 / 本人はしゃべれないので、介護者が困ったときは、ケアマネさんや訪問看護師さんに相談している。 / 自分では出来ない / 成年後見人 / 母の事では8の支援センターやケアマネジャーに相談している。 / 本人は意思疎通をする事が難しいので、相談したくてもできません。 / 就労支援事業所の職員 / 障害者相談員 / 計画相談の人 / 主人が民児委員 会議会合市区役所 本日はS型デイサービス他と一日中外出中 昼夜となくスケジュールが私のスマホに入って 私が食事用意して送り出しています 主人を束縛する訳ではありませんが 疲れてはいけない私です 大変です我慢我慢 椅子から立ち上がる機械リコン使用 役所から時々電話あります / 年に一度は集会を地区ごとに開いて意見を聞く事

<年齢別>

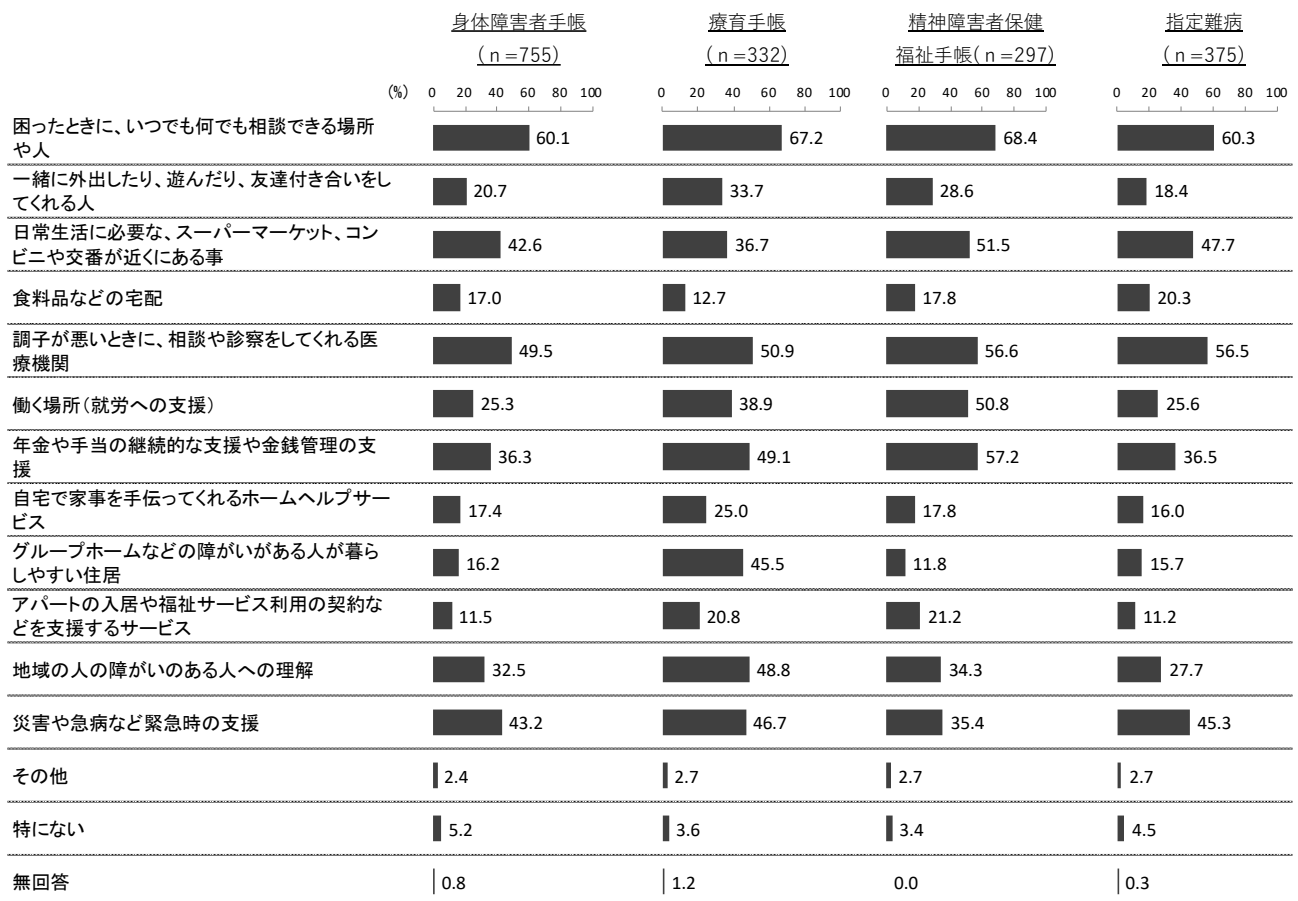


<同居の状況別>



問 13 あなたは、お住まいの地域で生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「何でも相談できる場所や人」が6割台で最も高くなっている。そのほか「スーパー、コンビニや交番」「医療機関」「経済的な支援や金銭管理の支援」「緊急時の支援」「障がいのある人への理解」なども高く、精神障害者保健福祉手帳所有者は、「働く場所」50.8%が身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者と比べて高くなっている。



(その他)

両親なき後は、施設にお世話になるしかない。/高齢者に対して障害者と高齢者の違いを周知徹底させること/トイレ/地域の人に自分を知ってもらうこと。普通の人よりも人見知りしやすいからこそ、普通の関係になるまで普段から関わりがないと年数回とかでお互い分かり合えることなんて殆どない。普通の人でも無理な人が多いような事を障害のある人に求めるのもっと難しいと分かってほしい。/3ではなく必要な施設の近くに住むこと/私が子どもの介護で疲れ過ぎた時にすぐに預けられるショートがなく、ない場合こども病院になるのだが今の主治医は受け入れてくれる気持ちがあるがよく思わない先生もいると今悩んでいます。/公共交通のサービスや医療費の負担軽減等は直接的に助けになります。/路線バスの充実性/乗り物の運転免許証が使えると嬉しい。/いつでも利用出来る短期入所/交通手段/緊急時車椅子トイレや障害者用トイレが少ない一般人を前提に整備されている/自力で何でもできる/父子・母子家庭のサポート/電動車椅子での買い物において①陳列棚が健常者専用の為上段が見えない②陳列棚と陳列棚の間が狭く通れない/静岡市の人は『普通』を好むので、11の理解は難しいと思う。/バス停が近くにあること/往診/地域ではないですが難病の関係で県総薬。今は治療も無くなり昨年先生も変わり患者の言う事聞いてもらえず、診察室入ってすぐに次回の診察日、3分先生とお呼びしたくなります。他の患者さんもヒソヒソと聞こえます/早寝、早起き。夜中エアコンで寝られない事が度々/他の人と変わりなく過ごせること。病院のたらい回しはやめてほしい。/交通移動利用手段/行政の支援など

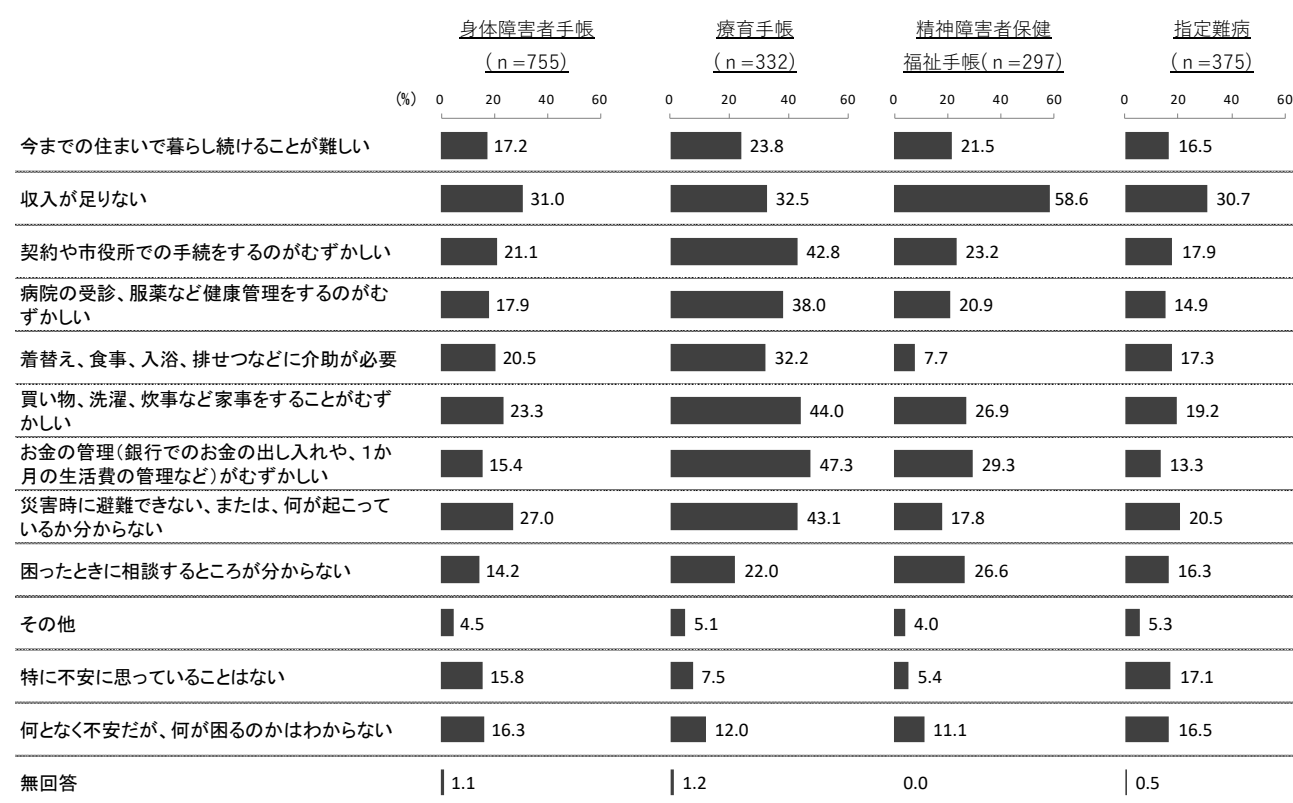
**問 14 これからの生活で不安に感じることはありますか。(いくつでも)**

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「収入が足りない」が最も高くなっている。療養手帳所有者では、全般的にすべての項目が高い傾向にあるが、「お金の管理が難しい」47.3%が最も高くなっている。

年齢別で見ると、20代～60代では「収入が足りない」が最も高く、10代未満では「着替え、食事、入浴、排せつなどに介助が必要」が最も高くなっている。10代では「災害時に避難できない、または、何が起きているか分からない」が最も高く、「お金の管理がむずかしい」「家事をすることがむずかしい」が僅差で並んでいる。

「自立支援医療受給者証」の所有者についてみると、「収入が足りない」58.7%が特に高くなっている。

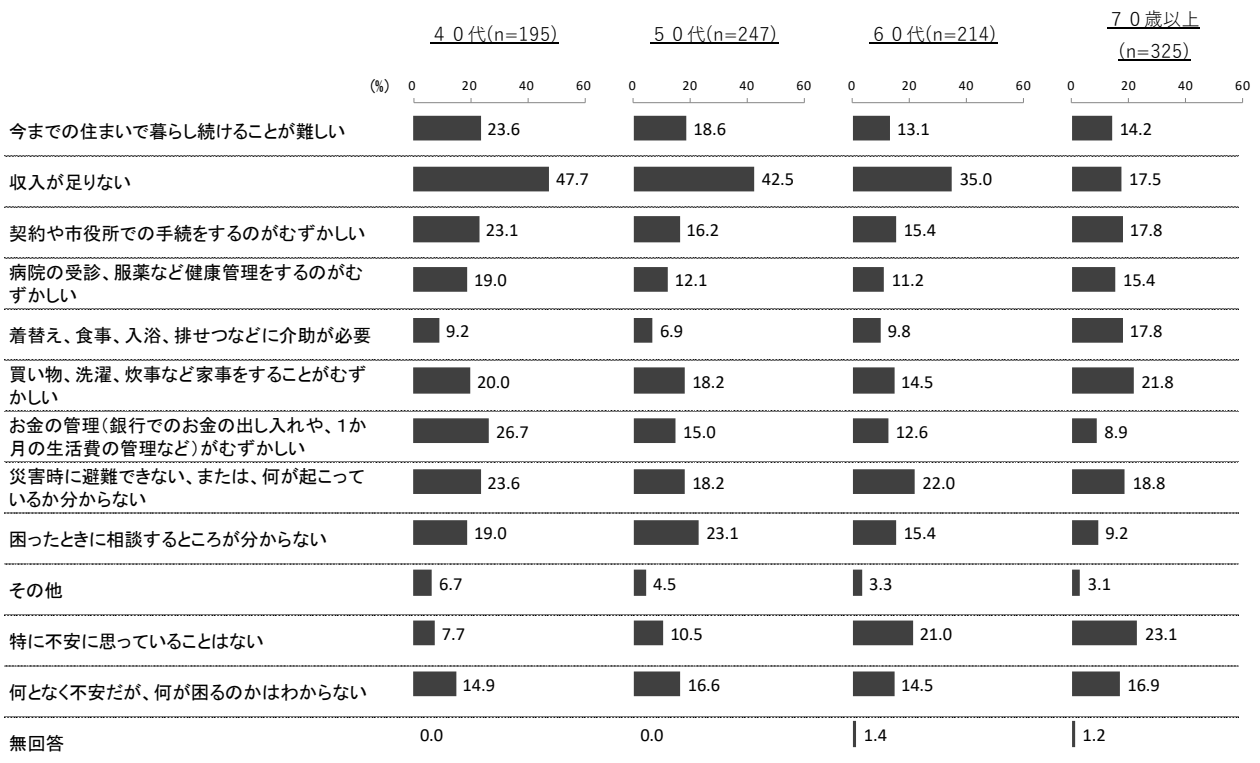
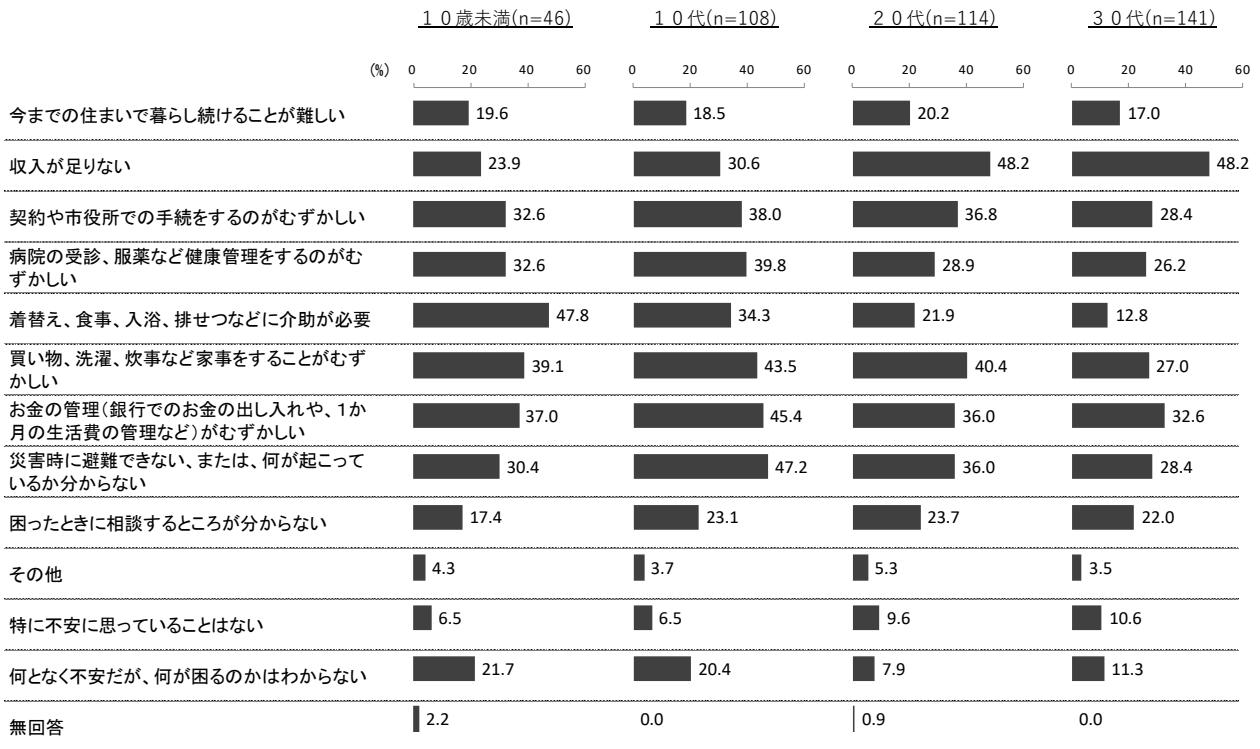
同居状況別で見ると、一人暮らしの人と同居している人では「収入が足りない」が最も高く、グループホームや入所施設を利用している人では「着替え、食事、入浴、排せつなどに介助が必要」が最も高くなっている。



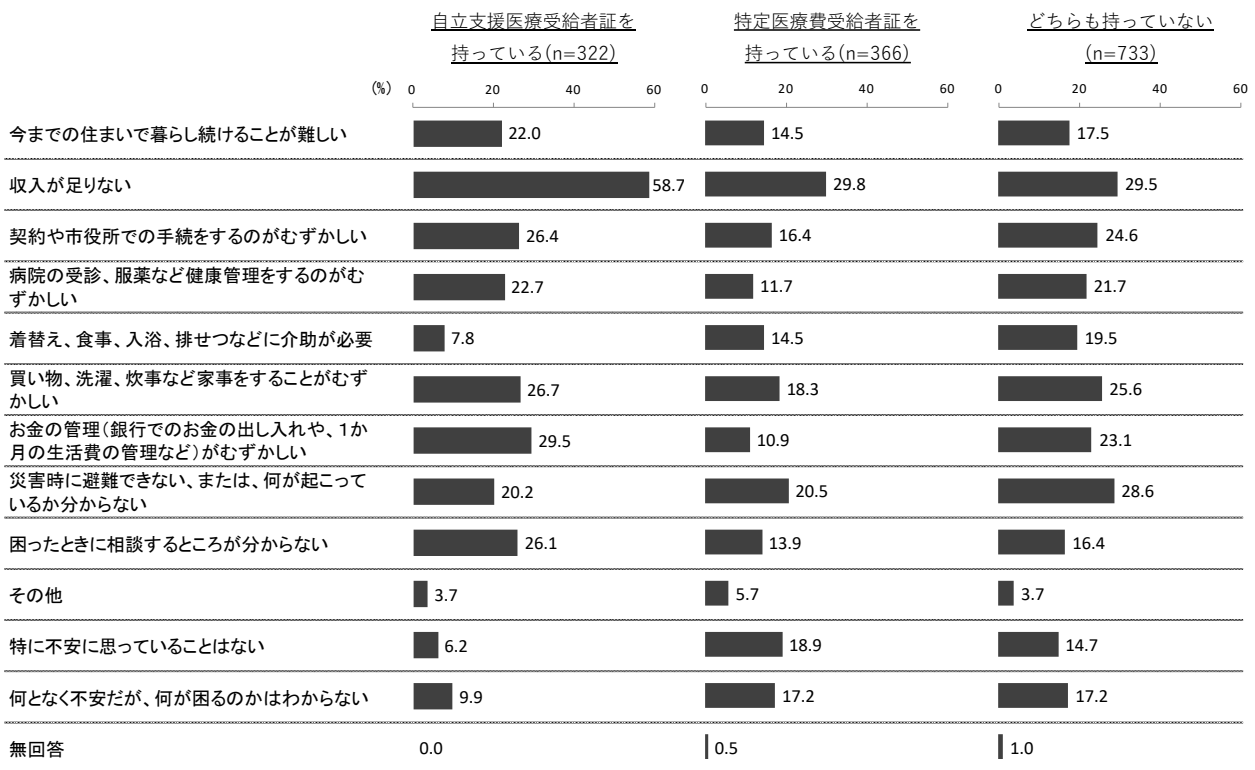
(その他)

90 近い両親の介護問題/今は大丈夫だけど、病状が進んで生活するのが困難になるかもという不安。/トイレ/今は未成年なので守ってくれる人がいる。その後のことは想像できない。自分の将来にいくつか道はあるのですが、どの道も暗いと感じます/災害時に持病での薬の服用などの医療体制/父が主な相談者だが高齢な為、この先自分でなんとかしないといけない部分が増えると考えて不安/今はまだ何とか動けるが、老化が進んだり、再発により状態が悪くなった際に生活出来るか不安/家族の誰かが倒れたら全てが終わる/人工透析をしているので、大地震などの災害があった時にどうなるか不安/家族が亡くなった後の生活、または健康状態の変化に伴う生活の場/災害時の必要なものの確保。特に病気のための薬や飲料水の確保。/病状が不安定なのでこれ以上悪くならないか心配/知的障害がかなりあって、親の所得も少ないので金銭的な不安が大きいです。あと、虐待などされても自分では言えないので監視カメラなどはいろんなところに設置して欲しいです。/遠くない未来、親がいなくなったら絶対に困ることになる/これからの医療費/アンケートに答えているのは母です。親亡き後、安心して暮らせる事が必要、兄弟に負担をかけたくない/親が死んだら、どうしていいかわからない/自立支援医療や重度医療などが渡り安定し制度が継続されること/本人が外出・会話できないので、公証人役場で家族に任意後見を委任しているが、保険や銀行の手続きで理解してもらえず手続きができないことがある。スマートフォンを持っていないので、受けられないサービスがある。/高齢になった時、今できている障害に対する対応がひとりでは出来なくなってしまう心配。/収入が少ないため、老後が心配。病気をいくつか抱えているためいつまで働けるかも不安。/四肢麻痺で自発呼吸もなく意思表示も出来ず生きている事が辛い/転職や再就職などの時の障がいがある事による不利な扱いはあるのか/この先長く働けるか/職場までの交通手段(浪漫バスないと困ります)/親がもし亡くなったら、どうやって生きていったらいいかわからない。/地域活動支援センター終了後の活動場所などが決まっていない/結局、役所への手続きなど、本人が難しすぎて出来ないため、同居する家族がやらなくてはならない。また本人が1人で役所に行く事が難しく、家族が仕事を休んで連れていなくてはならない。/ショート/現在6歳なので介助のみの回答ですが、将来的には他の項目も不安が出ます。/健康が悪化することの不安親の介護ができるのか不安/母が亡くなった後、家の相続や売却が大変だろうと思われる。/災害時の現在服用している薬の支援や補充に不安がある病院に行っているが身体のおちこちが痛くてなかなか治らなくて大変/大きな病気を二つ抱えている為 高額な医療ひが必要です。その為になかなか仕事をやめられない。後期高齢者保険もかなり高くて月に20万以上支払っています。/社会での差別が止まない/母が亡くなり、今の生活はとて大変。将来は同じ障害の人と暮らせば良いと思う。/免許証返納してからの通院、買物/先の見えないことへの不安。支援学校、放課後デイ、B型就労、生活介護、見学ツアーがあると先が見通せて、安心できそう。/火の消し忘れストーブの消し忘れ/今は不安は少ないが、加齢に伴い不安は増すかと思う。/本人が認知症で介護3なので自分の体調が良い時はいいです。日々大変

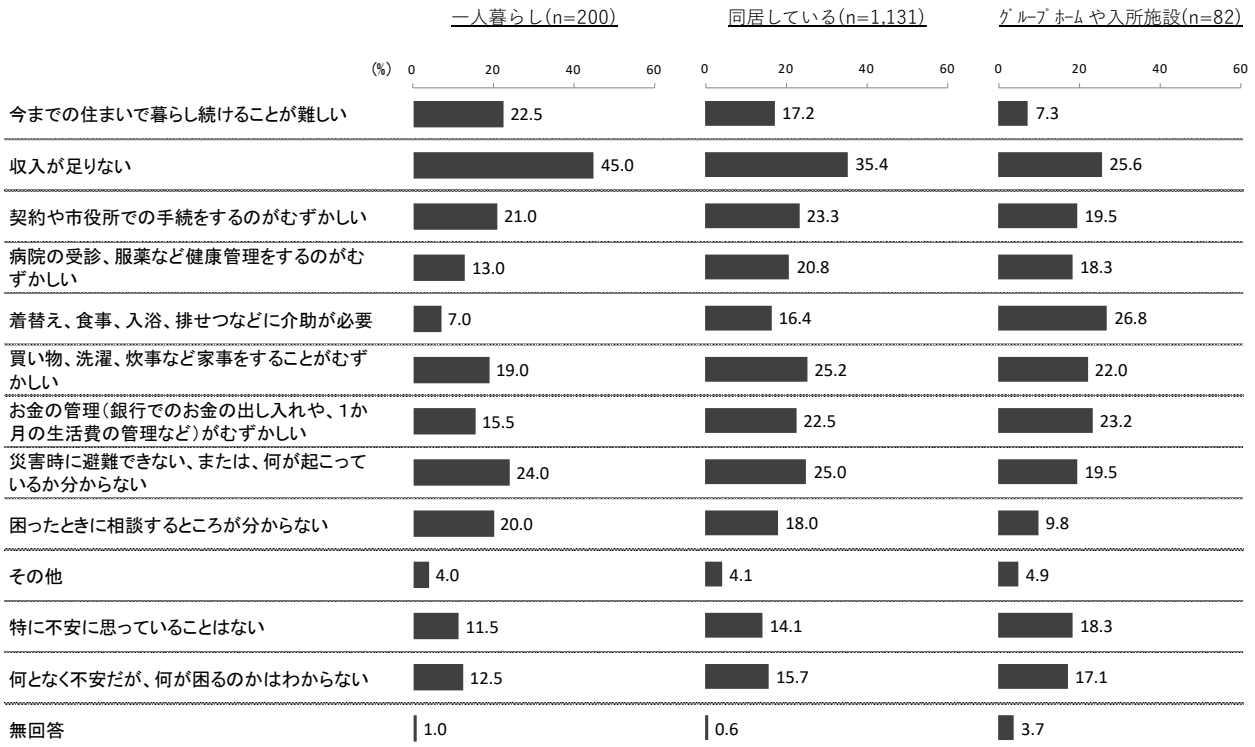
<年齢別>



<受給者証有無別>



<同居の状況別>



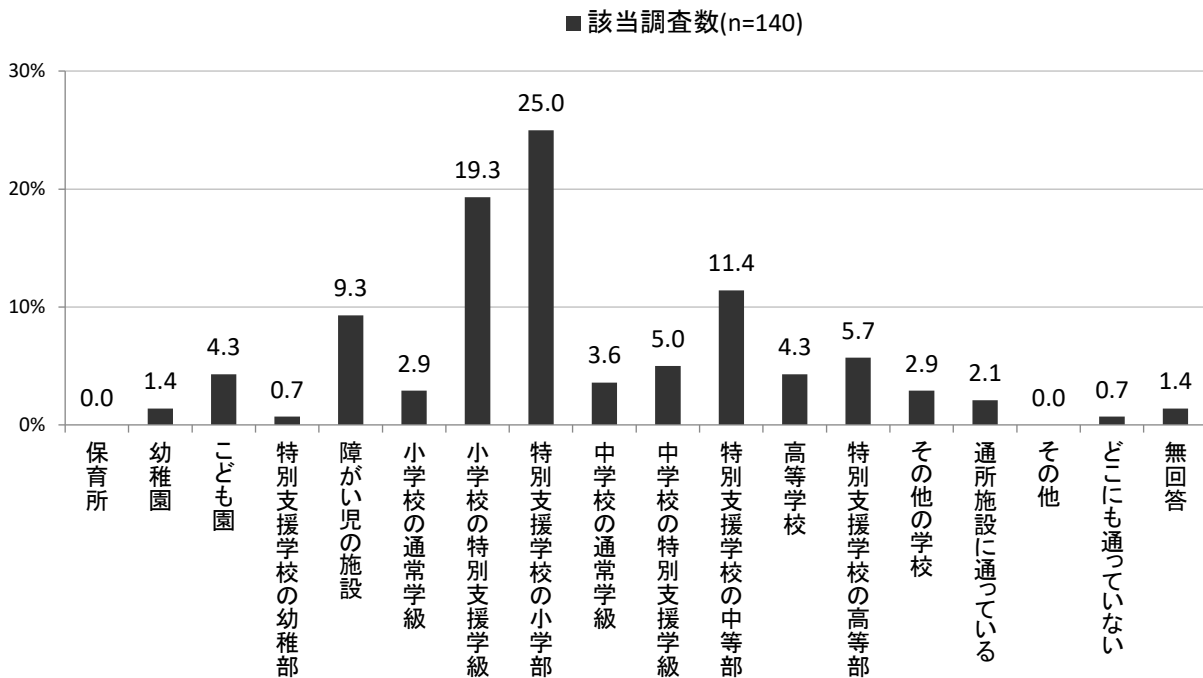
## 2. 療育・教育について

### (1) 通っている学校・学級・施設

問 15 あなたが 18 歳未満の場合にお答えください。現在通っているところをお答えください。(ひとつだけ)

全体では、「特別支援学校の小学部」25.0%が最も高く、次いで「小学校の特別支援学級」19.3%、「特別支援学校の中等部」11.4%の順となっている。

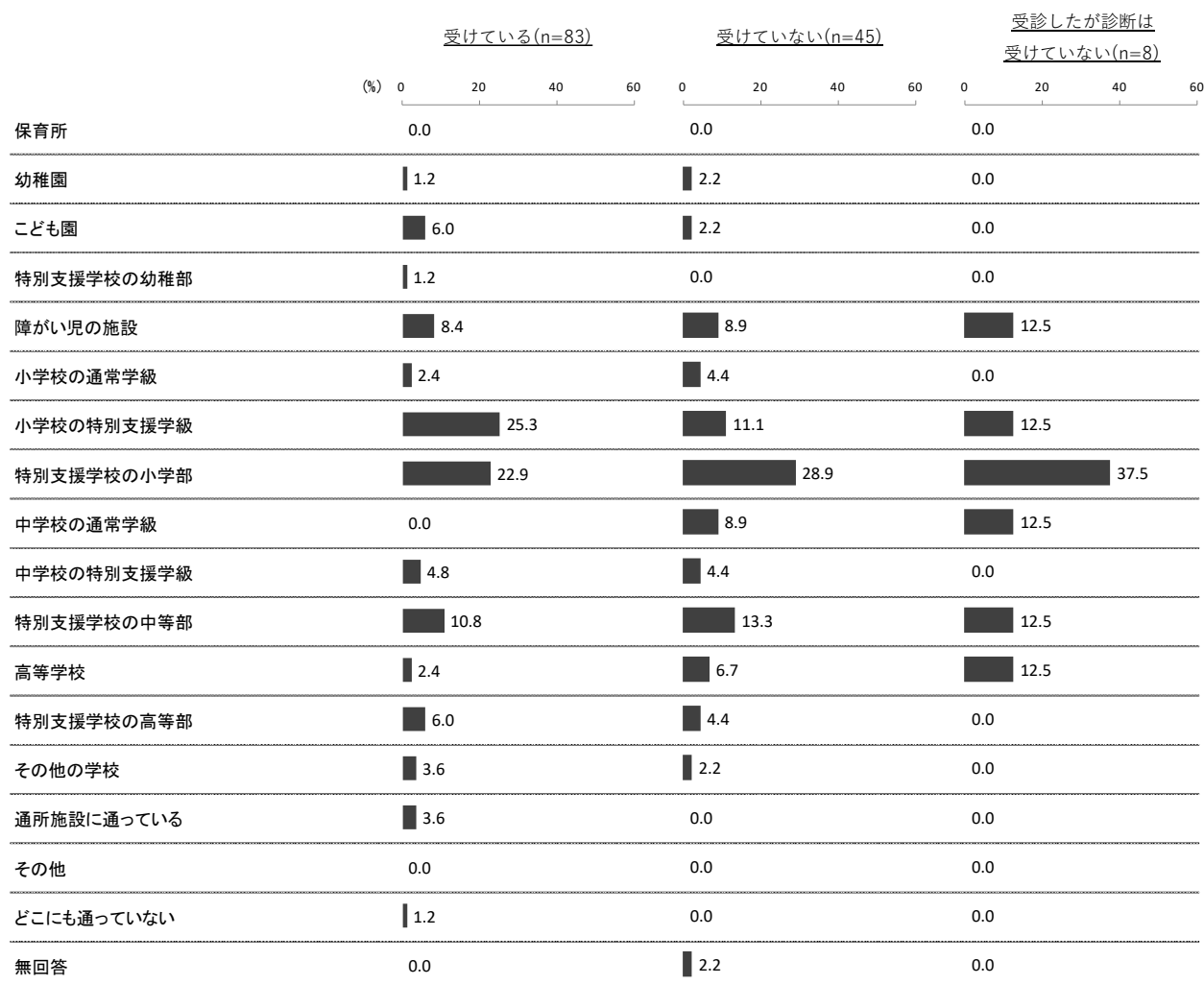
発達障がい診断別でみると、診断を受けている人では、「小学校の特別支援学級」と並んで「特別支援学校の小学部」が高く、受診したが診断は受けていない人では、「特別支援学校の小学部」が高くなっている。



(その他)

幼稚園は退園させられた/単位制高校/フリースクール/不登校

<発達障がいの診断有無別>



## (2) 療育・教育で困っていること

問 16 あなたが 18 歳未満の場合に保護者の方にお聞きします。お子様の療育・教育について困っていることはありますか。  
(いくつでも)

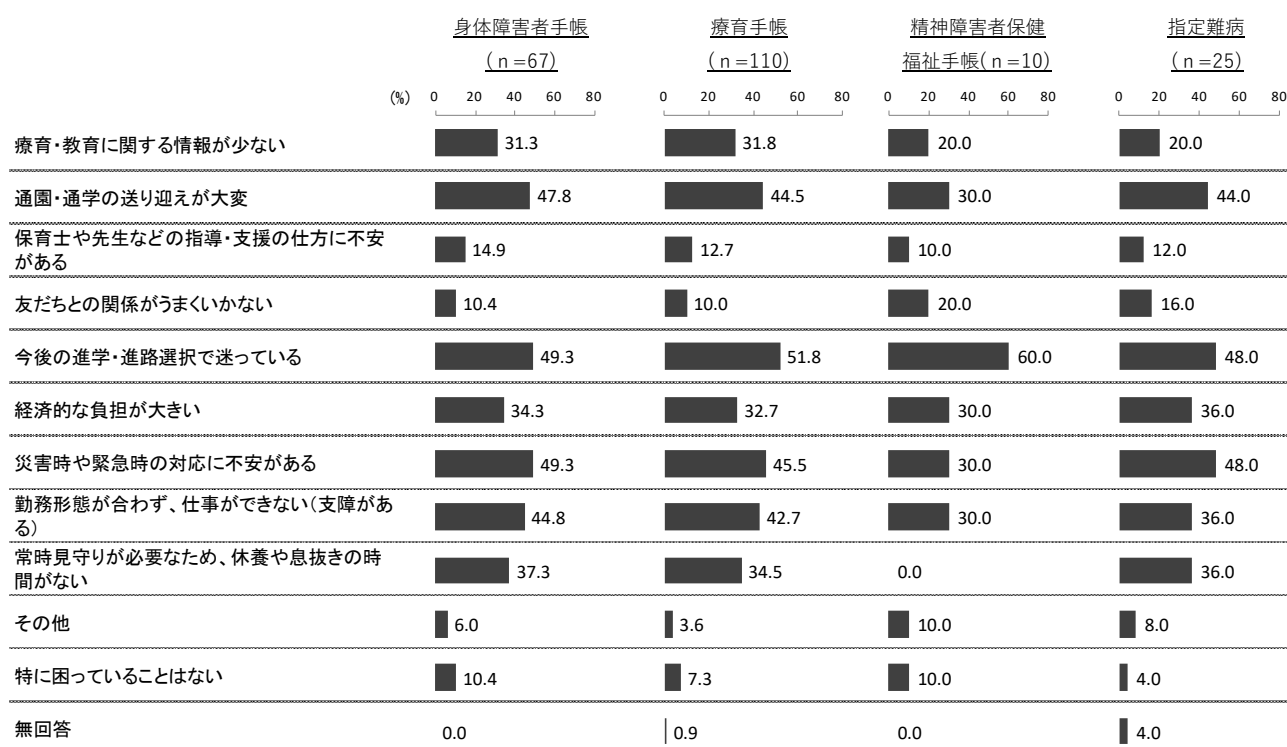
身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「今後の進学・進路選択で迷っている」が最も高く、身体障害者手帳所有者、指定難病者では、「災害時や緊急時の対応に不安がある」が並んで高くなっている。

通っている学校・学級別でみると、特別支援学校を除き、「今後の進学・進路選択で迷っている」が最も高く、特別支援学校では、「通園・通学の送り迎えが大変」が最も高くなっている。

発達障がい診断の有無別でみると、診断を受けている人は「今後の進学・進路選択で迷っている」62.7%が最も高くなっている。

居住区別でみると、葵区では、「通園・通学の送り迎えが大変」が 47.3%と他の区と比べて高くなっている。

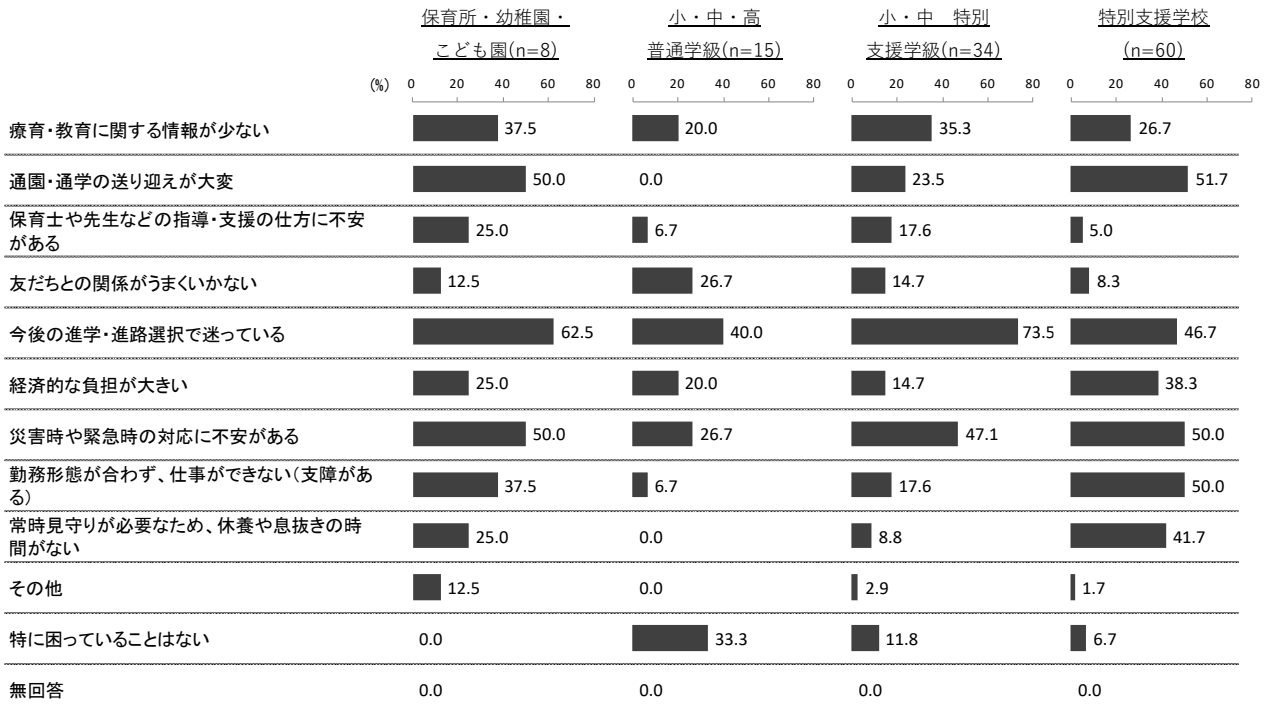
※「精神障害者保健福祉手帳所有者」「指定難病」についてはサンプル数が少ないため注意。



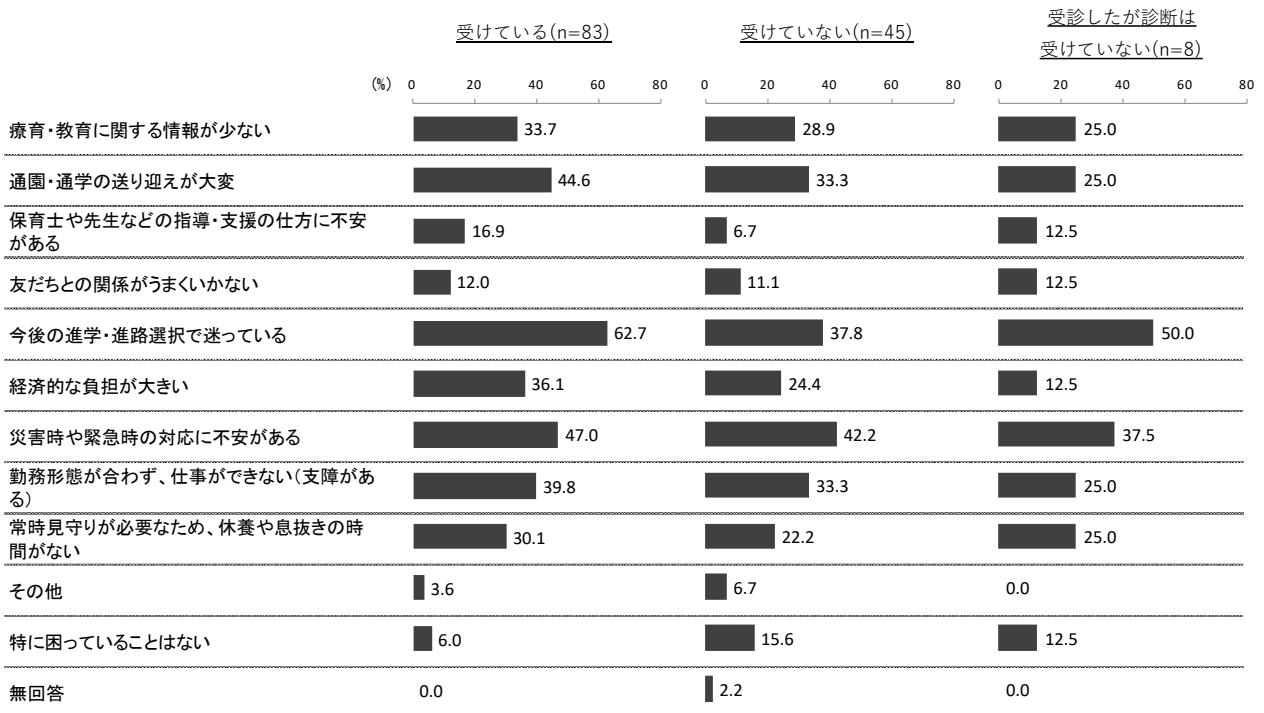
(その他)

もっと自分の未来に明るさを見だし、外に出て他人とも関わって欲しいが、うまくいかない/支援を受けるのにも時間とお金と手間がかかり、その度に職場に迷惑をかけ、スケジュール管理をし、手続き手続き手続きの山。そして、その手続きもしなくてはいけないことを知らないこととアウト。課をまたいだ手続き、更新時期の統一何もかもがバラバラ。医療費は後払いで立て替えのあらし。しかも、立て替えたものが返ってきたのかこないのか。明細もなく、内訳もない。市のやり方に心をくわされると苦しむ母たちの苦しみの声は聞こえないことがない。/なかなかこなら通わせてみたいと思えるカリキュラムのある施設がない/経管栄養ですが、利用できる施設が限られてしまいます。/話すことができないので、外でどのように過ごしているのかが分かりづらい。施設での虐待などのニュースが多い。指導の入った施設などを公表してほしい。

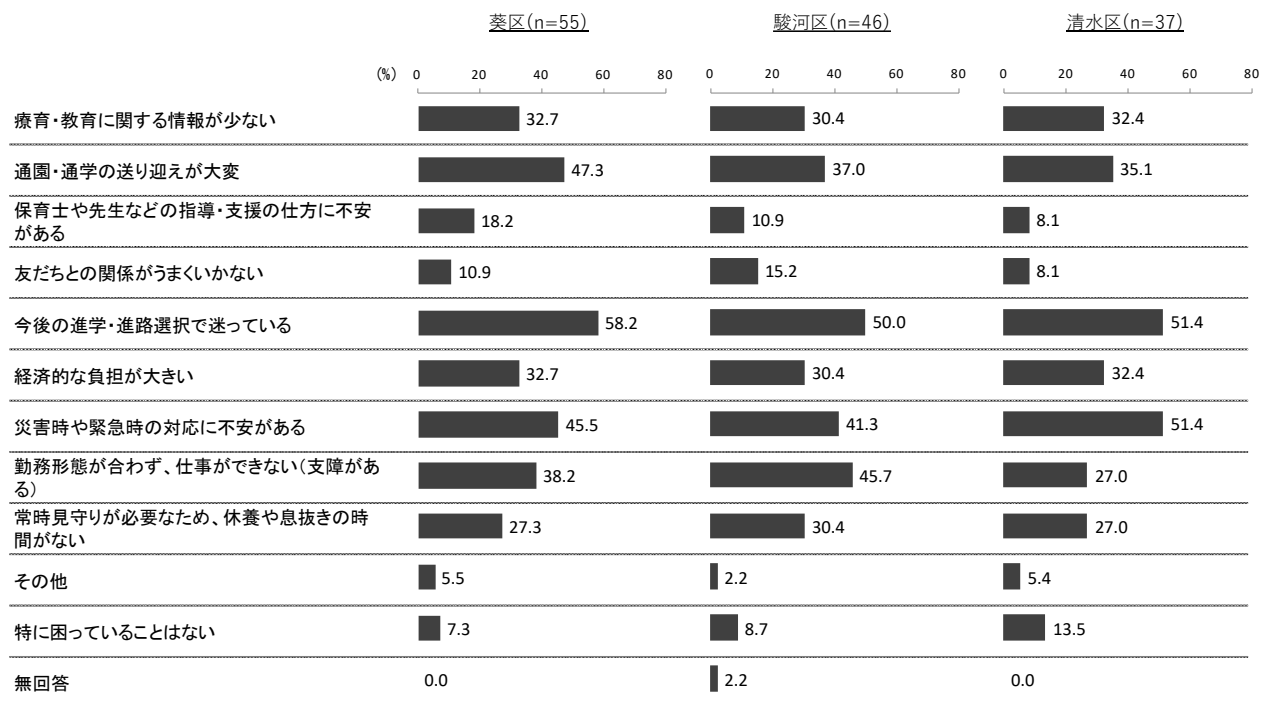
<通っている学校・学級別>



<発達障がいの診断有無別>



<居住区別>

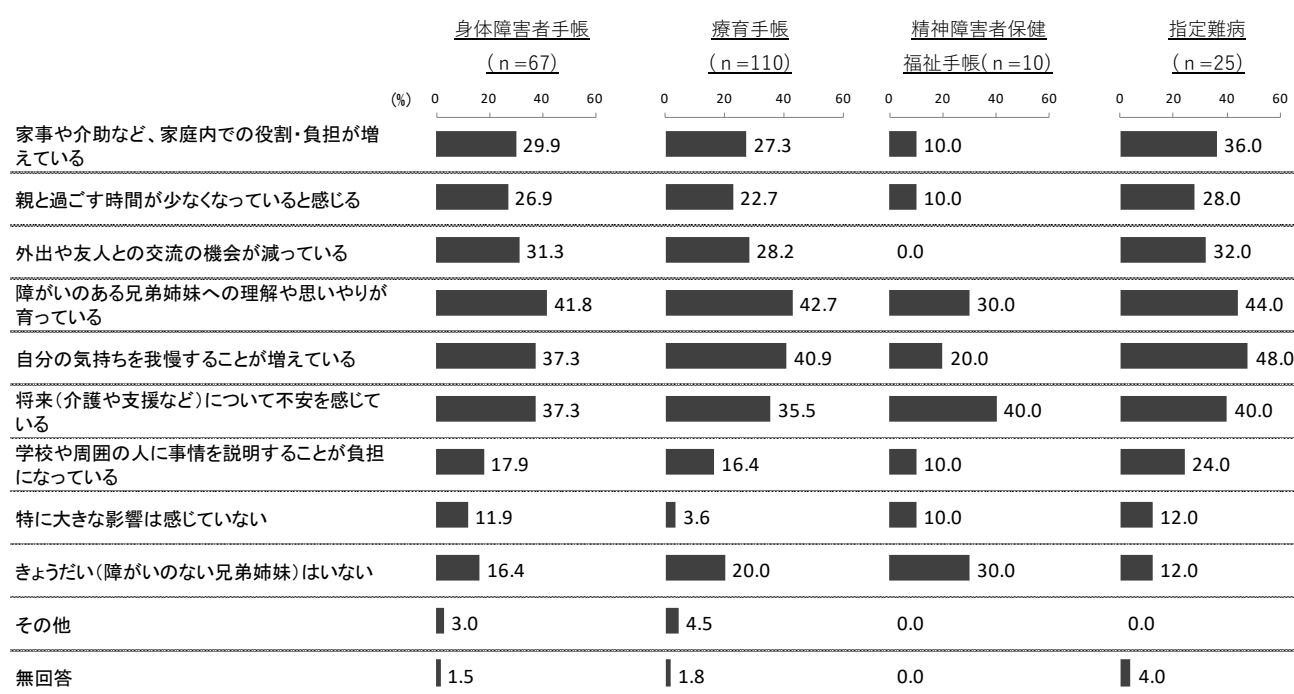


## (3) きょうだい児への影響

問 17 あなたが 18 歳未満の場合に保護者の方にお聞きます。障がいのあるお子さんがいることによって、きょうだい(障がいのない兄弟姉妹)にどのような影響があると感じますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者では、「障がいのある兄弟姉妹への理解や思いやりが育っている」が最も高く、次いで「自分の気持ちを我慢することが増えている」、「将来について不安を感じている」となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「将来について不安を感じている」が最も高く、指定難病者では、「自分の気持ちを我慢することが増えている」が最も高くなっている。

※「精神障害者保健福祉手帳所有者」「指定難病」についてはサンプル数が少ないため注意。



(その他)

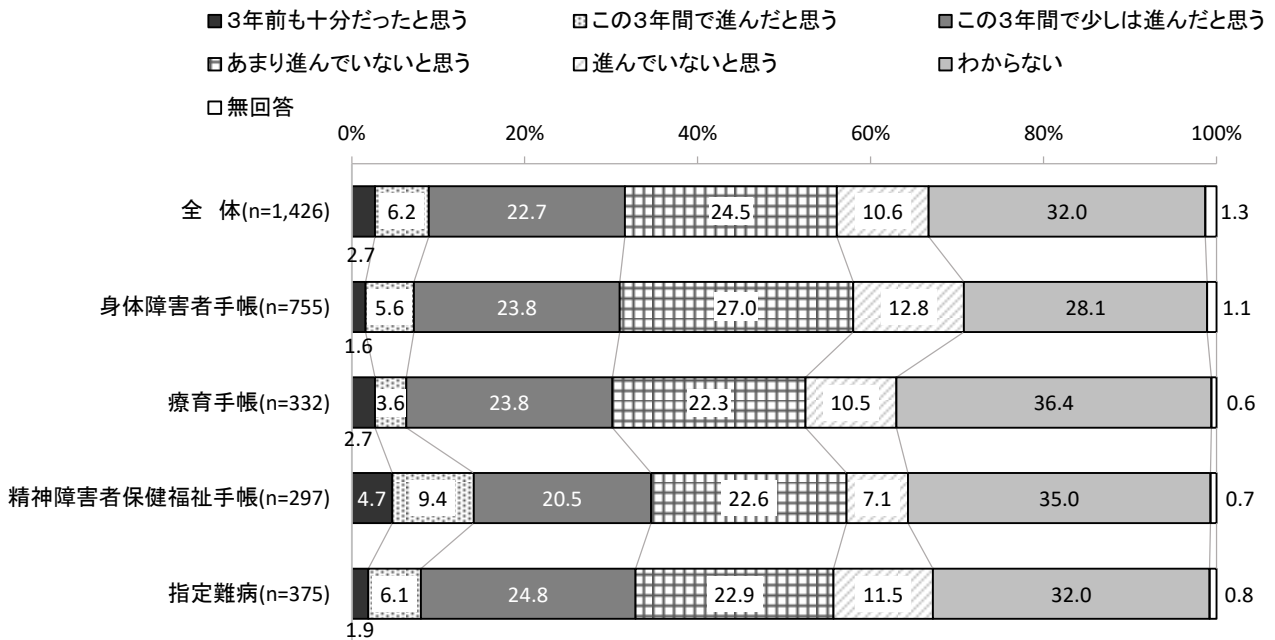
親が働く子供が障害児の面倒をいくつになっても、みなくてはいけなくなり、親が働かないと、いつまでも塾にも習い事にもいけるような金銭的余裕はない。/兄弟への目が行き届かなかつたり、思いをわかってあげられなかったのか母との関係を拗らせ中。/障害児が兄弟にいて結婚の障害になると思う。障害児の遺伝子を持ってると思われると思う。親が死んだ後に面倒ある程度見る負担が出てくる。経済的負担も出てくるので支援がないと困ります。/その影響を考慮し、2人目は諦めた。/子供は皆、障害児なので、兄妹同士衝突が多い。/どうしても障害がある子を優先に考えてしまう部分があるため、行動範囲等を制限してしまっている可能性がある。/きょうだい児同士の関わり、話す場所がもっとフランクにあるといい。きょうだい児への支援があるといい。

### 3. 障害福祉に対する意識について

#### (1) バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の進展

問 18 あなたは、日常生活や社会生活を送る上で、3年前と比べて、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化が進んだと思いますか。(ひとつだけ)

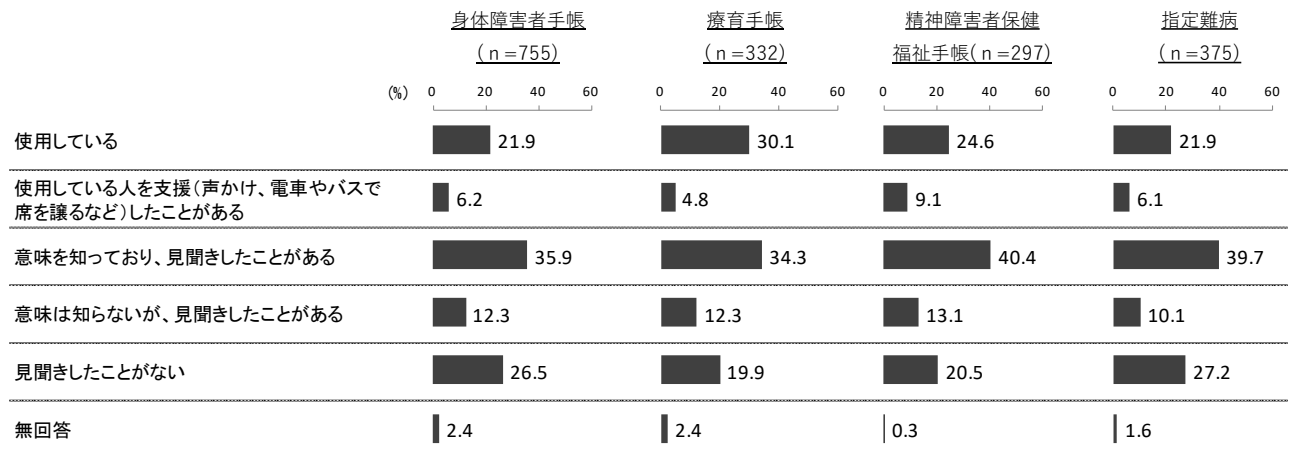
全体では、「3年前も十分だったと思う」2.7%、「この3年間で進んだと思う」6.2%、「この3年間で少しは進んだと思う」22.7%となっており、合わせて31.6%が“進んだ”と回答している。一方、「あまり進んでいないと思う」24.5%、「進んでいないと思う」10.6%となっており、合わせて35.1%が“進んでいない”と回答しており、“進んだ”は少数派となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者は、“進んだ”が34.6%、“進んでいない”が29.7%と、“進んだ”のほうが多数派となっている。



(2) ヘルプマーク・ヘルプカードの認知

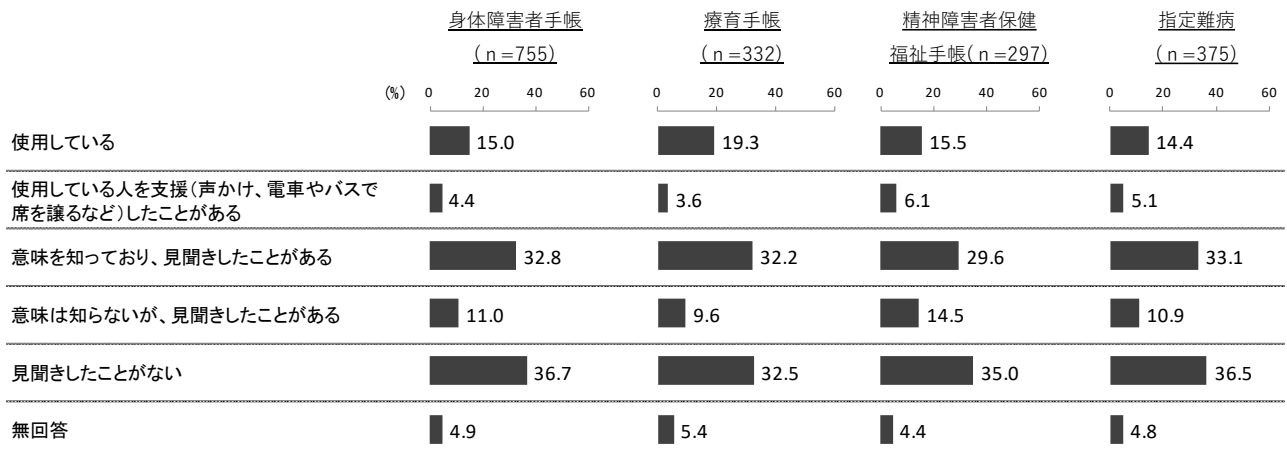
問 19 あなたは、「ヘルプマーク」を知っていますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「意味を知っており、見聞きしたことがある」が最も高くなっている。身体障害者手帳、指定難病者は、「見聞きしたことがない」が2番目に高く、次いで「使用している」となっている。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者は、「使用している」が2番目に高く、次いで「見聞きしたことがない」となっている。



問 20 あなたは、「ヘルプカード」を知っていますか。(いくつでも)

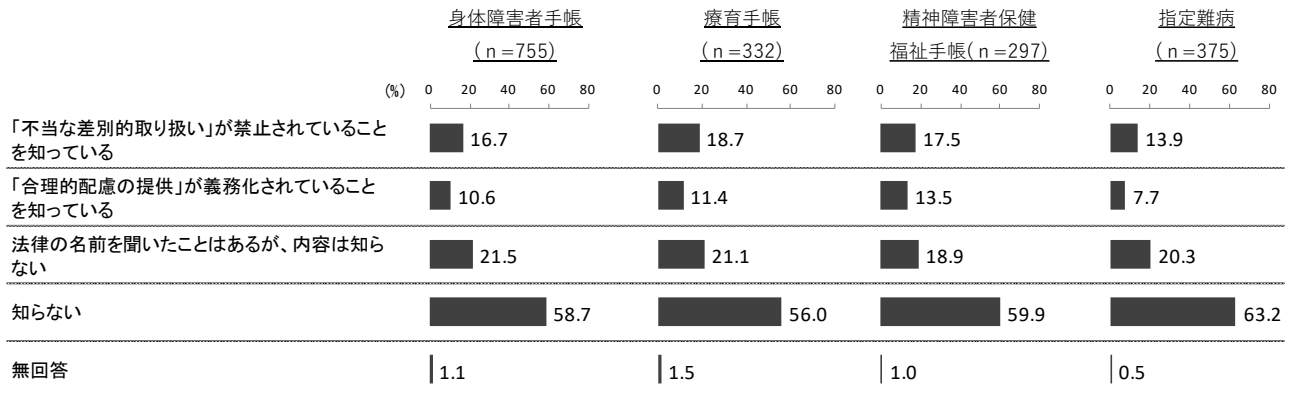
身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「聞きしことがない」が最も高く、次いで「意味を知っており、聞きしことがある」、「使用している」と続く。手帳の種類別・指定難病者で大きな差はみられない。



(3) 「障害者差別解消法」の認知状況

問 21 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(いくつでも)

「障害者差別解消法」について、身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「知らない」が5割以上と最も高くなっている。次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」がおおよそ2割となっている。



## 4. 災害対策について

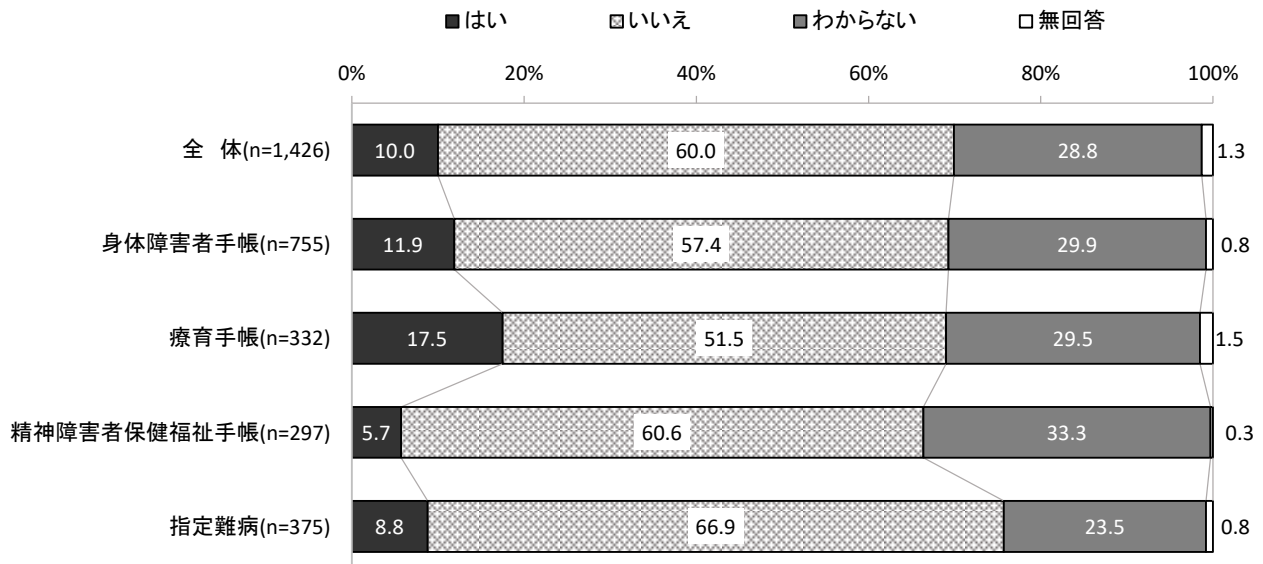
### (1) 「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」の登録状況

問 22 あなたは、市が実施している「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」に登録していますか。登録していない場合は、その理由もお答えください。(登録状況はひとつだけ・登録していない理由はいくつでも)

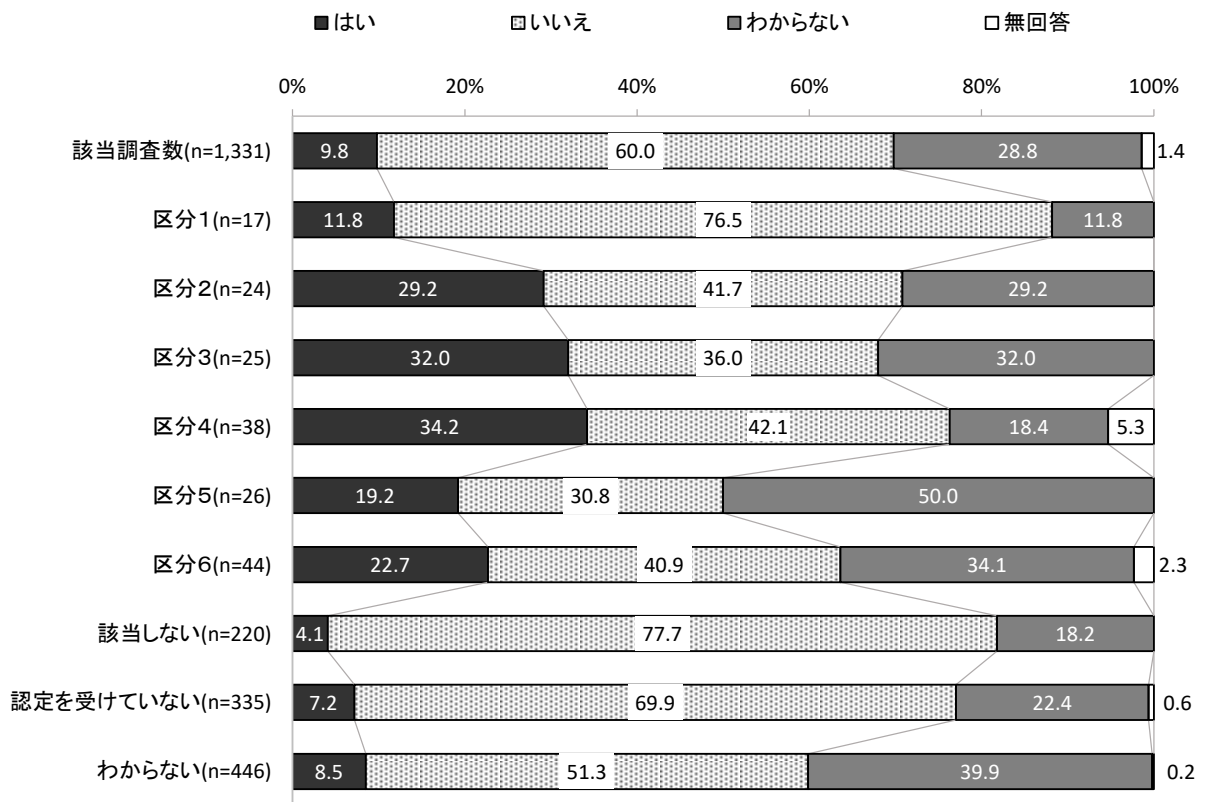
「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」への登録者は、身体障害者手帳所有者は 11.9%、療育手帳所有者は 17.5%、精神障害者保健福祉手帳所有者は 5.7%、指定難病者は 8.8%となっている。

障害支援区分別で見ると、区分 1 から区分 6 までの認定を受けている人で、登録割合が高くなっている。

#### 【登録状況】

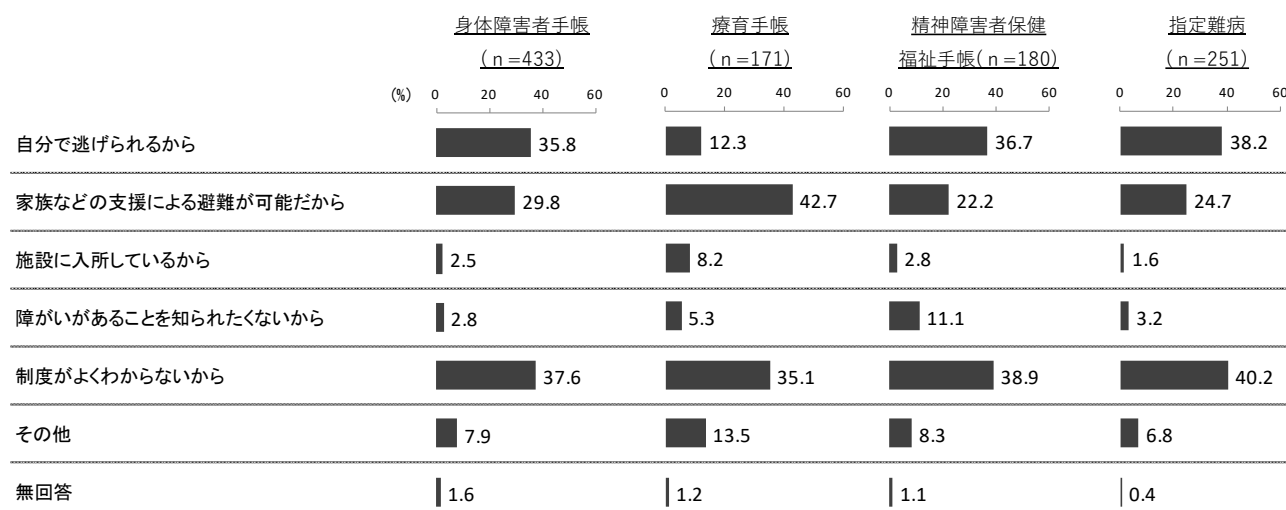


<障害支援区分別>



## 【登録していない理由】

未登録理由としては、身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「制度がよくわからないから」が最も高く、次いで「自分で逃げられるから」となっている。療育手帳所有者では、「家族などの支援による避難が可能であるから」が最も高く、次いで「制度がよくわからないから」となっている。



## (その他)

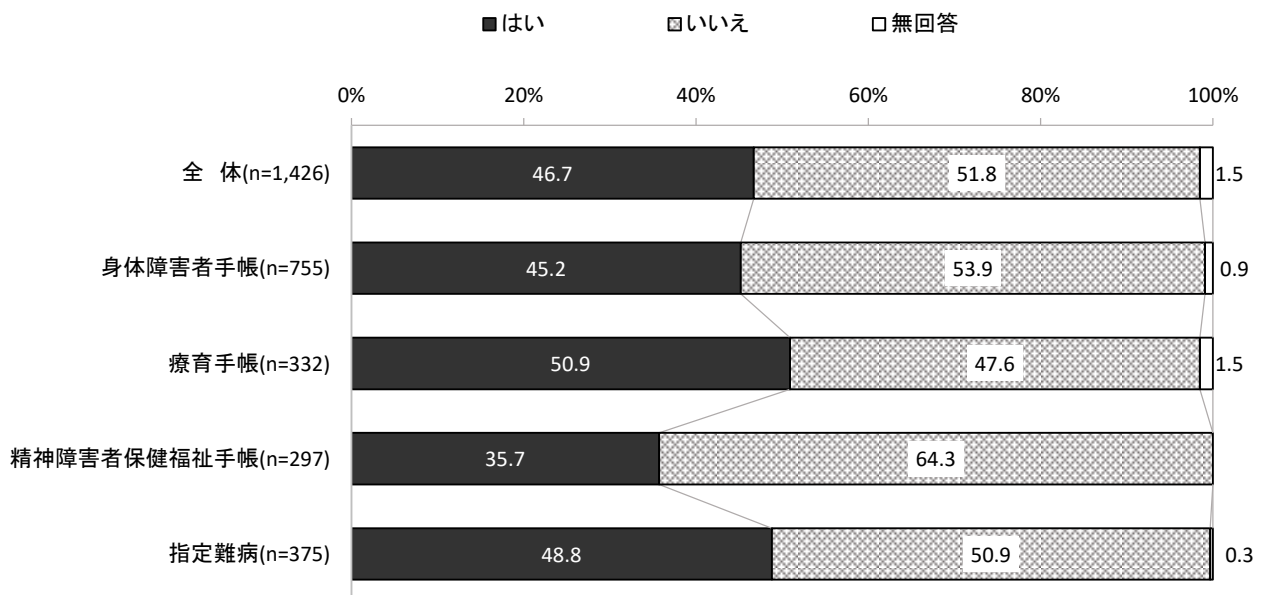
制度を知らなかった(29件)/対象外だから(2件)/手続きの仕方が分からない/登録の仕方を知らない/登録しますか?といった案内を貰ってないから。/そう言う話が無い/最近まで家族と一緒にいたから/実効性が疑問だから/紙上の形式論で実際に役に立たないし、いざというとき行政機関は当てにならない。手が足りないとか想定外だったと言い訳する無責任と知っている/情報だけ知られて実際の援助は期待できないから/この制度で避難できにくさが解消されないから/避難しても知的重くさけぶ等するので避難所にいられないからムダだと思ってる。自分でやるしかない。/当時、こどもが小さく手続きすることができなかったから/今までは小さかったので抱っこで避難できたので登録していなかった。そろそろ登録したいと思ってるけど手続きの方法がわからないのでそのままにしていた。/登録期限が過ぎてしまったのと、住民票と違うところに住んでいるため実態として難しい/登録時はまだ進行が進んでなかった為登録すら必要は無いと判断したが、今は思っていたより進行が早く登録が必要だとは考えているが方法が分からない/様子見にて登録したい/転入後だったので考えるゆとりがなかった/動くことで血圧が大きく変動して死亡する恐れがあるとされているので。避難所よりも自宅にいた方が安全なので。/夫も歩けない障害者なので/人工呼吸器を離脱出来ず常時電源が必要なため移動は難しい/避難することが難しいから/犬がいるので避難もできない/登録し忘れた/提出し忘れた気がする/今後、登録しようと考えてます。/薬剤師なので地域の避難所での活動が求められている/他人に迷惑、負担がかかる為/ご近所付き合いがなく支援をしてくれる人をお願いできない。/頼める人がいない/そんな時は皆大変だから迷惑をかけたくない/現在の家では、避難先が自宅なので。/実家へ避難する事も出来るからです。/仕事しているので大丈夫/一人になることはなく、必ず誰かと一緒にいるから。

(2) 避難訓練の参加意向

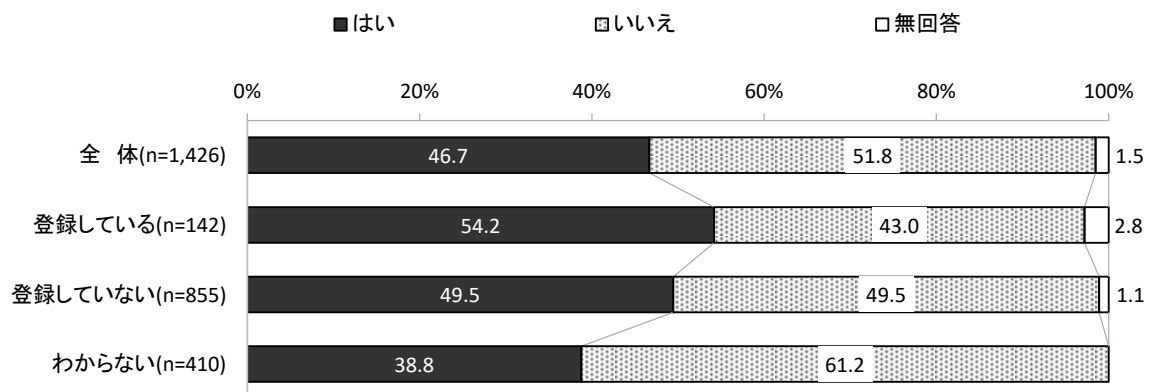
問 23 あなたは、地域で実施している避難訓練に参加しようと思いますか。(ひとつだけ)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者では、「はい」の参加意向がある人でおよそ5割となっている。一方、精神障害者保健福祉手帳所有者では35.7%にとどまっている。

「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」の登録状況別では、登録しているかわからない人で「はい」が低くなっている。

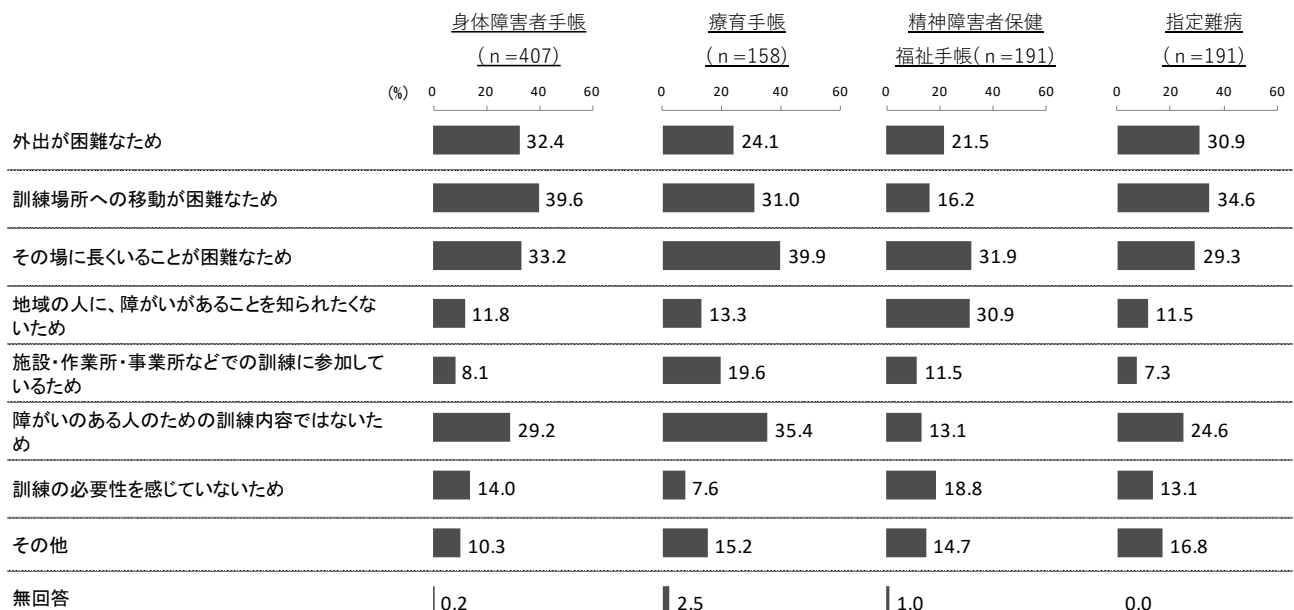


<「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」の登録状況別>



問 24 問 23 で「いいえ」の場合、参加しようと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、指定難病者では、「訓練場所への移動が困難なため」が最も高くなっている。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では、「その場に長くいることが困難なため」が最も高くなっている。また、身体障害者手帳所有者、指定難病者は、「外出が困難なため」、「その場に長くいることが困難なため」がおおよそ3割と高い。療育手帳所有者は、「障がいのある人のための訓練内容ではないため」が、精神障害者保健福祉手帳所有者は、「地域の人に、障がいがあることを知られたくないため」がおおよそ3割と高くなっている。



(その他)

- 【ほかに予定がある・多忙・時間が取れない……計 16 件】以下抜粋
  - 午前中の活動ができないため
  - 両親が仕事をしているため都合がつきにくい
  - 時間があるなら、自分がやりたいことをやりたいから
  - 親に余裕がない。自営業だから
  - 土日に行われることが多く、参加するためには仕事の休暇を取る必要があるから
- 【他者とのかかわり、集団行動が困難……計 11 件】以下抜粋
  - うつ病で、誰にも会いたくないから
  - 近所の人と過ごすのが苦痛なため。
  - 交流が困難なため
  - 集団に入ると症状が出る為
  - 住んでいることを知られたくない人が同じ地域にいるから
  - 人が多い場所の移動がこわい
- 【実施を知らない……計 8 件】以下抜粋
  - いつどこで行われているかわからない
- 【参加自体が困難……計 8 件】
  - そもそも参加出来ない
  - 同居妻が障害者の為
  - 発達障害のため騒いでしまいほかの人の迷惑になるから。
  - 病気と障害があるから
  - 不登校の為
  - 母親の介護等
  - 足が悪いのでなるべく歩きたくないからです。
  - 難病の病気があるため
- 【自治会未加入……計 6 件】
  - 自治会に入っていないからか、情報がない
  - 自治会に入っていない為、声がかからない

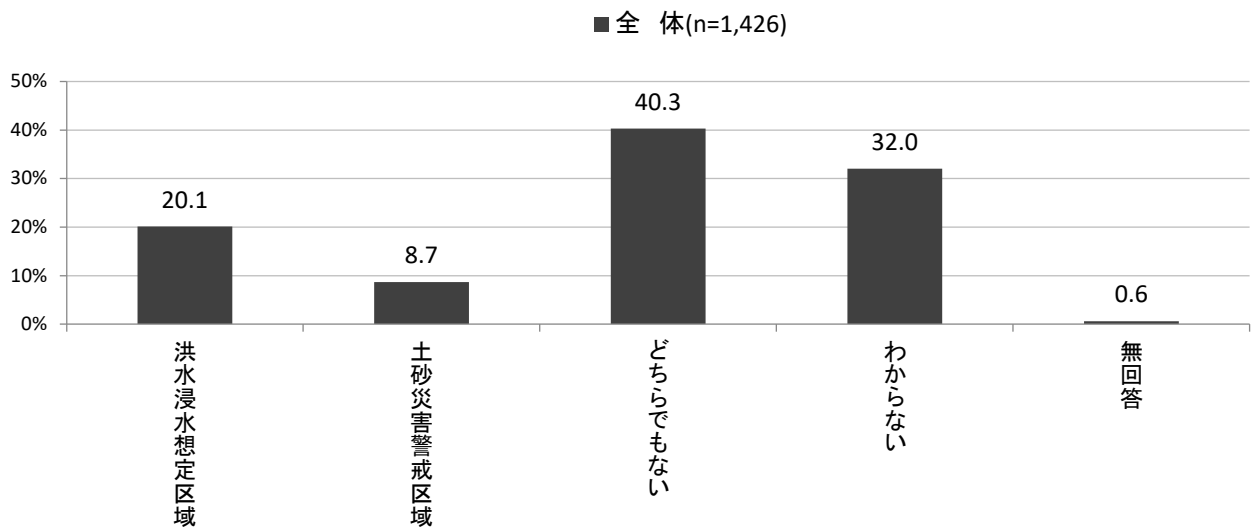
- 町内会に加入していないから
- 町内会に入っていないので行きづらい
- 賃貸アパートなので、町内会などに関わりがない
- アパートのため組に入っていないため地域の防災訓練に参加できない。一度組長さんに頼んだが、役所に聞いてくれるといい返事はない。
- 【入院・入所している……計 6 件】抜粋省略
- 【面倒……計 4 件】抜粋省略
- 【訓練が有益と思えない……計 4 件】
  - 何度も参加しているが決められた場所に集まり、班ごと並び人数確認。その後町全体が集まる場所に移動し人数確認で終了。仕事を休んでまで参加する意味ない。
  - 形式的なものであり、おやも長時間そこにいないといけないのが負担
  - 従来の延長線上ありきたりの形式訓練はまるで役に立たないから 阪神淡路震災も東日本大震災も熊本地震も能登半島地震も同ような災害時対応不備が繰り返えされ過去の教訓が生かされて無い 税金使ってやるだけ無駄
- 役に立ちそうな訓練でないため
  - 【家族が参加……計 2 件】抜粋省略
  - 【インフルエンザ……計 2 件】抜粋省略
- すでに参加したことがあるから
- トイレ
- 引っ越しの可能性があるので
- 円滑に進められず他の参加者に迷惑をかけてしまう
- 家族に迷惑をかけるので諦めている。
- 会社で行うため
- 階段多すぎてムリ。内容もだらだら長すぎてムリ(今回は2時間もかかった)
- 学区外のため知ってる人がいないため

- ・ 勤務先で実施しているが、障害者にも配慮されており充実した訓練が定期的実施されているから
- ・ 見た目で分かりづらい障害なので地域の方の理解や十分な配慮を得られにくい
- ・ 在宅の時は 家族と参加したことがある
- ・ 在宅避難を想定しているため
- ・ 自宅が一番安全な地域に住んでいる
- ・ 自分自身で判断できると思う
- ・ 自力で何でもやっている
- ・ 職人の為復旧の為に仕事をしなければならない
- ・ 父の時に登録したかも？ ユニバーサルデザインとは？ ヘルプマーク付けてて人に あんなの何の役にも立たないし 一体何なの？と 逆に問われました
- ・ 物珍しく見てきたり、「可哀想に」と言ってきたりする人が多いから
- ・ 無理に参加して晒し者になりたくないめ

## (3) 居住地の状況

問 25 あなたが住んでいるのは、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域ですか。(いくつでも)

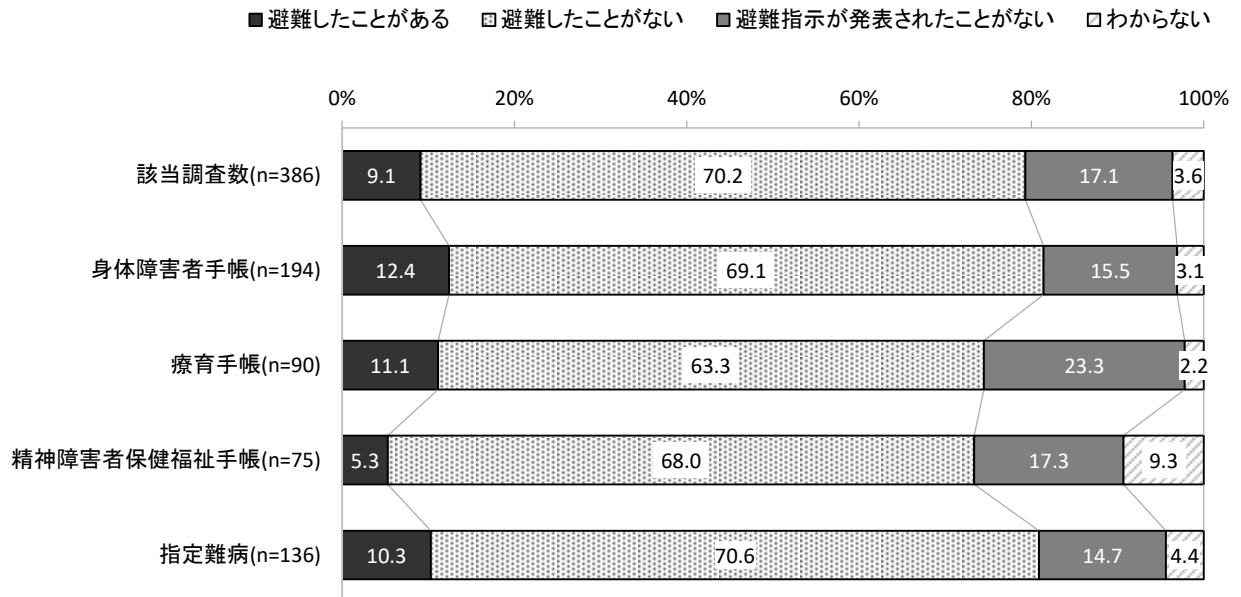
居住地が、「洪水浸水想定区域」となっている人は20.1%、「土砂災害警戒区域」となっている人は8.7%となっている。



(4) 避難指示と避難の経験

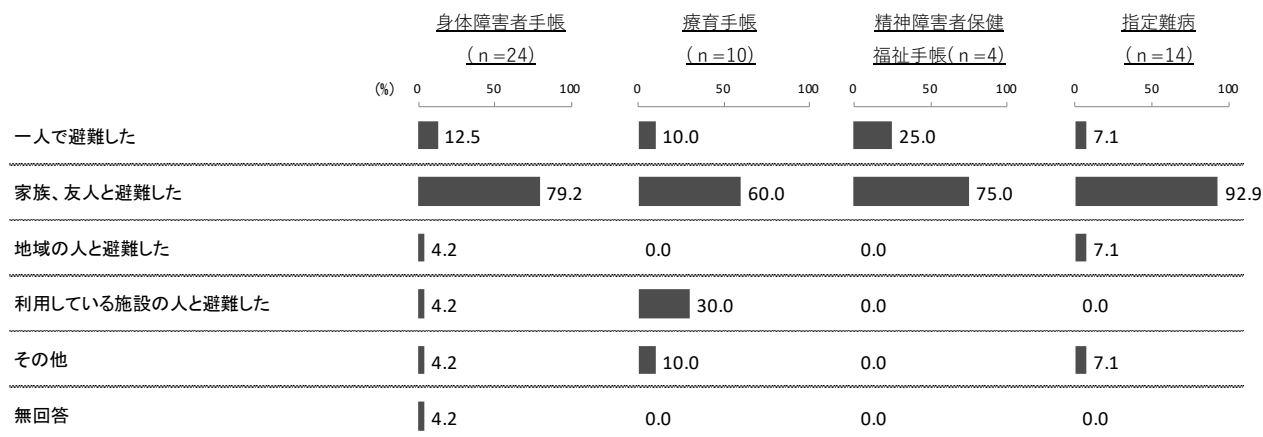
問 26 問 25 で「洪水浸水想定区域」、「土砂災害警戒区域」の場合、あなたは、お住まいの地域に避難指示が発表されたときに、住んでいる場所から避難したことがありますか。(ひとつだけ)

避難指示が発表されたときに、「避難したことがある」は、身体障害者手帳所有者は 12.4%、療育手帳所有者は 11.1%、精神障害者保健福祉手帳所有者は 5.3%、指定難病者は 10.3%となっている。



問 27 問 26 で「避難したことがある」場合、誰と避難をしましたか。(いくつでも)

サンプル数が少ないので参考程度となるが、身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「家族、友人と避難した」が最も高くなっている。

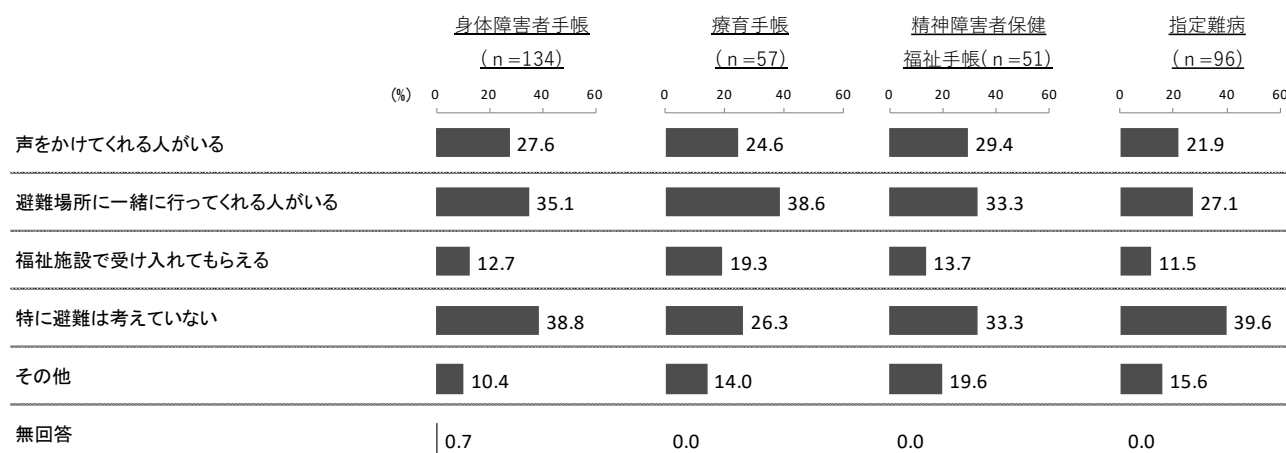


(その他)

避難はしたが、公的な場所、体育館などで大勢の中にいるのは大変なので車の中にいた。

**問 28 問 26 で「避難したことがない」場合、どのような場合に避難をしようと思いますか。(いくつでも)**

身体障害者手帳所有者、指定難病者では、「特に避難は考えていない」が最も高く、精神障害者保健福祉手帳所有者では、「特に避難は考えていない」と「一緒に行ってくれる人がいる」が並んで高くなっている。療育手帳所有者では、「一緒に行ってくれる人がいる」が最も高く、次いで「特に避難は考えていない」となっている。



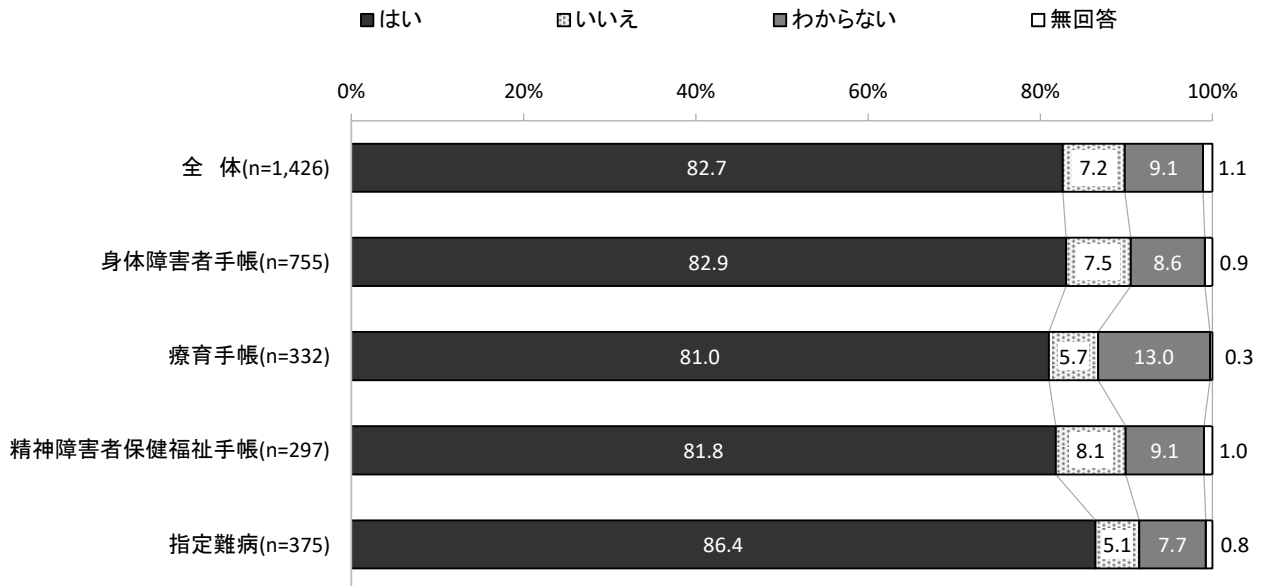
(その他)

裏山が崩れてきたら(2件)/危険が近づいているとひしひしと感じたとき/テレビやインターネットのニュース等で危険と判断した場合/家族で判断したとき/切羽詰まったら/避難が必要な状況になったとき/警報がでた場合/区全体への避難指示ではなく近隣の地域への避難指示が出たり、自分で危ないと判断したとき/上流域で浸水があった場合/状況を見て出来るだけ自力で避難したい/自分で避難可能/仕事が休みの時/親と行動する/姉の所へ行く/いままでそのような経験がない/特に高台に逃げる事を考える/家の中にいたから/自宅の二階に避難した/今まで床下浸水までで、水が引けば大丈夫なため。危ない時は避難しようと思っています。/避難指定されている公民館も浸水したことがあるので自宅の2階にとどまる/違うところが苦手だし、周りに迷惑を掛けるので、なるべく家で過ごす。/自宅二階へ誘導してもらう/避難場所では不便を感じる/建物が高いので今のところ必要がなかったです。/地震による火災以外には避難は考えていない/避難場所がわからないのと、車椅子利用者なので移動何困難であり、避難先での生活にも不安がある為/避難場所に行くのに危険な箇所を通らないと行けない為/避難場所が遠い/すぐに対応ができないから/ただちに動けない(少しとおい)/入院中のため

(5) 災害時の安全確認

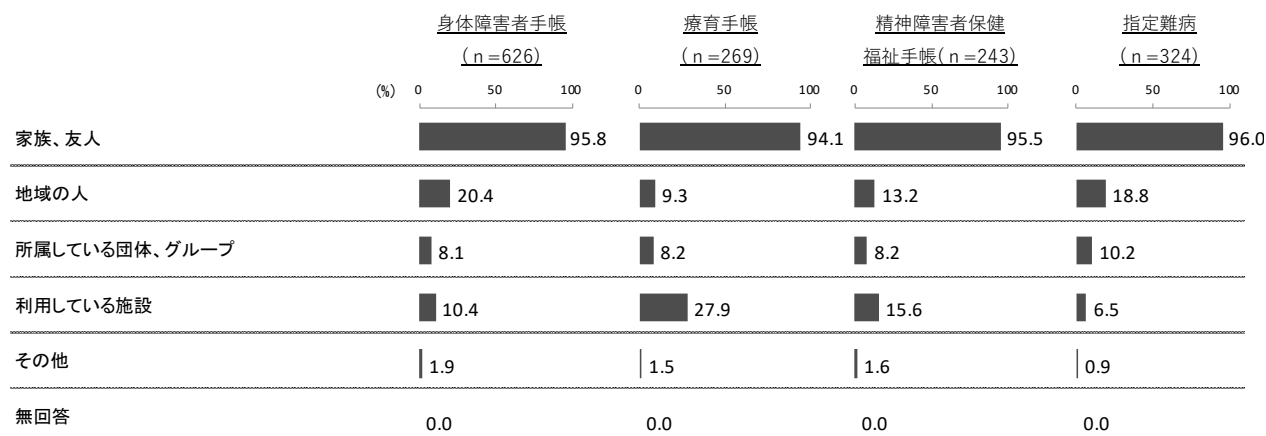
問 29 あなたは、地震などの災害が起きたあとに、安全を確認し合える人がいますか。(ひとつだけ)

「はい」の安全を確認し合える人がいると回答した人は、身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、8割台となっている。療育手帳所有者は「わからない」が他よりやや高く、指定難病者は「はい」が他よりやや高くなっている。



**問 30 問 29 で「はい」の場合、安全を確認し合える人は、どのような人ですか。(いくつでも)**

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「家族・友人」が9割で最も高くなっている。2番目に高い項目をみると、療育手帳所有者は、「利用している施設」がおおよそ3割と高く、身体障害者手帳所有者、指定難病者は、「地域の人」がおおよそ2割と高くなっている。



(その他)

職場・職場の人(10件)/親戚(2件)/成年後見人/利用している居宅サービス/自分からは確認は不可

## 5. 雇用・就労について

### (1) 就労の状況

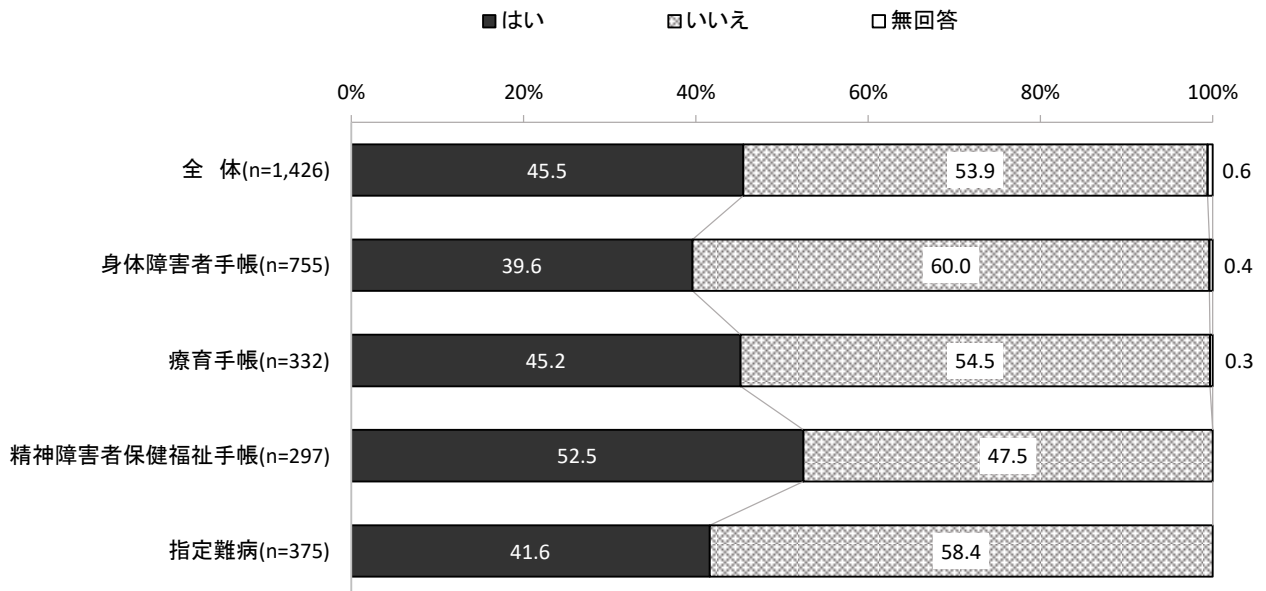
問 31 あなたは、現在、働いていますか。通所施設(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、生活介護事業所など)での就労も含みます。(ひとつだけ)

働いている人の割合は、身体障害者手帳所有者は 39.6%、療育手帳所有者は 45.2%、精神障害者保健福祉手帳所有者は 52.5%、指定難病者は 41.6%となっている。

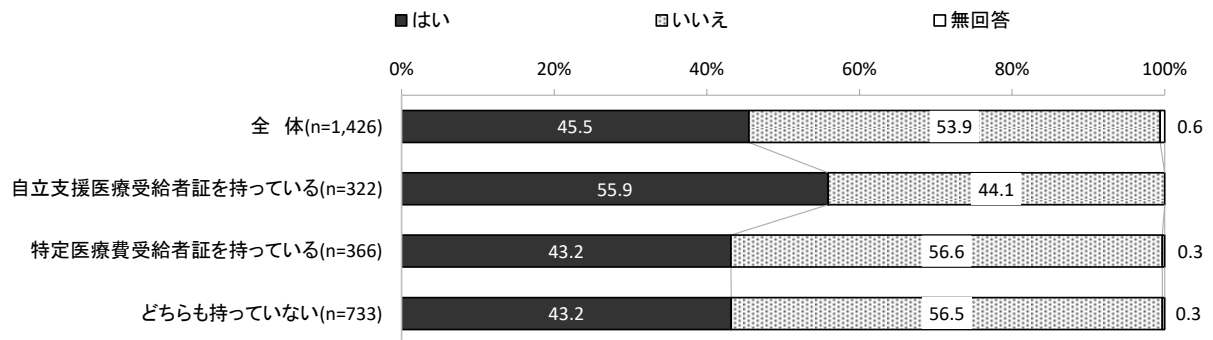
受給者証の有無別でみると、働いている人の割合は自立支援医療受給者証所有者では 55.9%、特定医療費受給者証所有者では 43.2%となっている。

高次脳機能障がい診断別でみると、診断されている人で働いている人は 49.2%となっている。

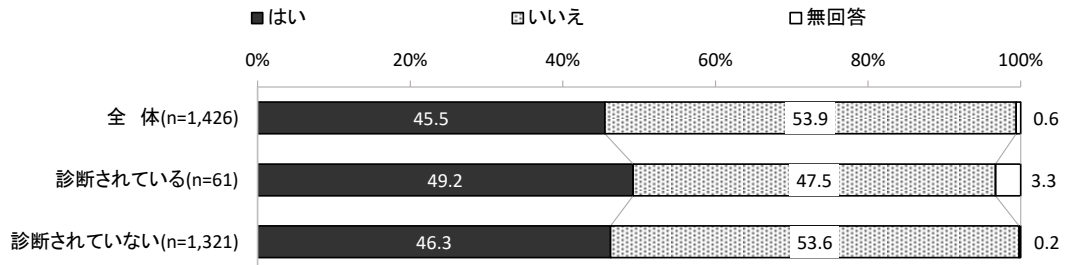
発達障がいの診断別でみると、診断を受けている人で働いている人は 43.9%となっている。



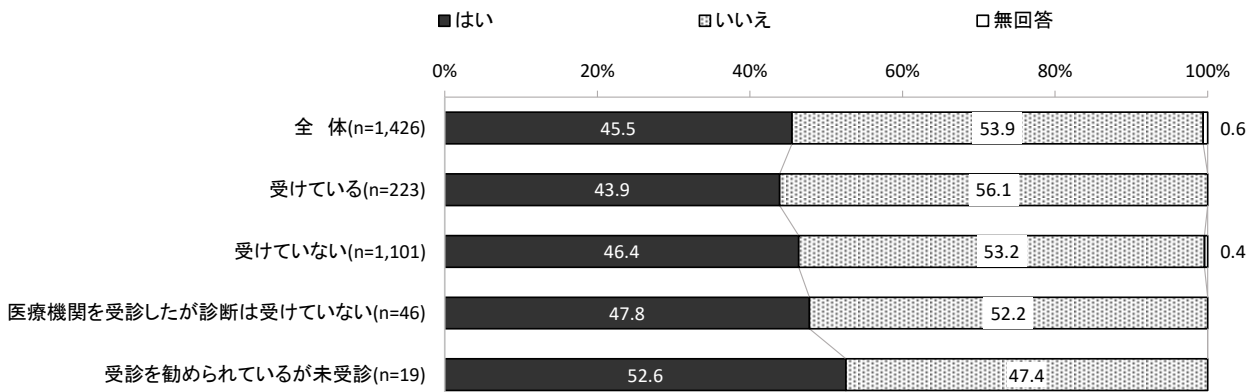
<受給者証有無別>



<「高次脳機能障がい」診断別>

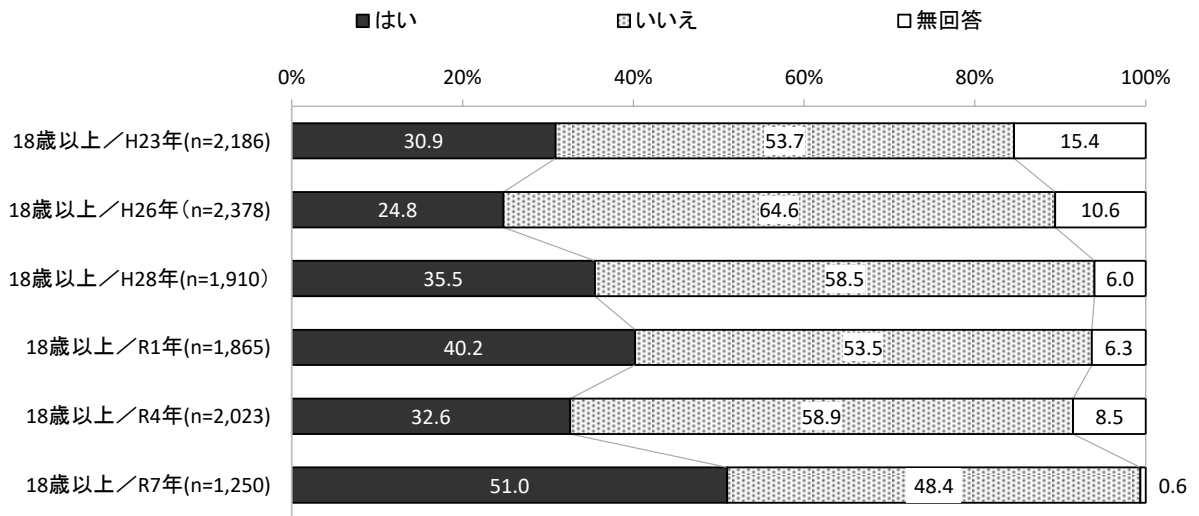


<発達障がいの診断有無別>



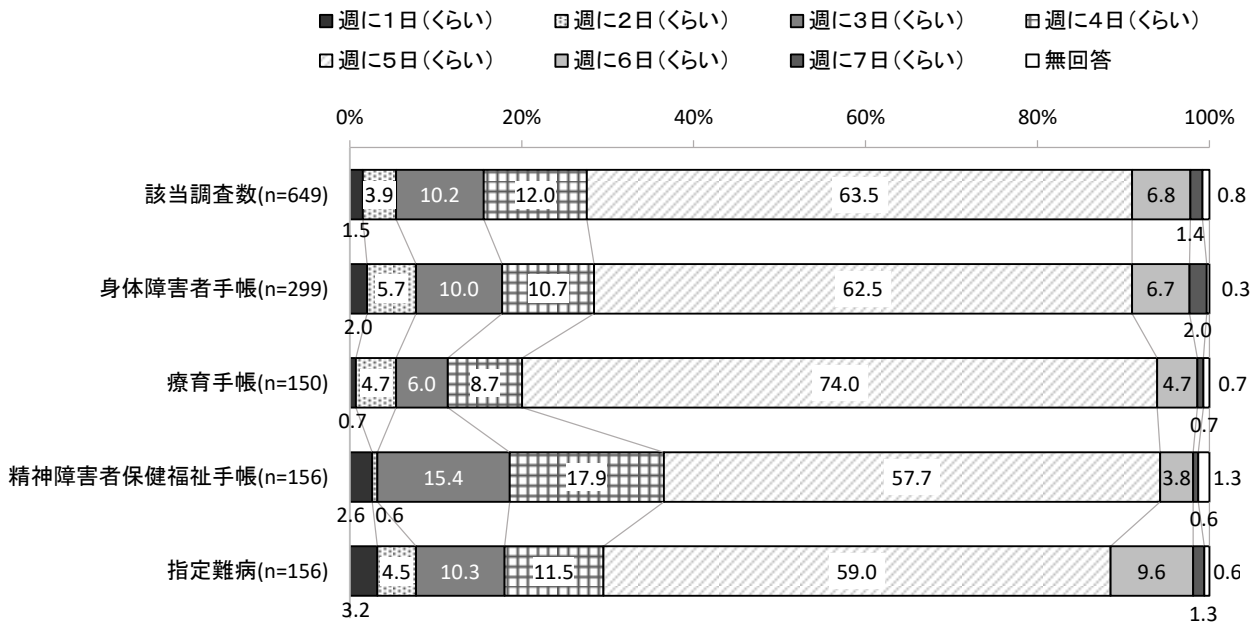
<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、働いている人の割合は増加傾向にあり、今回調査では5割となっている。



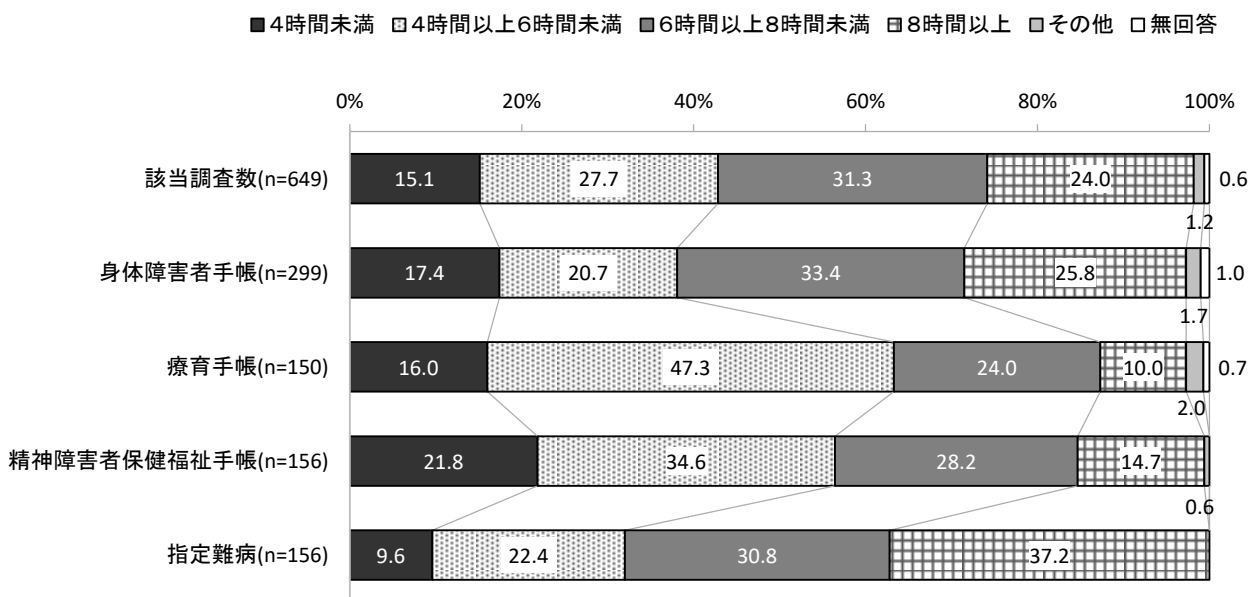
**問 32 問 31 で「はい」の場合、週に何日働いていますか。(数字を記載)**

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「5日」が5割以上と最も高く、次いで「4日」の順となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者は、「3日」が15.4%と他より高くなっている。



**問 33 問 31 で「はい」の場合、1日何時間くらい働いていますか。(ひとつだけ)**

身体障害者手帳所有者では、「6時間以上8時間未満」33.4%が最も高く、次いで「8時間以上」25.8%となっている。療育手帳所有者では、「4時間以上6時間未満」47.3%が最も高く、次いで「6時間以上8時間未満」となっており、「8時間以上」働いている人は10.0%と低くなっている。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「4時間未満」21.8%が身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者と比べて高く、指定難病者では、「8時間以上」37.2%が高くなっている。

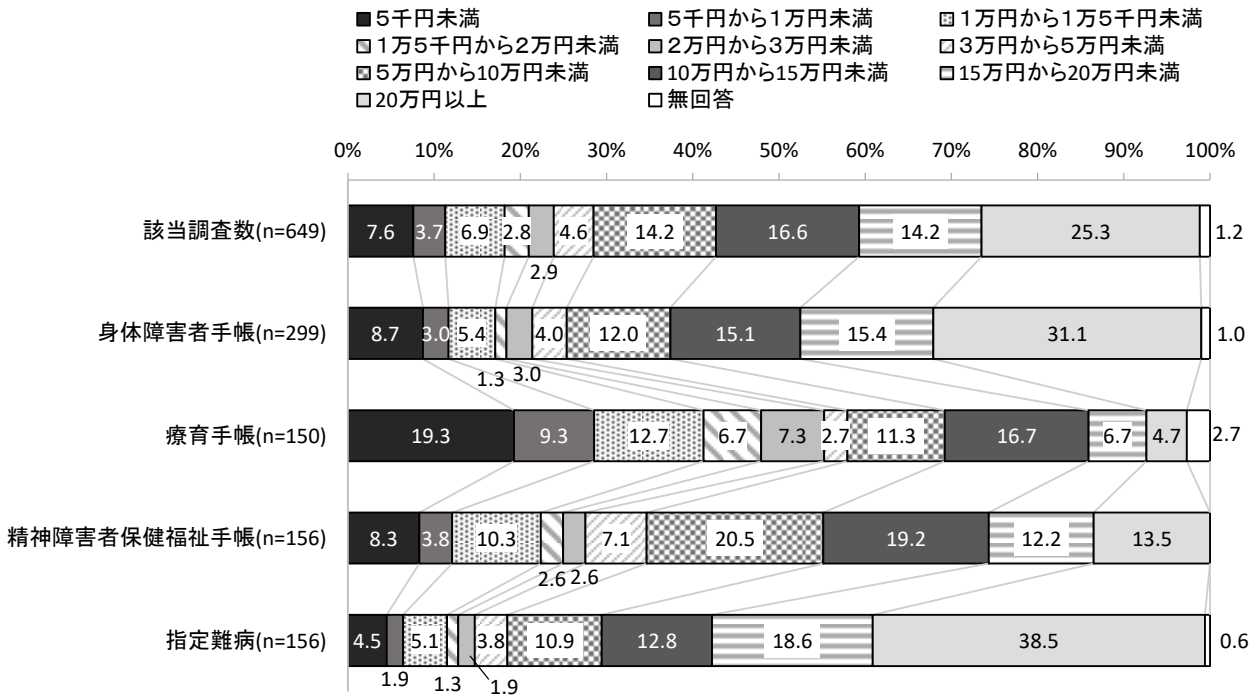


(その他)

親が自営業なので出来る事を手伝っている/夜勤でない日は8時間、夜勤の日は16時間/バラバラ/介護職で昼間は8時間勤務だが夜勤もしている/残業がある時は8時間以上/生活介護事業所/忙しい時とそうでない時の格差が激しいので1日以内での労働時間は出しにくい。

問 34 問 31 で「はい」の場合、1か月の平均給与・賃金・工賃はどのくらいですか。(ひとつだけ)

身体障害者手帳所有者、指定難病者では、「20万円以上」が3割で最も高くなっている。療育手帳所有者では、1万5千円未満が4割を占める。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「5万円から10万円未満」20.5%が最も高く、次いで「10万円から15万円未満」19.2%となっている。就労場所別でみると、通所施設においては1万5千円未満でおよそ6割となっている。



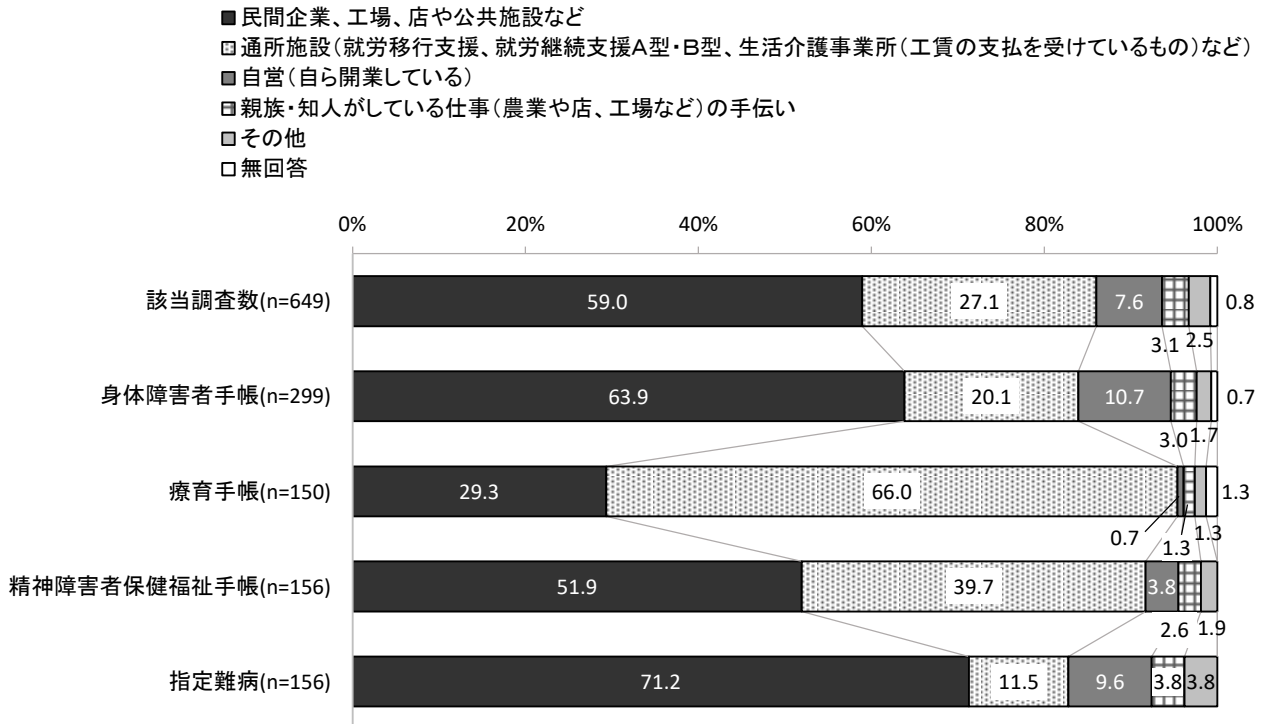
<就労場所別>

	実数	単位 %										
		5千円未満	5千円から1万円未満	1万円から1万5千円未満	1万5千円から2万円未満	2万円から3万円未満	3万円から5万円未満	5万円から10万円未満	10万円から15万円未満	15万円から20万円未満	20万円以上	無回答
該当調査数	(649)	7.6	3.7	6.9	2.8	2.9	4.6	14.2	16.6	14.2	25.3	1.2
民間企業、工場、店や公共施設など	(383)	0.3	0.3	1.3	0.5	0.8	3.1	14.1	21.9	20.6	36.8	0.3
通所施設	(176)	24.4	11.9	22.7	8.5	8.0	7.4	8.5	6.3	1.1	0.0	1.1
自営	(49)	6.1	2.0	0.0	2.0	2.0	6.1	16.3	12.2	12.2	40.8	0.0
親族・知人がしている仕事の手伝い	(20)	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	40.0	10.0	20.0	5.0	0.0
その他	(16)	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	43.8	31.3	6.3	12.5	0.0

問 35 問 31 で「はい」の場合、どんなところで働いていますか。(ひとつだけ)

「民間企業、工場、店や公共施設など」は、身体障害者手帳所有者は 63.9%、指定難病者は 71.2%と高くなっている。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「民間企業、工場、店や公共施設など」51.9%、次いで「通所施設」39.7%となっている。療育手帳所有者では、「通所施設」66.0%と最も高くなっている。

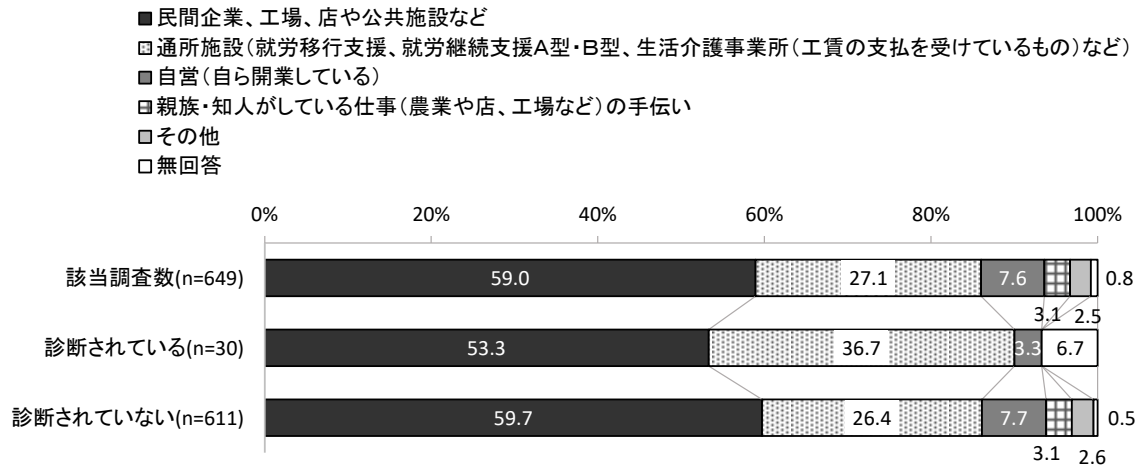
発達障がいの診断を受けている人では、「通所施設」51.0%が高くなっている。



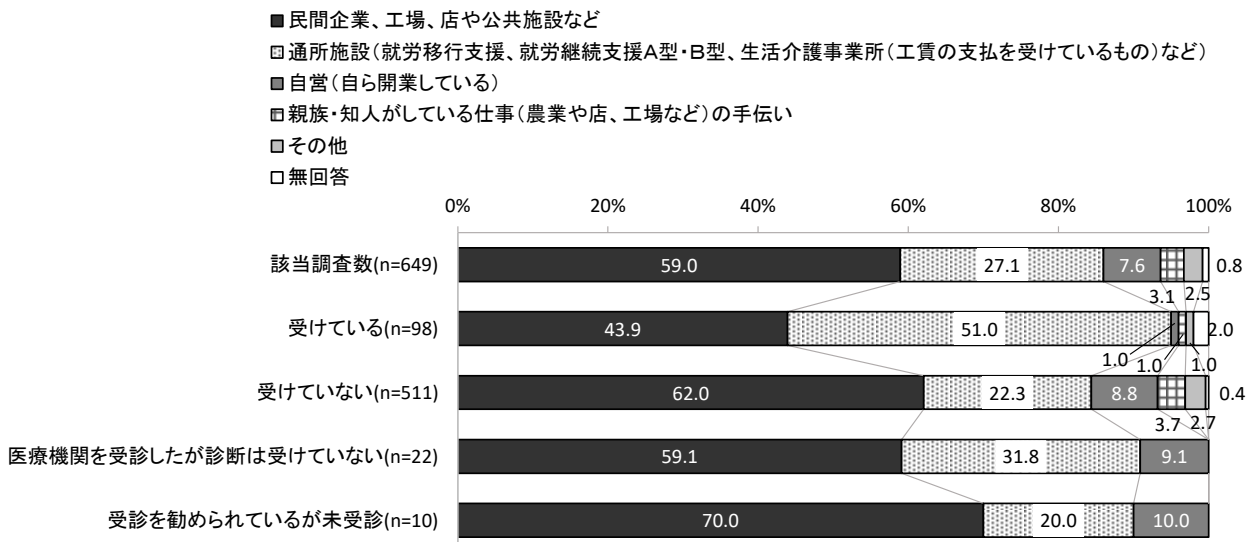
(その他)

在宅勤務/福祉サービスの会社の事務補助、業務用の什器を扱う会社の清掃/知人が勤めてくれ パート/会社管理職/介護/協同組合/会社役員/病院の厨房/畑仕事/介護施設で介護士

< 「高次脳機能障がい」診断別 >



< 発達障がいの診断有無別 >

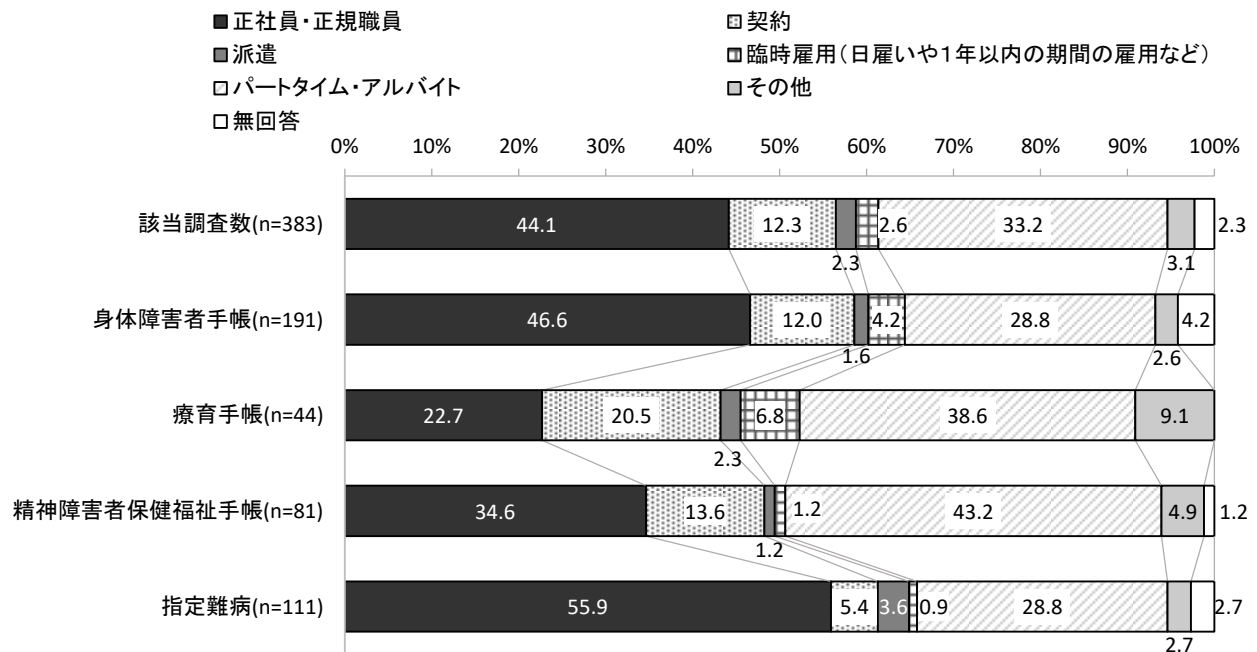


問 36 問 35 で「民間企業、工場、店や公共施設など」の場合、どのような雇用形態で働いていますか。(ひとつだけ)

身体障害者手帳所有者、指定難病者では、「正社員・正規職員」が最も高く、次いで「パートタイム・アルバイト」となっている。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では、「パートタイム・アルバイト」がおよそ4割と高くなっている。療育手帳所有者では、「正社員・正規職員」は22.7%と身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者より低くなっている。

高次脳機能障がいの発達診断有無別では、特に大きな差はみられない。

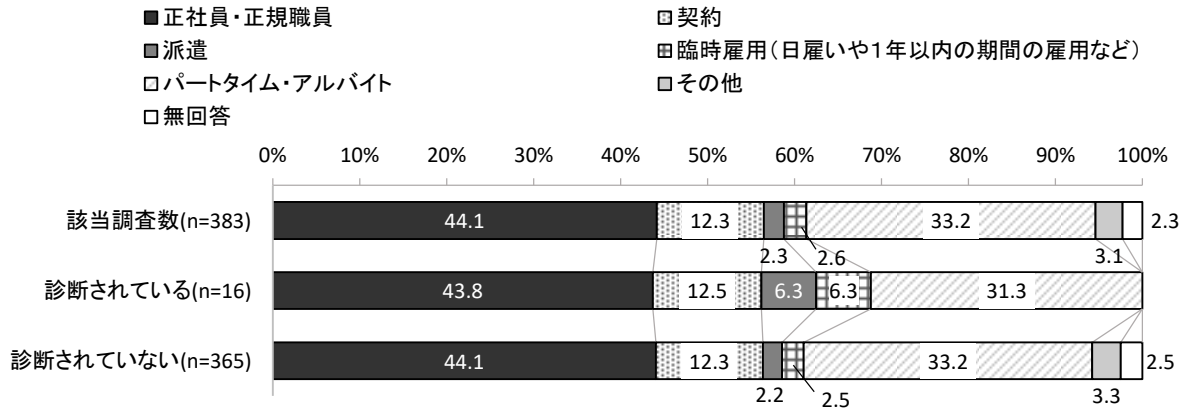
発達障がいの診断有無別では、診断を受けている人で「正社員・正規職員」は37.2%とやや低くなっている。



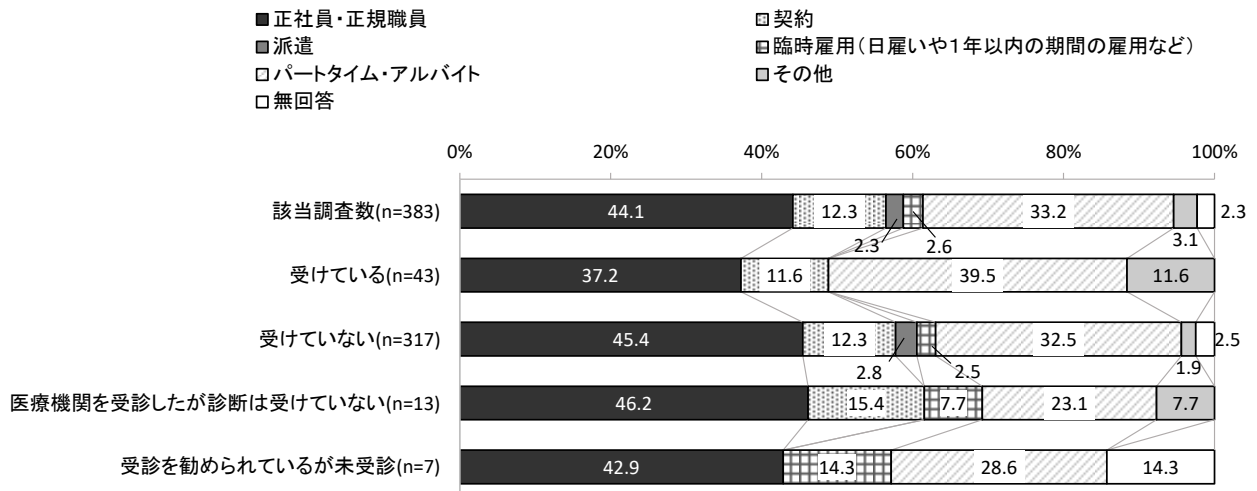
(その他)

準社員(4件)/役員(2件)/嘱託(2件)/トライアル雇用の期間雇用社員/障害者雇用のパート/障害者雇用

< 「高次脳機能障がい」 診断別 >



< 発達障がいの診断有無別 >

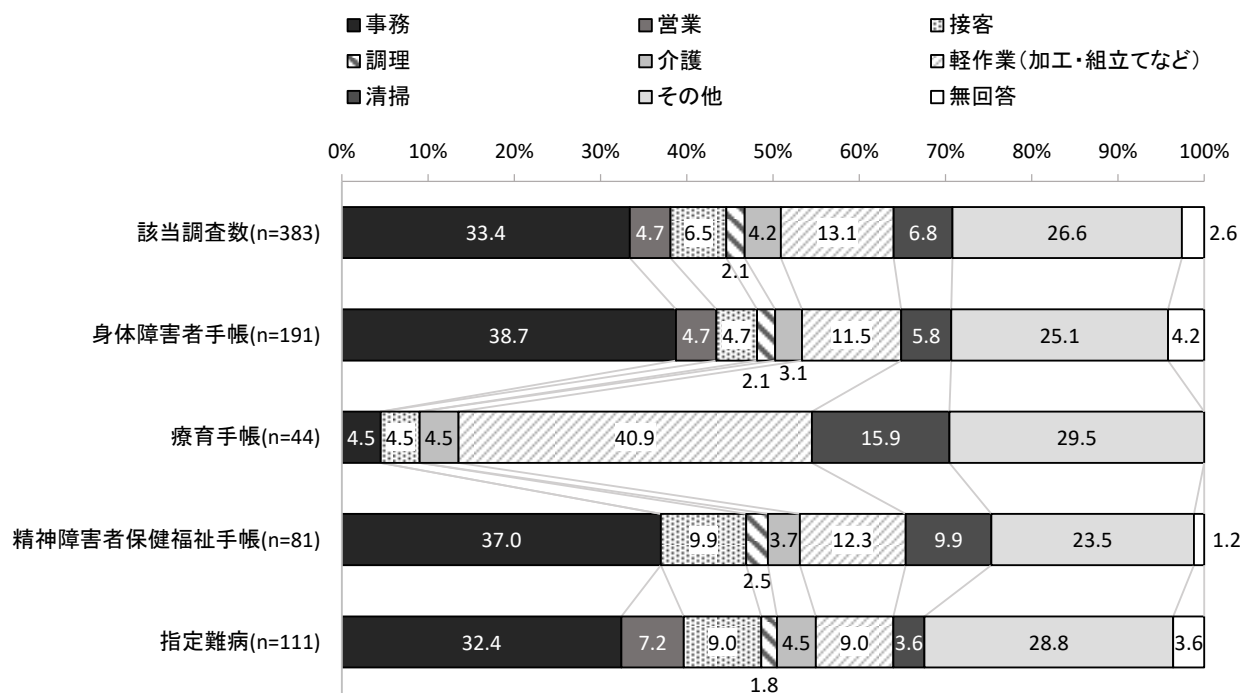


**問 37 問 35 で「民間企業、工場、店や公共施設など」の場合、どのような業務内容ですか。(ひとつだけ)**

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「事務」が3割台で最も高くなっている。療育手帳所有者では、「軽作業」が40.9%と高くなっている。

高次脳機能障がいと診断されている人では、「軽作業」31.3%が高く、「事務」は18.8%と低くなっている。

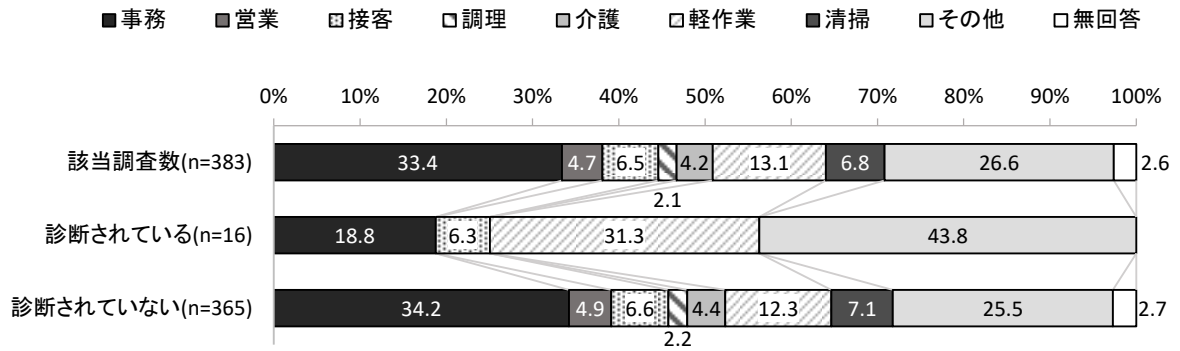
発達障がいの診断を受けている人では、「軽作業」20.9%が高く、「事務」は18.6%と低くなっている。



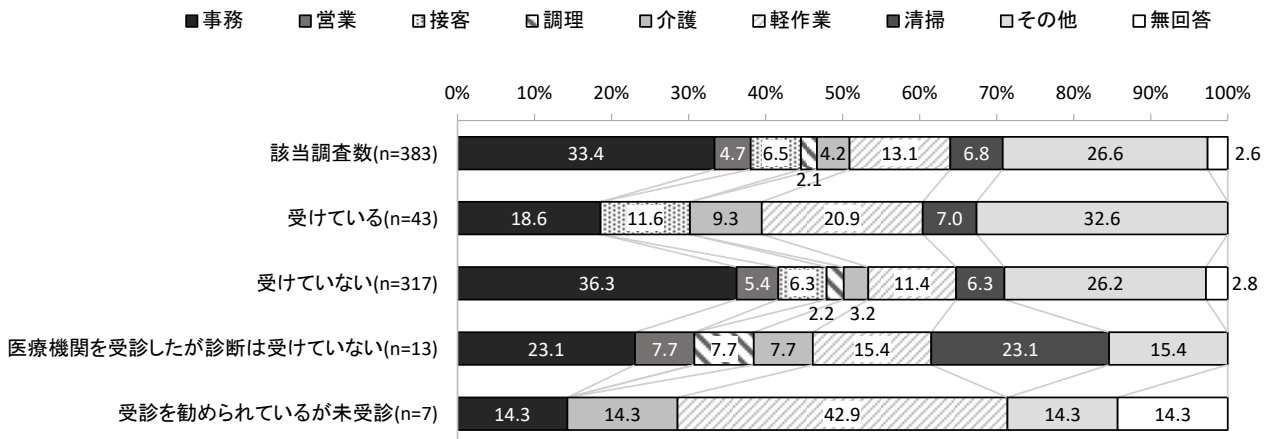
(その他)

看護(6件)/技術職(4件)/ドライバー(3件)/医療(3件)/製造業(3件)/倉庫内作業(3件)/教育(2件)/守衛(2件)/清掃と事務(2件)/設計(2件)/土木(2件)/薬剤師(2件)/PC講師/イーランニングをみてるだけ/コールセンター/スーパーで加工(接客と調理)/スーパーの品出し/マッサージ師/メール便/リハビリ/運行管理者 リフト運転/運輸業/家庭ゴミの収集/介護兼送迎ドライバー/外構工事のサポート/環境調査/企画開発/技術、現場/警備業/建築工事施工管理業務/建築士/研究開発/研究職/現場監督、営業/現場仕事(肉体労働)/工事計画、監督/工場の管理職/児童支援/自動車整備/自動車販売店の洗車業務/受付/障害者福祉/職人/食品加工/洗浄/送迎ドライバー/測量計画・設計等の確認作業/電気エンジニア/透析業務/農作業/配達/品質管理/物流業/理学療法士

< 「高次脳機能障がい」 診断別 >



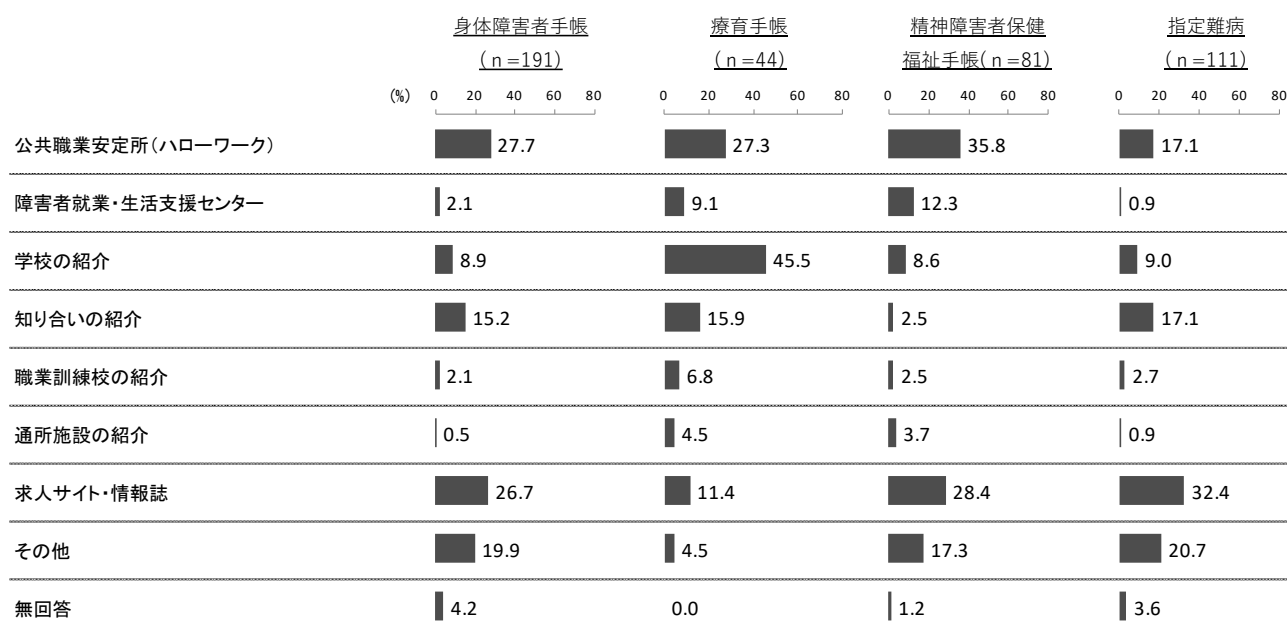
< 発達障がいの診断有無別 >



**問 38 問 35 で「民間企業、工場、店や公共施設など」の場合、今の仕事は、どのような方法で見つけましたか。  
(いくつでも)**

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では、「公共職業安定所（ハローワーク）」が最も高くなっている。療育手帳所有者では、「学校の紹介」45.5%が最も高くなっている。指定難病者では、「求人サイト・情報誌」32.4%が最も高くなっている。

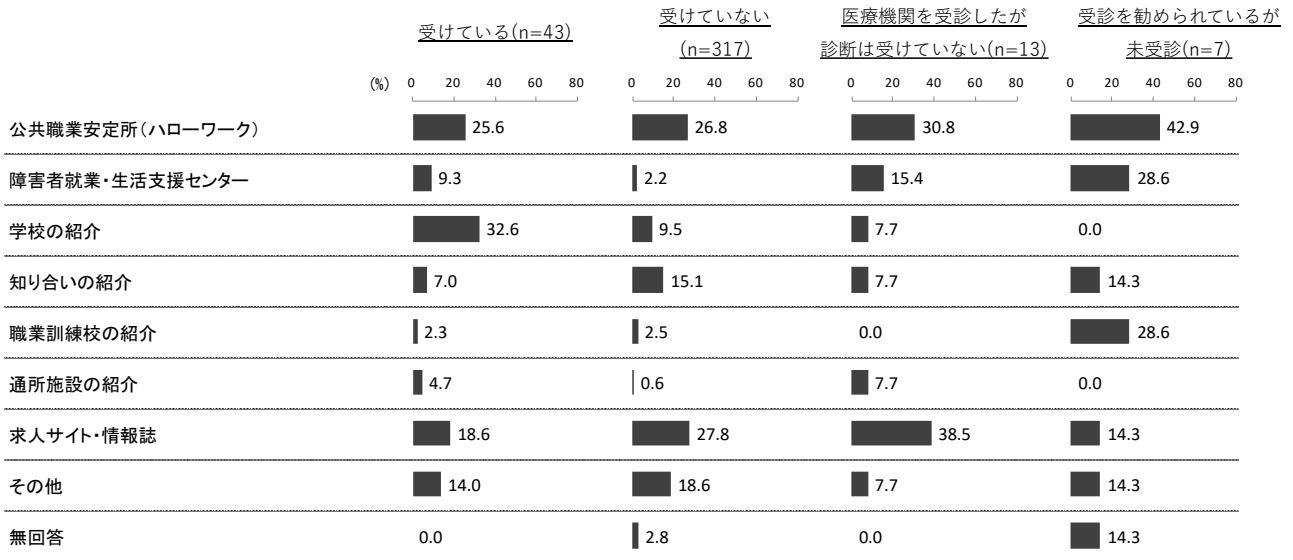
発達障がい診断の有無別でみると、診断を受けている人では「学校の紹介」32.6%が最も高くなっている。



(その他)

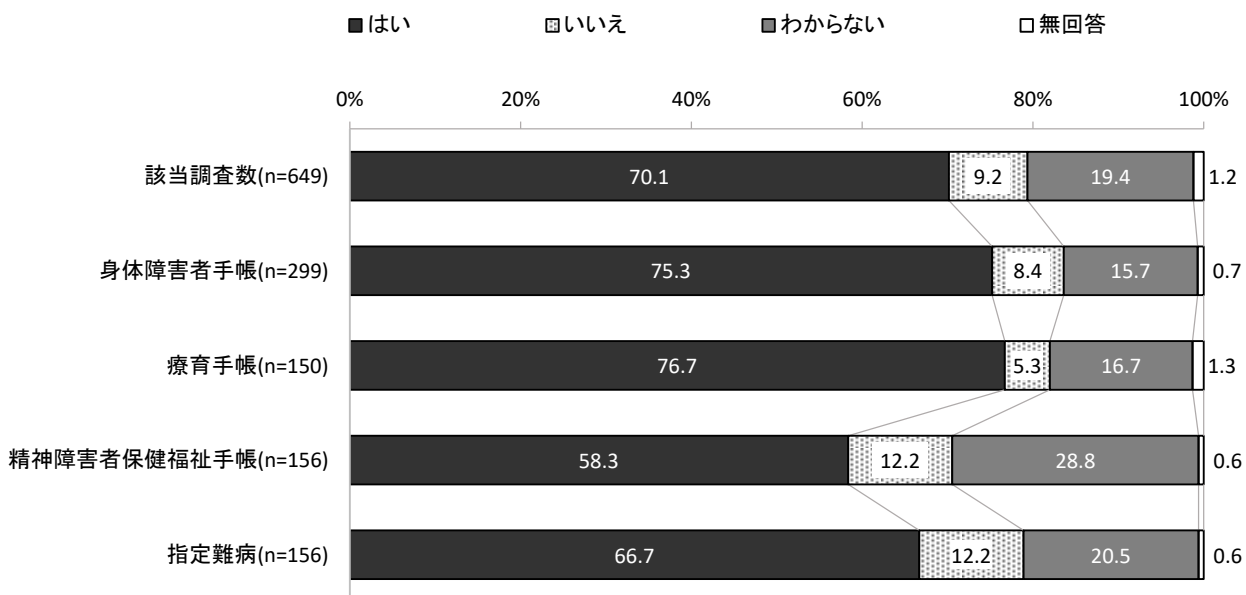
障害をもつ以前から勤務している(21件)/シルバー人材センター(2件)/ホームページ(2件)/家族が経営している(2件)/就職活動(2件)/新卒採用(2件)/SNS上でスカウトを受けた/アルバイトから/ネット/やりたい職種と障害者雇用のワードを使い自ら調べた/家族/家族からのオススメなど/会社のホームページ/学生時代の実習先/広報/採用試験/自営業/実家/実兄の紹介/受診の際募集していた/就活イベント/職業訓練で紹介予定派遣と言う制度をしり、派遣登録から今に至ります。/職業訓練を受けた企業に雇用してもらった/職場の上司から/新聞の求人情報/組合/大学の時にみつけた/派遣会社からの紹介/弊社の奨学金制度の利用から

<発達障がいの診断有無別>



問 39 問 31 で「はい」の場合、あなたは、今の職場・働き方が自分に合っていると思いますか。(ひとつだけ)

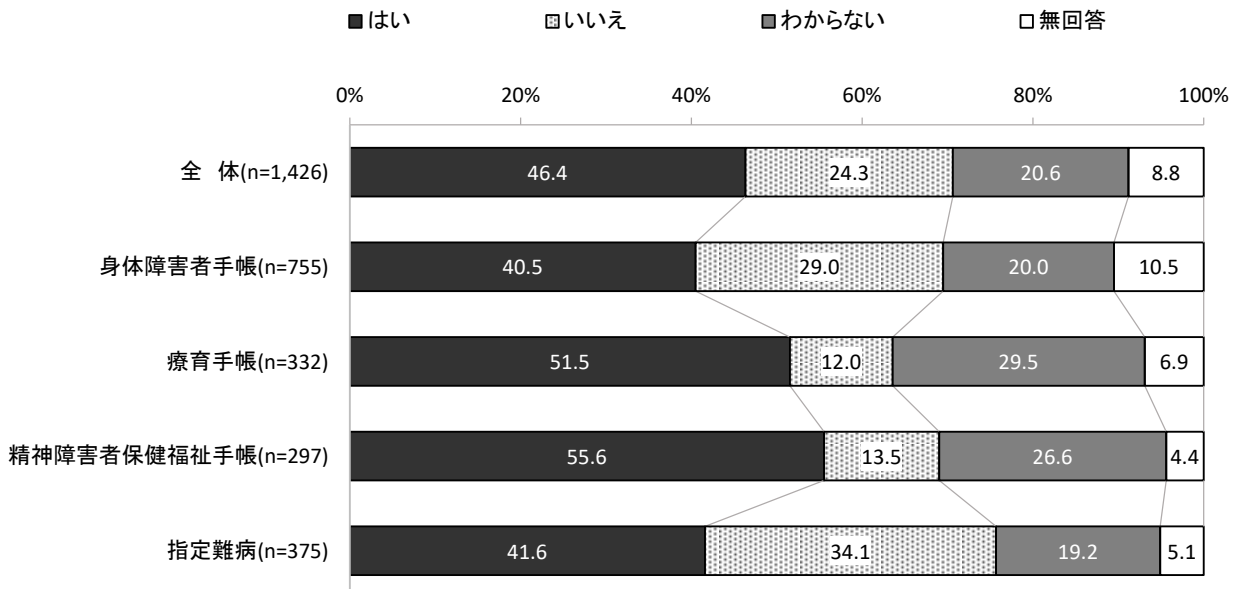
今の職場・働き方が自分に合っていると思う人は、身体障害者手帳所有者は 75.3%、療育手帳所有者は 76.7%、精神障害者保健福祉手帳所有者は 58.3%、指定難病者は 66.7%となっている。



(2) 今後の就労意向

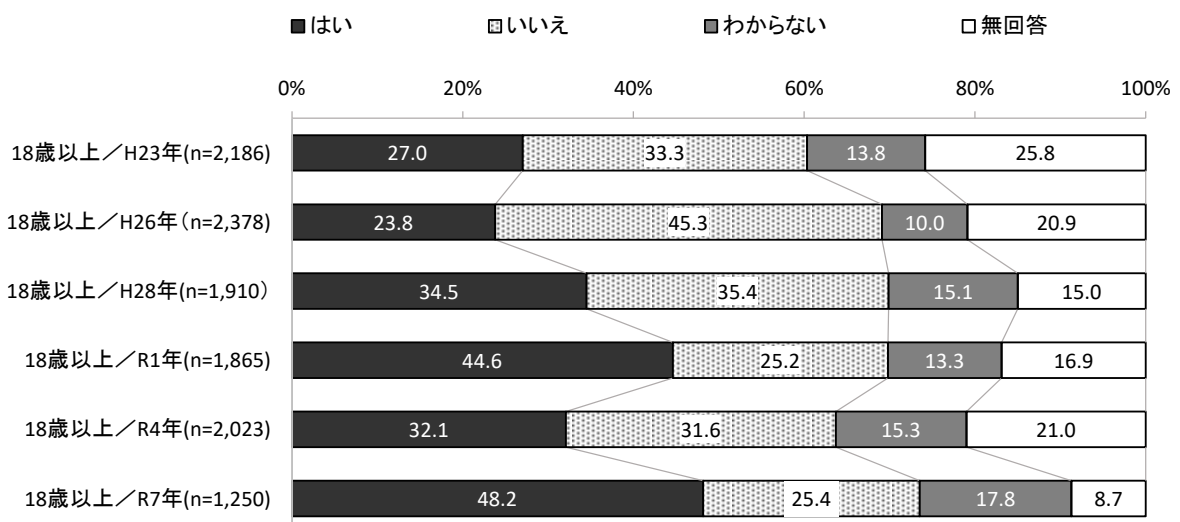
問 40 今後又は引き続き、働きたいと思えますか。(ひとつだけ)

今後又は引き続き就労を希望する人は、身体障害者手帳所有者は 40.5%、療育手帳所有者は 51.5%、精神障害者保健福祉手帳所有者は 55.6%、指定難病者は 41.6%となっている。



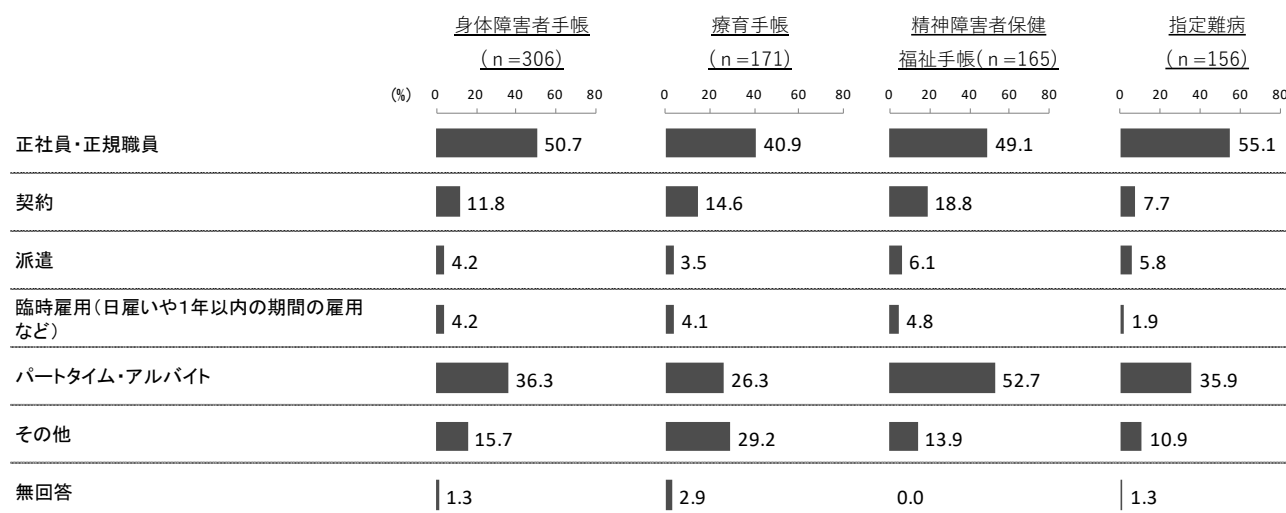
<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、就労を希望する人の割合は前回調査で減少したものの、今回の調査で 48.2%と過去最高となり、増加傾向は続いているとみられる。



問 41 問 40 で「はい」の場合、今後、どのような雇用形態で働きたいですか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者では、「正社員・正規職員」が最も高く、4～5割を占めている。精神障害者保健福祉手帳所有者では、「パートタイム・アルバイト」がわずかに「正社員・正規職員」を上回っている。

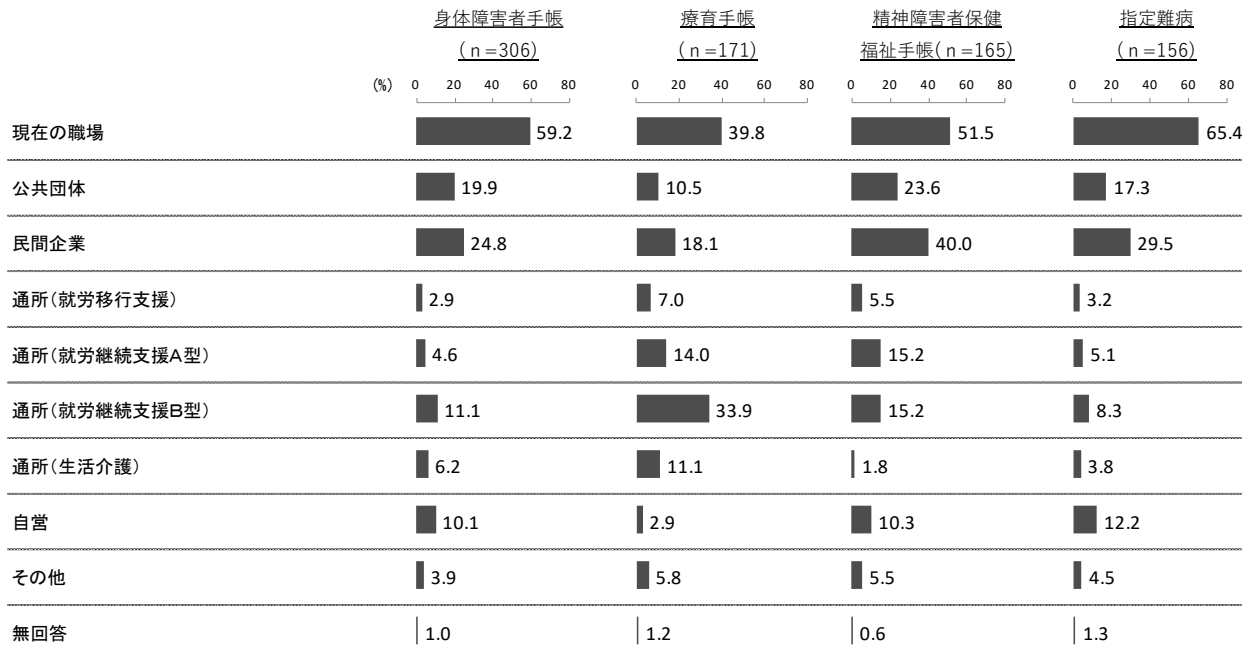


(その他)

自営(15件)/現状のまま(13件)/就労継続支援B型(4件)/わからない(3件)/会社役員(3件)/就労継続支援A型・B型(2件)/A型作業所利用者/シルバー人材センター会員/どんな形態でも、社会に出て働いて欲しいと思う。/どんな形態でもいいと思っているが給与が出なかつたり過度な時間外労働があったりするの困ります/ほんのお手伝い程度/可能な形態で。/継続可能な有期社員/個人事業主/在宅ワーク(ボランティア、市民活動など)/作業所みたいな場所/事業です/自分の健康状態に合った働き方/社会保険に入れるところ。/障害者雇用や福祉的就労/障害者雇用を目指しています。/生活介護での無理のない働き方/生活介護事業所/専従者/体調が悪化した際には体調面を考慮しながら働き方を変えたい/働かないと生活できないとはわかるが、自分に何ができるのか?全く想像できない/福祉施設/福祉的就労

問 42 問 40 で「はい」の場合、今後、どのようなところで働きたいですか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「現在の職場」が最も高く、4～6割以上を占めている。療育手帳所有者は、「通所（就労継続支援B型）」33.9%も高く、精神障害者保健福祉手帳所有者は、「民間企業」40.0%も高くなっている。



(その他)

わからない(4 件)/いずれは一般就労に就きたい。けど思うように働けない。/希望がかなえば、形態にはこだわらない/病院/自分の障がいを理解した上で、自分の得意なことを生かしてくれるような場所/働けるならどこでもいい/飲食/パソコンの仕事/今は未成年なのでまだわからない。しかし、寝たきりの重度の障害ではない。小学校では地域の学校に通っている。今後の地域からの分断が怖い。まわり/障害者しかいない世界はある意味異常だと思う。でも、これからそういう世界に放り込まれてしまう。/モノ作りの工場/年齢を考えると一般就労は難しいから現状維持になる/将来性のある同業他社/自分に何ができるのか迷走中なので、働き先はまだ決めていません。/今のB型とA型にも両方で働きたい/農業/働ける所で。/正社員で雇われる場所であればいい/土木/どんな形態であっても働いてほしい。

(3) 働くために必要な環境整備

問 43 今後、働くことを考えたときに、どのような環境(配慮)が整っていることが大切だと思いますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「働く時間や日数を調整できること」が5～7割と最も高く、「通院日の確保に配慮がある」「障がいの程度に合った仕事であること」「雇う側や同僚が障害を理解してくれること」が上位に挙がっている。療育手帳所有者では、「障がいの程度にあった仕事であること」59.0%、「雇う側や同僚が障がいを理解してくれること」55.1%の順となっている。

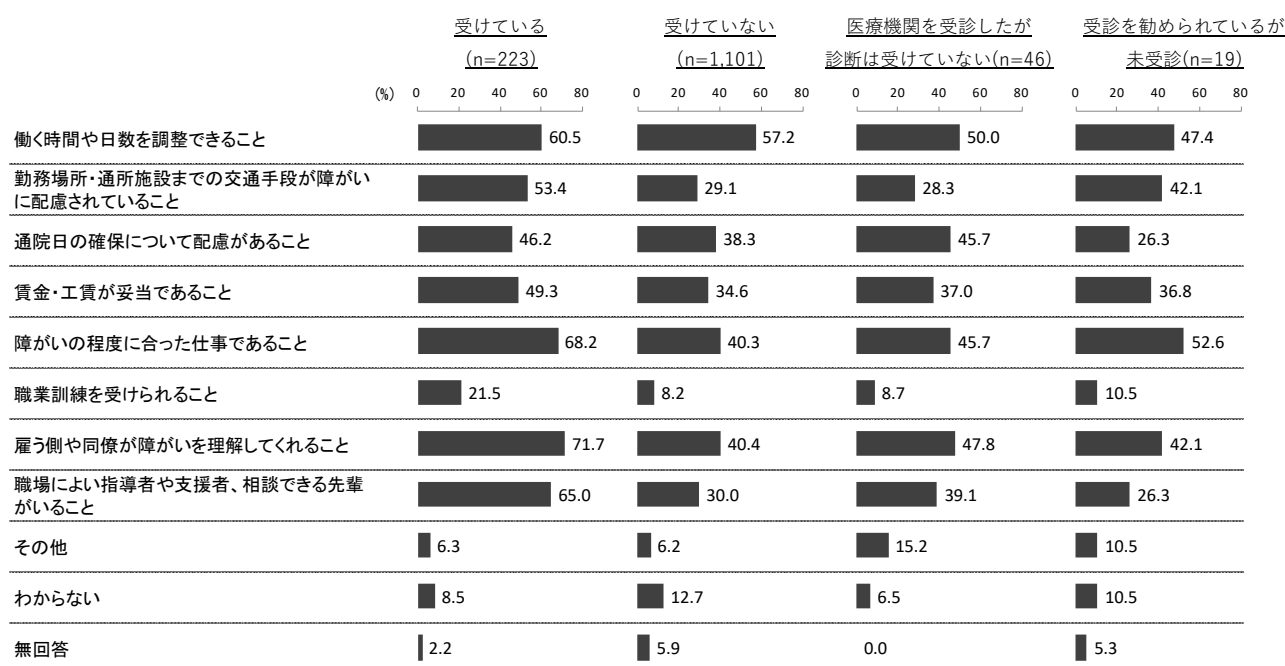
発達障がいの診断を受けている人では、「雇う側や同僚が障がいを理解してくれること」が71.7%で最も高く、次いで「障がいの程度に合った仕事であること」68.2%となっている。

	身体障害者手帳 (n=755)	療育手帳 (n=297)	精神障害者保健 福祉手帳(n=165)	指定難病 (n=375)
働く時間や日数を調整できること	51.9	47.9	70.0	60.5
勤務場所・通所施設までの交通手段が障がいに配慮されていること	31.7	47.0	34.7	27.5
通院日の確保について配慮があること	36.6	31.9	52.2	44.8
賃金・工賃が妥当であること	30.7	39.5	49.8	32.0
障がいの程度に合った仕事であること	41.5	59.0	59.9	34.4
職業訓練を受けられること	9.4	16.0	12.8	7.5
雇う側や同僚が障がいを理解してくれること	39.6	55.1	61.6	38.9
職場により指導者や支援者、相談できる先輩がいること	27.8	50.3	50.5	29.1
その他	7.5	5.4	6.1	9.9
わからない	13.8	15.1	6.7	10.7
無回答	7.8	4.5	1.7	4.5

(その他)

働くことができない(14件)/高齢なので働かない・働けない(13件)/働こうと思っていない(4件)/考えたことがない(2件)/寝たきりのため働けない(2件)/①～⑧は、すべて整っていれば働く意欲は増す/お金を持っていること/シフトが組みやすいこと/ストレスの少ない環境であること(静かであること)/その人として尊重されること。/そもそも外出が大変なので、リモートの仕事等があると助かります/バリアフリーであること。/マイペースなスペースがある/まだ全然さきの話ですが、障がい者を雇用し、事業者が金儲けしてる話をよく聞きます。/やりがいがあること、仲間がいること、趣味を共にできる環境にあること/健康を維持して障害の進行が 進まない限り頑張りたい。/元々低賃金の職場なのは分かっていたが、(以下記述なし)/元々農業やってましたが野菜作りは素人、主人と自分の口に入るだけはと動画見ながら作ってます。ご近所友達にもお裾分け。周りから見渡すと農地は家位かな。/現在勤務している企業は障害者雇用と一般雇用の差が感じられません。差別と区別を理解していないと感じます。/現実的に差別や労働搾取が蔓延っており働けないのが世の中/今後、働くことを考えにくい/最初社員の手取り年収400万、バイトの手取り年収120万、パートの手取り年収240万 休憩時間が1時間から2時間の職場 土日と祝日休んで夏休みと年末休暇がある職場 好きな事、得意な事、大事にしている事ができる職場 残業は30分間～1時間半の職場/在宅勤務が可能であること/四肢麻痺で自発呼吸がないから働けない このような質問は苦痛でしかない/自営なので 補助が欲しいです/自営業/自宅で働ける事、在宅勤務、AI、オンライン/自分の得意・得意に合う配慮を頂ける事。/自分の得意なことを生かせること/重度の心身障害のため就労はできない/諸々/障害を理由に嫌がらせを受けないこと/障害者枠の採用人数が増えること/身体障害がある為、座って家で出来る、簡単な内職等が無ければ外で働くことは不可能。/賃金が安すぎるのでもっと生活できるようにしてほしい。障害の人に合う仕事をもっとたくさん作ってほしい。/通院やリハビリに理解があると嬉しい/潰れない企業にしていきたいこと/定期的に面談し必要に応じた支援又は配慮を促してくれるところ。/排泄の介助等があれば働く事ができる/病気で働くことができない/病気への理解/偏見がないことや差別など/補助人を派遣してくれる人員サポート制度やそれぞれの自宅近くの小さな商店などでの雇用に対してその雇用費をサポートしてくれる制度また、その交渉代行機関整備など。それにより、職場開拓、地域に密着した共生ができるのでは。

<発達障がいの診断有無別>



<今後の就労意向の有無別>

就労意向がある人では、「働く時間や日数を調整できること」71.9%が最も高く、次いで「雇う側や同僚が障がいを理解してくれること」54.0%、「障がいの程度にあった仕事であること」52.6%の順となっている。

単位 %、( )内 実数

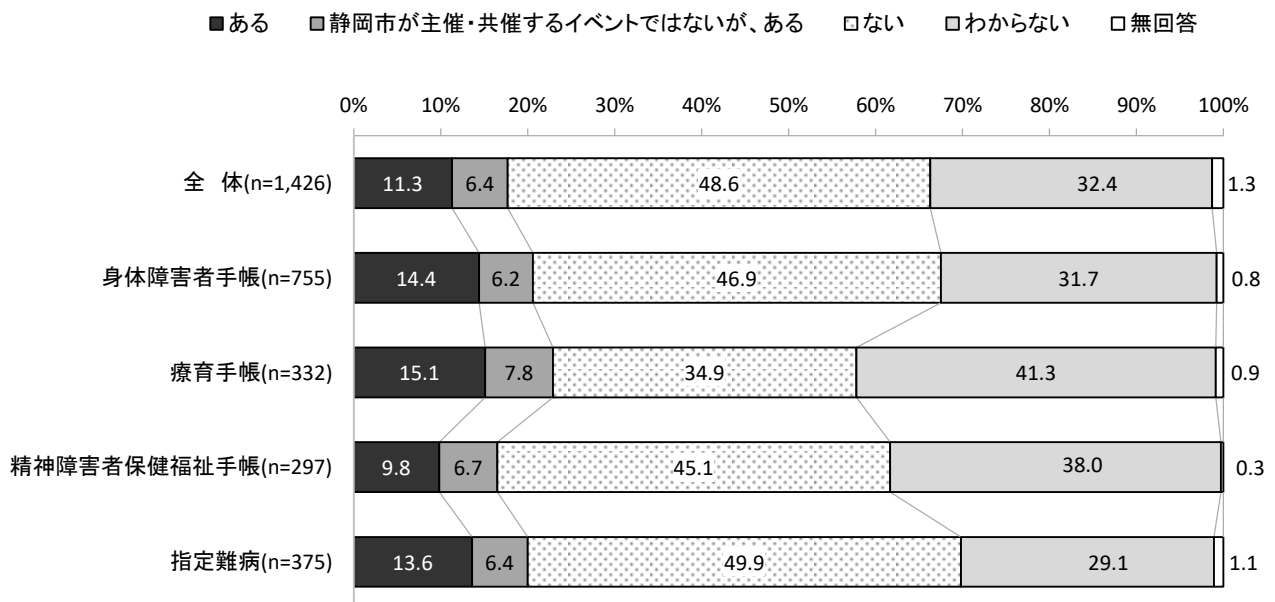
	働く時間や日数を調整できること	勤務場所・通所施設までの交通手段が障がいに配慮されていること	通院日の確保について配慮があること	賃金・工賃が妥当であること	障がいの程度に合った仕事であること	職業訓練を受けられること	雇う側や同僚が障がいを理解してくれること	職場により指導者や支援者、相談できる先輩がいること	その他	わからない	無回答
全体 (1426)	56.7	32.5	39.1	36.3	44.3	10.2	44.9	35.1	6.6	11.9	6.1
就労意向あり (661)	71.9	37.8	47.8	46.3	52.6	11.2	54.0	43.9	3.3	2.6	0.3
就労以降なし (346)	37.6	21.7	23.7	16.5	27.7	6.4	29.2	22.5	15.0	28.0	5.2
わからない (294)	58.5	40.5	46.6	45.9	54.8	15.0	53.1	39.1	3.7	14.3	1.7

## 6. 余暇活動などについて

### (1) イベント等への参加状況

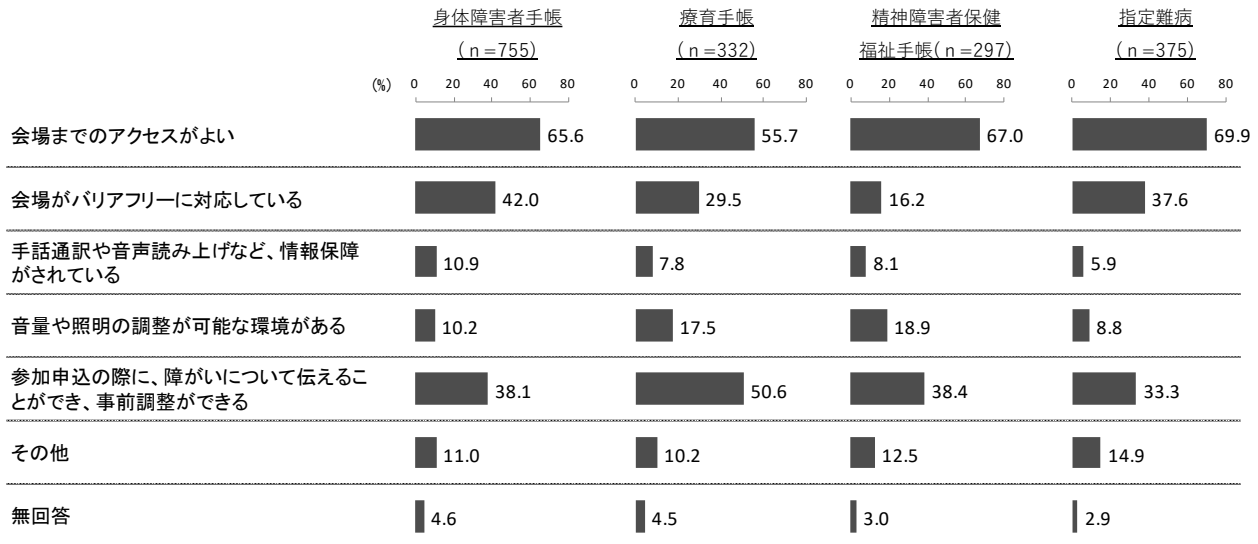
問 44 あなたは、障がいを理由として、静岡市が主催・共催するイベント等への参加をあきらめたことがありますか。(ひとつだけ)

主催・共催が静岡市でないものを含め、イベント等への参加をあきらめたことが“ある”と回答した人は、身体障害者手帳所有者は20.6%、療育手帳所有者は22.9%、精神障害者保健福祉手帳所有者は16.5%、指定難病者は20.0%となっている。



問 45 どのような環境が整っていると、市内でのイベント等への参加をしやすと思いますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「会場までのアクセスがよい」が5割以上と最も高くなっている。身体障害者手帳所有者、指定難病者は、次いで「会場がバリアフリーになっている」が高くなっている。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者は、次いで「参加申込の際に事前調整ができる」が高くなっている。



(その他)

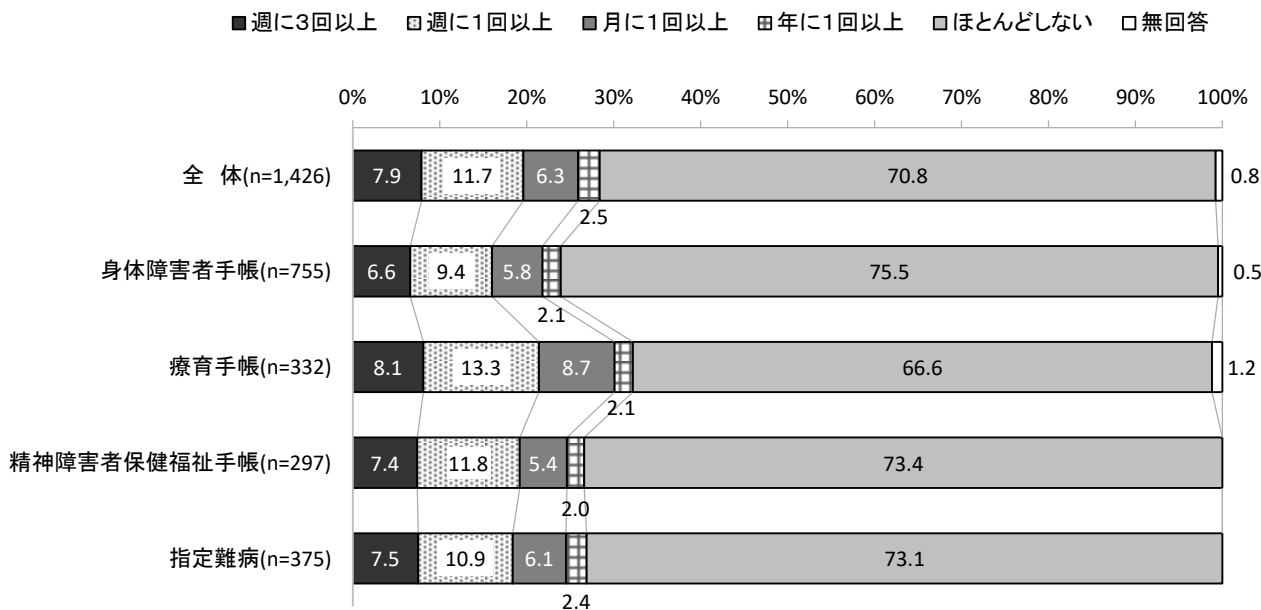
- ・ イベントの告知をわかりやすくして欲しい(5件)
- ・ イベントに興味がない(4件)
- ・ トイレが使いやすい(4件)
- ・ 参加したいと思わない(3件)
- ・ 駐車場(3件)
- ・ 駐車場から会場内までの距離の問題(2件)
- ・ イベントがあるかどうか、理解できないし知ることができない。何故なら文字を、読んだり話を聞いて情報を得ることが難しいから。
- ・ イベントの回数が多い
- ・ イベントはあまり行かない
- ・ イベント等には参加したくない
- ・ お金が取れない事には 時間を避けられない。
- ・ カームダウンスペースがいくつもある
- ・ コンサートなどで、声を出しても構わないとされる
- ・ スタッフの愛想がよく優しく接する
- ・ そのイベントに意義があるか信頼できれば
- ・ その人によって、どんな環境が合っているかは違うので一概には言えないが、チラシなどに一言、入退室自由、騒いで大丈夫、など書いてあると行きやすい。
- ・ そもそも無理
- ・ ヘルパーさんに連れて行っていただければ参加できる。
- ・ メリットがない以外
- ・ もっと広く告知してもらいたい
- ・ 雨に濡れない駐車場があること
- ・ 雨天でも支障がない会場やその周辺施設
- ・ 屋内で休める場所が確保されている
- ・ 家から出ない
- ・ 介助してくれる方の負担が大きくなければ
- ・ 会場へのアクセスは勿論、公共交通機関がバリアフリー化されなければ、家から出ることさえ困難です。
- ・ 会場側の人になりたい
- ・ 外出が困難のため
- ・ 感染症対策がとれていること
- ・ 興味のあるイベントで、座って参加できる事。
- ・ 公共トイレの整備
- ・ 公共の移動手段がある
- ・ 広報の回覧チラシ等での告知が分かりやすい事。
- ・ 考えた事が無い。
- ・ 高齢だから出かけるのが無理
- ・ 座る椅子が 42~3センチで立ち上がることができません 自分の歩行器大きめのを持ち込み可能ならば座って立ます トイレも車椅子様入っても 低すぎてヘルプ 出掛けてもほぼ使用せず 5~6時間我慢して帰宅 その為水分補給もほぼしません 体には良く無いとわかってても。
- ・ 座席があれば入口近くの端の席にしてくれるなど。
- ・ 参加したいイベントが無い
- ・ 参加したことがない
- ・ 参加しない
- ・ 参加出来ない為、思った事が無い。
- ・ 参加費用が安い
- ・ 高齢
- ・ 自営業の父の都合の良い月曜の午後
- ・ 自力で何でもやる
- ・ 実年齢のくくりが多いから。成長年齢がやっとその年になったころには実年齢が対応していない。例) 子供水泳教室、体操教室
- ・ 車で行ける所、人工呼吸器の電源がある所、ストレッチャーで移動しているので車椅子より場所をとるので配慮してくれる所
- ・ 車椅子の貸出がある。また貸出がチラシなどで明文化されている。
- ・ 収入以外には問題ないので特に参加なし
- ・ 出かけるは無理です
- ・ 出歩くのは大変なので行くつもりはない
- ・ 障がいを理解されガイドしてくれるスタッフがいる
- ・ 障害者トイレが圧倒的に少ない 改善や発展がいつまで経ってもなされない 何時も建前論だけで障害者福祉には公金が十分に投入されない
- ・ 障害者トイレの設置があるところ
- ・ 障害者に合った仕組み
- ・ 寝たきりのため参加できない
- ・ 人が大勢集まる場所は避けているので

- ・ 人と会うのが辛い
- ・ 人混みが少ないと良い
- ・ 人混みは苦手なので興味があっても難しい
- ・ 赤ちゃん以外のオムツを交換出来るトイレ、場所が欲しい
- ・ 多くの人が集まるのは苦手
- ・ 体力がない
- ・ 体力気力ない
- ・ 待ち時間の短縮または事前予約等
- ・ 駐車場がたくさんあるとこでないと、電車も大暴れになるので困る。
- ・ 座席からトイレが近い。
- ・ 長時間参加しなくても出入りが自由なものなら参加できると思います。
- ・ 動けないため無理
- ・ 特に期待していない
- ・ 特に参加したいと思わない
- ・ 難聴でも目視できる(途中で障がいなので手話等できません)の工夫があれば助かります
- ・ 日に当たらないので野外だと日が当たらない場所
- ・ 日程があわない
- ・ 服薬のための給水所がある
- ・ 無理に参加したいとは思いません。
- ・ 明るいうちに帰宅できる開催時間。
- ・ 面倒なのであまり参加したくない。
- ・ 立っている事が難しいため、混み合っていて、座れる場所がないと困る
- ・ 両親と共に行ける所ならどこでも OK です
- ・ 冷暖房が完備してること
- ・ 連れて行くのが大変すぎるので、両親揃っているタイミングでないといけないため

(2) スポーツの参加状況

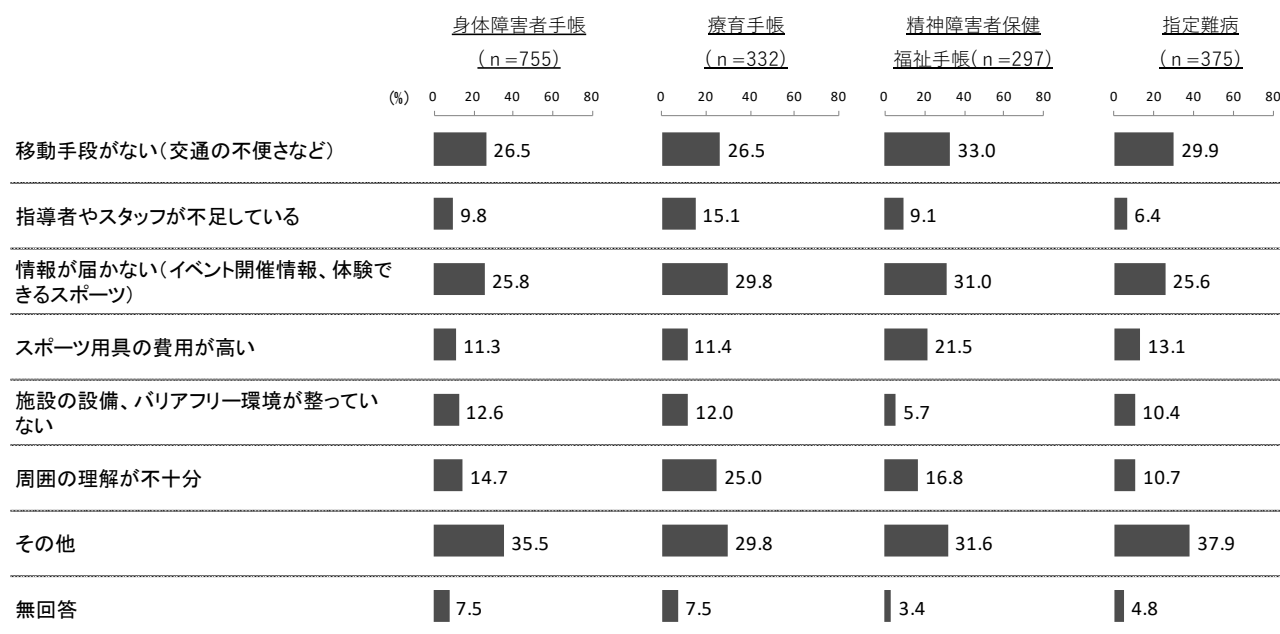
問 46 あなたはスポーツをどのくらい行っていますか。(ひとつだけ)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「ほとんどしない」6～7割以上と最も高くなっている。身体障害者手帳所有者は、「週に3回以上」「週に1回以上」が療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者と比べて低くなっている。



**問 47 あなたがスポーツに参加しにくいと感じるときは、どのようなときですか。(いくつでも)**

「その他」を除き、身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「移動手段がない」が最も高く、次いで「情報が届かない」となっている。療育手帳所有者では、「情報が届かない」が最も高く、次いで「移動手段がない」となっているほか、「周囲の理解が不十分」も高くなっている。



(その他)

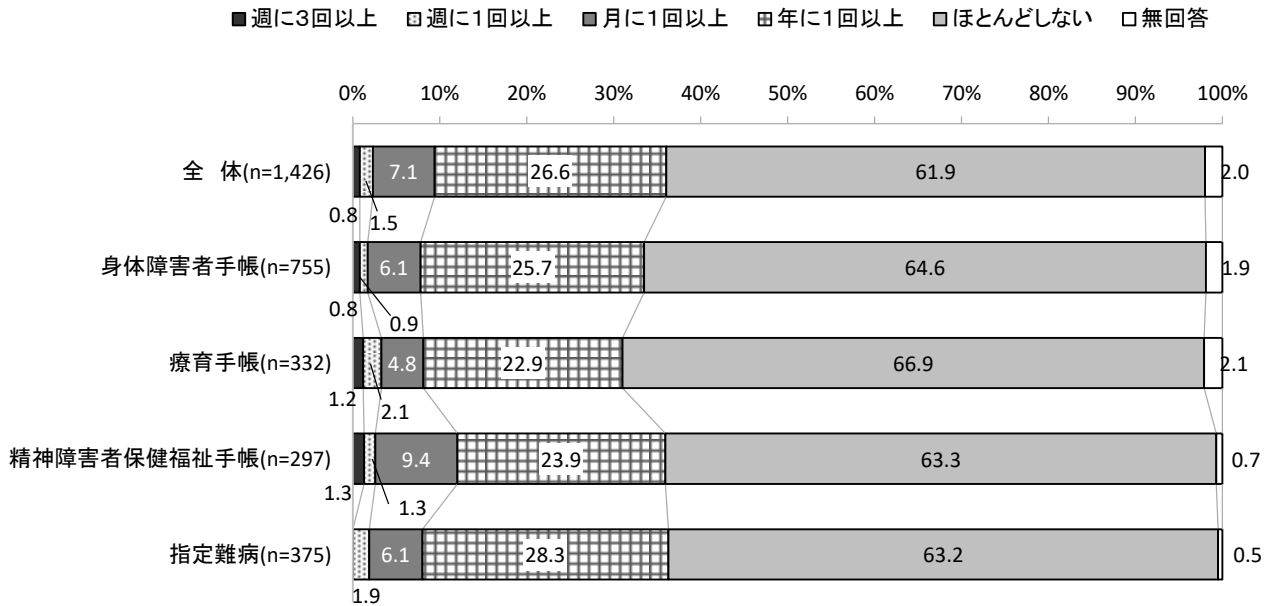
身体的理由・病気・特性などでそもそもスポーツができない(129件)/スポーツに興味が無い・苦手・好きではない(73件)/高齢のため(20件)/時間がない・都合がつかない・仕事などで余裕がない(19件)/他者とのかわり上難しい(17件)/場所・機会がない(7件)/APD(聴覚情報処理障害)のような性質から、聞き取り=指示受けを的確に行えるか不安/ウォーキングをしています。スポーツも無理に参加したいとは思いません/お金がかかるのと、時間がない/スポーツと言ってもマイペースの低山歩きなので、特に感じない。/スポーツ以外/どんなスポーツをしようか悩む/めんどう/家に居る事が好きで、週に1回本を買いに出掛けるくらい/楽しくできるかわからない/筋力が衰えているので、ハードルが高く感じる。/軽く歩くことは毎日しているがスポーツになるのかな/犬の散歩で歩いているから/高齢と障害でスポーツには参加出来ません/参加したいものはありますが周囲の理解ではなく聴こえないので諦めています/参加できるスポーツに限られているため。/市の運営するプールに連れて行こうと思ったが、オムツが外れていないと難しいと断られたため諦めた。/私の障害の条件に合うまたは参加できるスポーツがない/私生活が運動。必要ない/時間、年齢層や都合の合うチームがない/主人の介護をしているので無理/受入可能な障害条件が分からない/身体の調子が良/体力がない。あと一日に8000歩は歩くため。/体力気力ない/単に怠けているだけ/低参加料近所/天気/気候/日頃活動量が多いため、運動しなくてもよい/日々の生活で精一杯なので/病院入院中/不登校になると、行く所がない/普段の仕事で身体を動かしている/歩ける事を心にかけている/母がスポーツ等に参加させる余裕がない/毎日のウォーキングで満足(8,000歩位)/面倒なので。/連れて行ってくれる支援者がいない。

(3) 文化・芸術活動の参加状況

問 48 あなたは、文化芸術活動をどのくらい行っていますか。(各項目でひとつだけ)

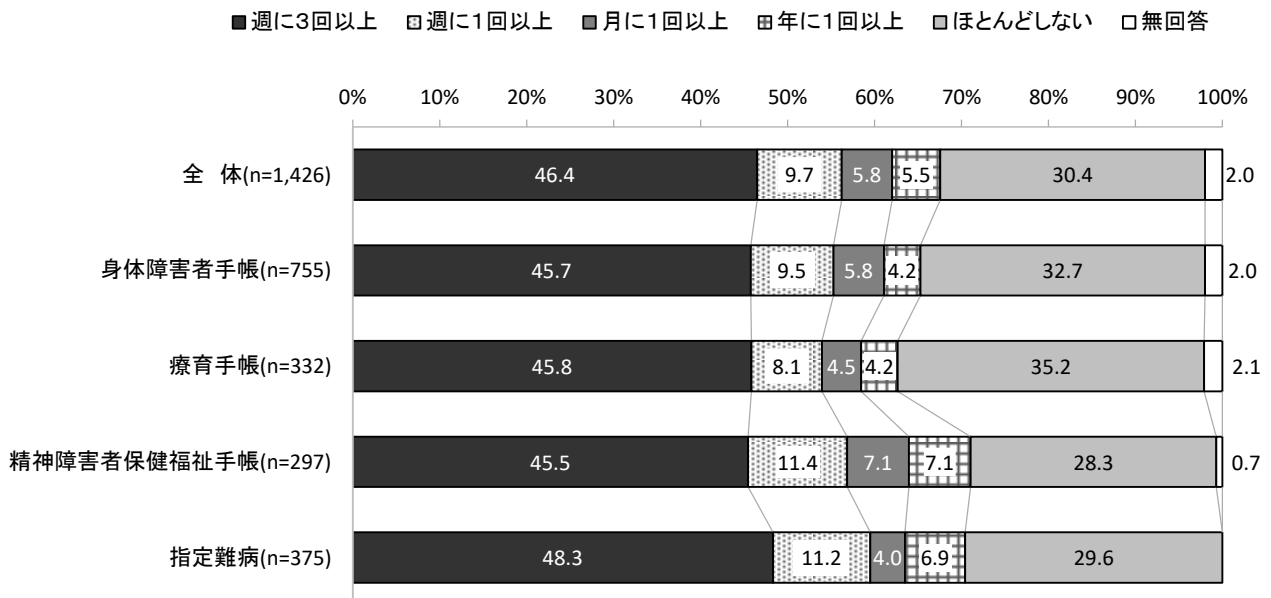
【外出を伴う鑑賞（コンサート、美術展など）】

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「ほとんどしない」が6割以上と最も高くなっている。



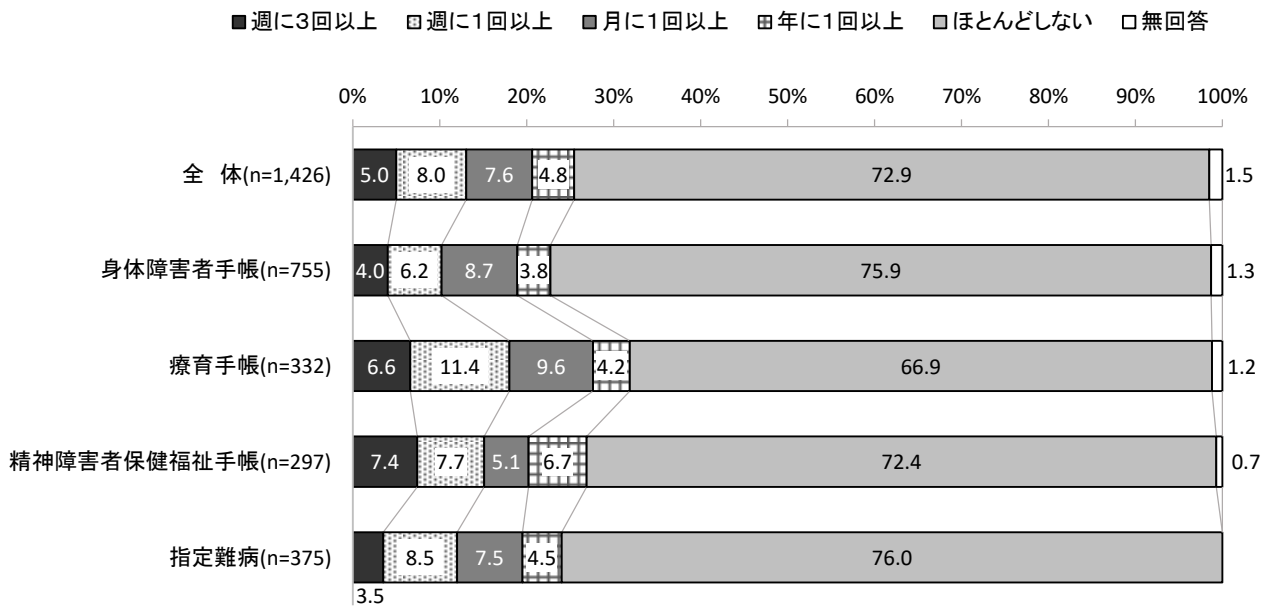
【メディアを通じた鑑賞（テレビ、書籍など）】

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「週に3回以上」が4割以上と最も高くなっている。一方、「ほとんどしない」がおよそ3割となっており、二極化がみられる。



【実践（創作や習い事など）】

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「ほとんどしない」が6～7割以上と最も高くなっている。療育手帳所有者は、月に1回以上がおおよそ3割となっている。

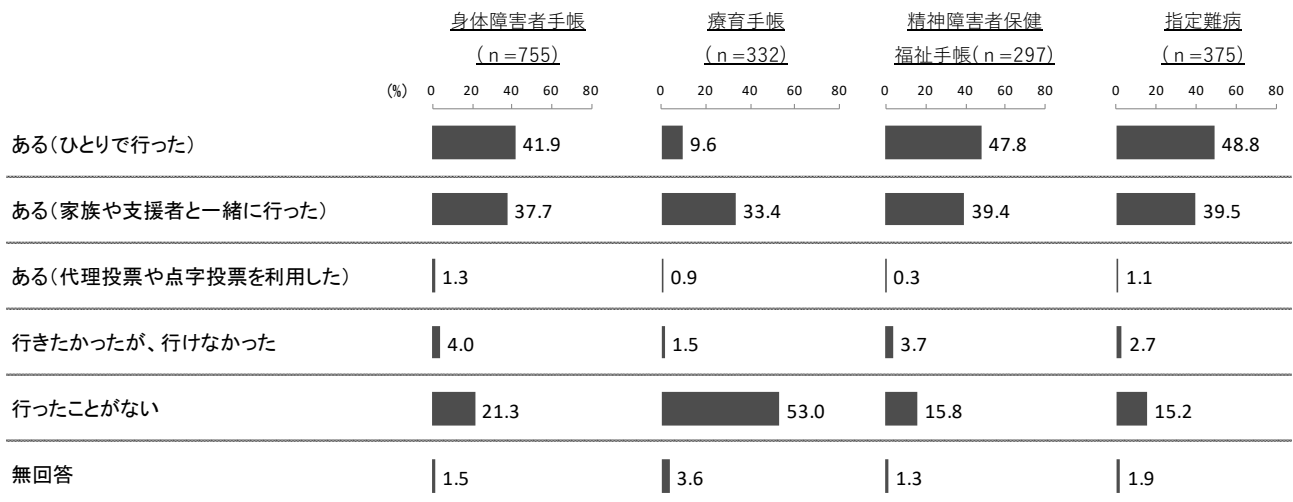


## 7. 選挙・行政 DX について

### (1) 選挙の投票について

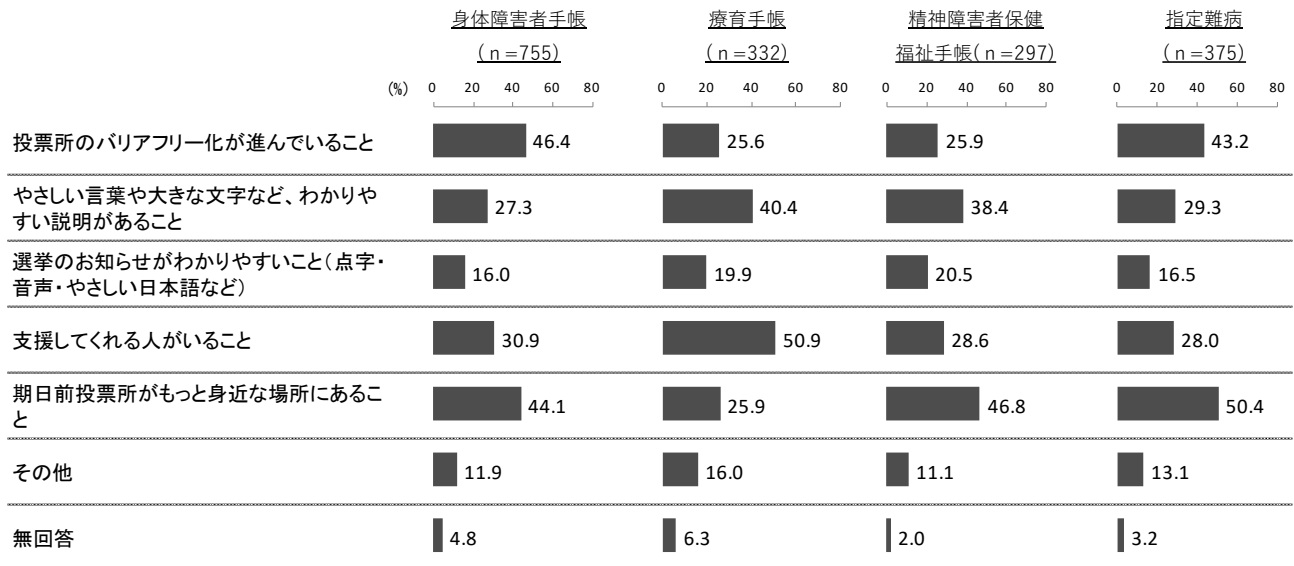
問 49 あなたは、これまでに選挙の投票に行ったことがありますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「ひとりで行った」が4割台と最も高く、次いで「家族や支援者と一緒に行った」が3割台となっている。「行ったことがない」は身体障害者手帳所有者では21.3%、療育手帳所有者では53.0%、精神障害者保健福祉手帳所有者では15.8%、指定難病者では15.2%となっている。



問 50 あなたは、選挙の投票をしやすいするためには、どのような配慮や支援があるといいと思いますか。(いくつでも)

身体障害者手帳所有者では、「投票所のバリアフリー化」、療育手帳所有者では、「支援してくれる人がいること」、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「期日前投票日が身近な場所にある」がそれぞれ最も高くなっている。



(その他)

- ・ インターネット投票の導入(20 件)
- ・ 行かない(7 件)
- ・ 知的障害で判断能力がない(4 件)
- ・ 選挙の意味を理解できていないから無理です(3 件)
- ・ 本人が理解できてないので投票は難しい(3 件)
- ・ 施設で投票できたら良いと思う(2 件)
- ・ ○×で書ける
- ・ いたい人がいない
- ・ したくない
- ・ そもそも行く気が無い。
- ・ どの投票者がいいか相談に乗って乗ってくれる人がいること
- ・ マイナンバーを用いた電子投票システムが欲しいです。
- ・ わかりやすい政策
- ・ 意思表示が出来ないので投票は出来ない
- ・ 家から出るのが大変
- ・ 完全に寝たきりになる前は、休日に葵区役所で期日前投票していた。車を降りてすぐ投票できるのでとても便利だった。自宅で寝たきりの場合は、在宅投票以外に方法が無いと思う。
- ・ 期日前投票の際の理由確認用紙の字が小さい
- ・ 期日前投票所は混んでいることが多いので周りの方に迷惑になるかと思っ行ってきづらい。
- ・ 居住地区にひとつは欲しい(生涯学習交流館など)
- ・ 健常者の時に投票した
- ・ 候補者の主張が簡潔にまとめられたものが掲示されていること
- ・ 候補者の情報がほしい
- ・ 考えた事が無い。
- ・ 今の政治に興味がないため投票に行きたいとは思わない
- ・ 今も十分良いと思う
- ・ 在宅で投票できること
- ・ 私の地域での投票所には車椅子では行けず、期日前投票に行くまでの公共交通機関が整っていないので、自家用車が無くなったら、投票にはいけなくなります。
- ・ 自宅か、郵送
- ・ 自動車で行けること
- ・ 写真での意思決定、字が書けないため
- ・ 車で行くが駐車場から投票会場まで歩くのも遠い。ドライブスルーまでとはいかなくても駐車してすぐに投票出来る会場であると行きやすいと思います。
- ・ 車椅子投票が普通にできる
- ・ 手話通訳者が、いること
- ・ 周囲に目立たずに代筆してもらえること
- ・ 循環バスなど 短距離で周ってください
- ・ 書くとき、重しがひつよう
- ・ 障がい者とわかると代理人がすぐ来てくれるが書く人の練習をして行くので書けない時だけ代理人をお願いします
- ・ 障害があるないの問題ではなく ネット投票ができるようにしてほしい
- ・ 障害の程度が重く、できない。
- ・ 整っていると思う
- ・ 選挙に興味を持つような何か
- ・ 選挙への関心を上げる対策が必要
- ・ 粗品を配る。地域での候補者の情報がわからないため改善してほしい
- ・ 他県での意見です。期日前投票はスーパーで快適でした。
- ・ 代わりに親等に頼みたい
- ・ 代理投票
- ・ 誰に投票するか考えるための分かりやすい情報が欲しい
- ・ 駐車場がある事
- ・ 町単位(曜日を決め)
- ・ 投票できない
- ・ 投票者が投票する間安全を確保して気を引くようなものを用意したり、見てくれる人がいるととても助かる
- ・ 投票所が遠い為、スマホ、パソコンで、投票したい。
- ・ 投票所に行かなくても選挙できる環境
- ・ 投票所に入室した後でも家族による介助が認められること
- ・ 投票所までの移動手段があること。
- ・ 投票場所に写真掲載があれば、字が読めないので
- ・ 投票台の候補者名に写真がついていること。選挙事務職員に障がい者への対応方法を徹底してほしい
- ・ 難しい説明ではなく子供でもわかるように簡単に説明したホームページを作って欲しい。投票を何枚書くのか、具体的にどのページの中の人から

選んで書けば良いのか載せて欲しい。わかりやすいマニフェストも一緒に載せて欲しい。難しい説明すぎて理解できない人が多いと思う。

- ・ 病院入院中、退院する事は無い
- ・ 物品、商品券など
- ・ 文字を書くのが大変なので書かなくていい
- ・ 文字を読むことは可能だが書けるようになるか不安があるので選択式にできればよいと思う
- ・ 歩行器になってからは床にガムテープで止めて山あり坂ありで 不安いっぱい 健常者と同じ狭い順路をジグザグ移動 座っても立ち上がる事が

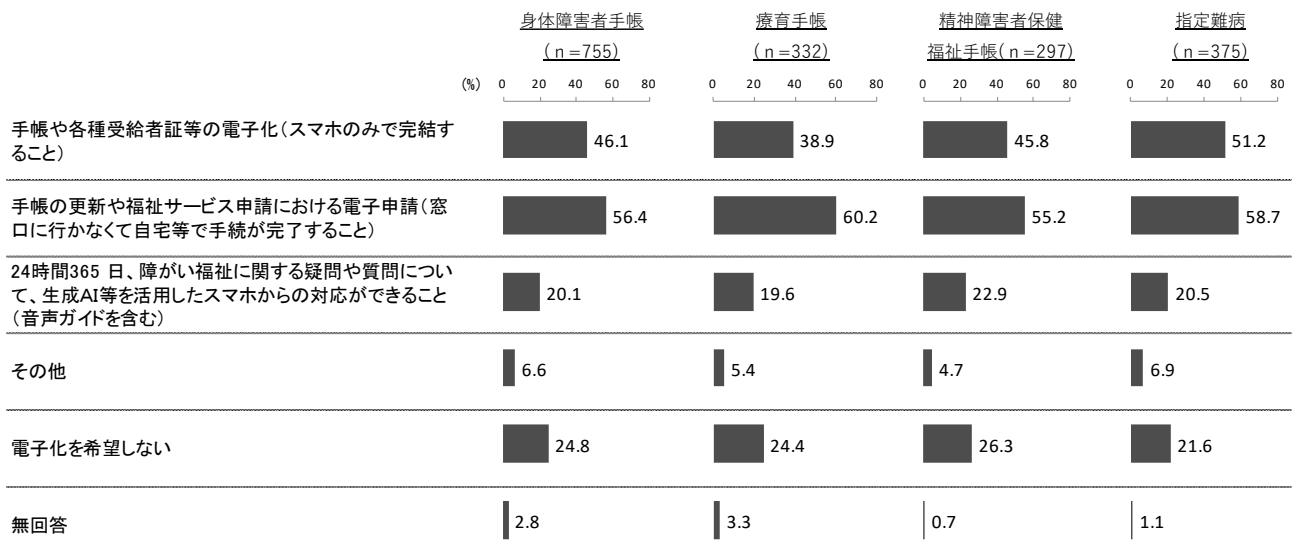
できないので いちいち言っ歩くのに疲れます でも最初の頃よりは少し改善出来ているかな 靴脱いだり スリッパ履けず 凸凹ビニール敷物の上を歩かされたり 上がり框ありで地域 止め期日前投票 選挙棄権した事ありません

- ・ 本人はやさしい言葉や大きな文字でも意味が理解できない。
- ・ 郵送でも投票できるといいです
- ・ 用紙の固定化をする物が必要
- ・ 立候補者についての分かりやすい説明

(2) 行政 DX について

問 51 現在、静岡市をはじめ、国や地方自治体では、マイナンバーカードを活用した行政DXを推進しています。この中で、障がい者を対象とした様々な施策において、どのような点で電子化が進むと利便性が向上すると思いますか。(いくつかでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「手帳の更新や福祉サービス申請」が最も高く、次いで「手帳や各種受給者証等の電子化」となっている。また、身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「電子化を希望しない」は2割台となっている。



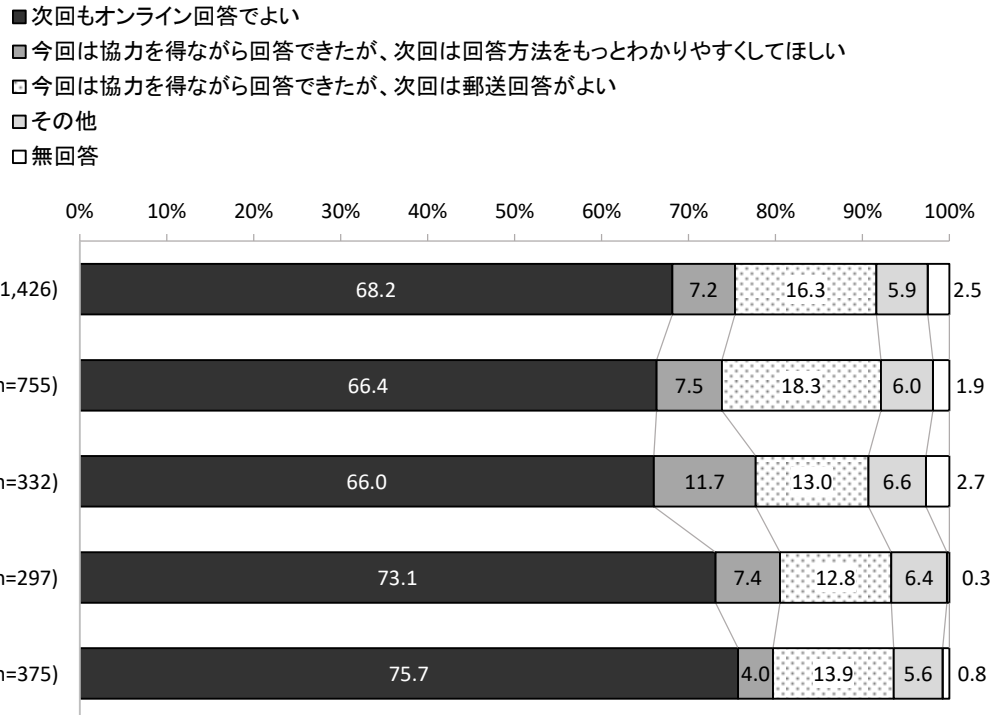
(その他)

- ・ わからない(8件)
- ・ スマホなどで例えば劇場チケットや交通チケットの予約などがワンストップで行えるようになること。医療やさまざまな行政サービスなども含む。バラバラだと管理が煩雑でコストが増大する為。縦割り行政ではなく、障害福祉サービスをむしろ突破口としてせつかく静岡プレミアムなどもあるのだから部署をこえた横の繋がりで、全員一丸ワンチームになってDXを推進していただきたい。それがひいては都市としての静岡そのもののプレゼンスをも高め人口問題などの改善にも寄与するはず
- ・ マイナンバーカードで個人情報把握出来るはずなのに何でも役所の申請主義に不自由な障害者が振り回されている 申請が無くとも自動更新出来るはず
- ・ マイページから個々の状況を一括して保護者、本人が確認。医療費清算の内訳、明細。こちらの収入などは全部だすのに、官公庁は明細を出す義務がないというはおかしい
- ・ 障害者保険証もマイナンバーに入るようにしてほしい
- ・ 申請における記入内容の簡略化。マイナに紐づいたデータを何度も書かせない。
- ・ 先日、市内で引越し住民票を変更したが、手帳と受給者証はまた別の住所変更手続きが必要だった。住民票を変えたら、自動的に全ての住所変更が出来るよう一元化してほしい
- ・ マイナンバーに難病や身体障害のデータが入るように
- ・ マイナ保険証と、障害者手帳・自立支援医療制度との連携
- ・ 後期高齢者保険資格、障害者保険資格をマイナ保険証と紐づけし、病院での保険資格書の提出をマイナンバーカードだけで済むようにすること。
- ・ 全てマイナンバーで解決できるようにしてほしい
- ・ スマホを持ってなくても手続きできる方法が必要
- ・ その人に応じて、色々やり方が選べるといい。一つひとつの手続きが簡単になるといい。
- ・ 簡略化は、望ましいがスマホのみでなく他の方法との併用が望ましい。高齢者には特に
- ・ 窓口で、内容を直接聞かないと理解できないことが多かったので、スマホのみの完結はむしろ困る。各種割引等での手帳提示は便利だと思うので、マイroidは登録済み。現行のままでも良いと思います。
- ・ 電子化も選択肢としてあると助かるが、窓口で質問や相談をしたい事もあり、窓口での対応もできるようにしていただけると助かる
- ・ すべて電子化は希望しない
- ・ 電子化したものは必ず従来の手続きも選択肢として残すこと
- ・ 電子化に対応できない人のために今まで通りの対応もしてほしい
- ・ 両方やってほしい
- ・ 処方に際して管理カードが必要な特定の医薬品について、マイナで代替したい
- ・ 制度をこちらが調べる余裕がないしあることもわからないので、手帳のレベルや病状がマイナンバーと紐づいていれば「この制度が使える」と通知してもらえると良い。無理ならとにかく窓口に行かなくて済むようにウェブ面談などを導入してほしい。
- ・ 特定医療(難病指定)の更新手続きの見直し、簡略化(更新頻度)
- ・ 介助してくれる方に負担がかからない電子化
- ・ 簡素化。わかりやすく。
- ・ 手続きの簡素化
- ・ 手続きを行えば、本人でなくても家族などがコンビニや家など身近な所で各種手続きが出来るとよいと思う。
- ・ DX化にあたり個人情報などの重要な情報の厳重な保護は必要
- ・ 情報漏洩のないセキュリティ対策
- ・ 情報漏洩リスクなく安心してマイナンバーカードが使えるようになること。

- ・ 電子化は希望するが、個人情報の取り扱い方が適切で有ることが大前提。
- ・ マイナンバーカードを持っていないのでわからない
- ・ マイナカードを持ってなくてもDXが利用可だとよいと思う
- ・ マイナンバーカードにするのは構わないが読み取り機が手の届かない場所にあることが多い。まずは障がい者がマイナンバーカードを利用しやすい環境作りからだと思う。
- ・ 現在、手帳の更新の際に写真の差し替えは必要ないと言われたが、子供はどんどん雰囲気が変わるので、運転免許証のように写真の更新も必要だと思う
- ・ 現状ですが親が市役所へ行き全て手続きを行っています
- ・ 更新期間を長くしてほしい
- ・ 更新時に役所の人調査に来る事が苦痛 いつも同じ事を聞かれて症状も変わらず説明する事も苦痛
- ・ 障害に関する情報を提供するかどうか、情報連携先ごとに選択できるシステムがほしい
- ・ 障害者だけでなく後期高齢者についてももっと真剣に確認してほしい。電子化は高齢者を置き去りになってきている。
- ・ 障害者個人ごとに条件が異なることに対応できるのか疑問を持つ
- ・ 生成AIはハルシネーションによる誤答があるため、まだ信用できない
- ・ 文字を書かなくていい
- ・ 何度も同じことを書く事が多すぎる
- ・ 選挙の投票
- ・ 選挙の投票 重度障害者医療費助成金受給者証
- ・ 電子化した方法をアシストしてくれる体制強化
- ・ 役所の人に来てくれること
- ・ 利便性の向上だけでなく、バランスが必要だと思います
- ・ それを使う側が正しく使えるかを大前提で検討してほしいです。やっている方々は困ったことがない方々だと思います。
- ・ 介助者にやってもらう場合はこのような施策があった方がいいと思うが、自分自身でやる場合は電子化を希望しない
- ・ 今は両親のスマホで両親ができるが、親亡き後それを自分でできるかわからない。また親が死んでから支援員さん達にどうスマホのデータを引き継ぐのかなどの懸念点はある
- ・ 電子化が便利なのは理解しているが、自分はスマホをもっていないので、手続き等家族の助けがないと何もできない。
- ・ 使える人ばかりではない
- ・ 自分で出来ない
- ・ 障害者によって電子化が苦手な人もいます。
- ・ 人によっては、すべての施策に電子化 スマホ回答などは無理です
- ・ 電子化で全て便利になるとは思えない。情報弱者の救済法も同時進行すべし。
- ・ 電子化を希望しても利用しづらさそうです
- ・ 電子化を希望するが操作が良くわからない。
- ・ 便利ですが、操作できない
- ・ 本人はスマホが使えないので全て娘が代行していて、便利な反面困ることも多い。いる

**問 52 障がい福祉に関するアンケート調査においても、今回から、オンラインでの回答に方式を変えています。次回以降のアンケート調査の実施方法の希望についてお聞かせください。(ひとつだけ)**

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも、「次回もオンライン回答でよい」が6～7割以上と最も高くなっている。一方、「次回は郵送回答がよい」が身体障害者手帳所有者は18.3%、療育手帳所有者は13.0%、精神障害者保健福祉手帳所有者は12.8%、指定難病者は13.9%となっている。



(その他)

- ・ 本人が知的障害なので答えるのは保護者。オンラインでできるがそもそも意味があるのか疑問。
- ・ オンラインで良いが質問が多すぎる
- ・ この先理解できないので答えられない
- ・ オンラインでも郵送でもよいが、成人ならともかく、未成年の障がい者に対する質問として難し過ぎるし質問が多すぎるのではないかと思う(今回は協力者が回答)
- ・ 支援者向け質問の数を減らす
- ・ 小学生には難しすぎるため無作為でも年齢は考えて欲しい
- ・ オンラインで良いが、質問数が多すぎるのもっと絞ってほしい
- ・ アンケート自体が負担。やめてほしい。
- ・ 文が難しい、長い
- ・ オンライン操作が出来る時と上手くいかない時が有りオンラインと郵送との選択が出来ると良い。
- ・ オンラインは便利で問題ない。郵送だとポストに出し忘れがあるからこれでもいい。しかし静岡市障害福祉に関する～の紙にある「無作為に5000人を選び…」という文言は何か嬉しくない気持ちになり、やりたくない気分になりました。
- ・ 次回もオンラインでいいが、質問の意味などを簡単にしたい。
- ・ 今回は家族が入力してくれたが、施設の職員はそこまでやってくれないでしょう。
- ・ 親が代わりに回答した

- ・ オンラインでも紙でもいいですが、質問数が多くて大変です。もっと短時間で済むものにして下さい
- ・ 無作為に選ばれたので受けたが、正直何度もやりたくない
- ・ 質問を分かりやすく少なくする
- ・ 四肢麻痺の人に仕事や運動の質問は苦痛です 配慮してください
- ・ オンラインでもルビをつけて欲しい。文章を分かりやすく短くして欲しい。
- ・ オンラインの回答でよいが、フォントを大きくするなど見やすい工夫を。
- ・ 障害者にこのような多くの小さな文字を読む事は苦痛である。また回答をするのに手が震え、入力するのも難しく、何度もやり直さなければならぬ現実を理解してほしい
- ・ 高齢者なので、答えられない。
- ・ 年齢によっては当てはまらない又は答えられない項目があるので、電子で分けて欲しい(未成年、親代理回答)
- ・ 対象者に選ばれたい
- ・ オンラインで良いが、小学生に仕事の質問等、無駄な質問はなくしてほしい。
- ・ 年齢が高く認知症の為回答が難しい
- ・ 次回もオンライン回答でよいが内容が難しい
- ・ 毎回思うがこの手のアンケートに意味があるとは思えない 毎度同じように愚問を列挙して問うだけで結局何にどう反映されて行くのか全くわからず仕舞い 税金の無駄遣いと思う
- ・ どの程度の障害の人を対象にした回答選択なのかわからないので解答が難しいのですが郵送の方がいいです

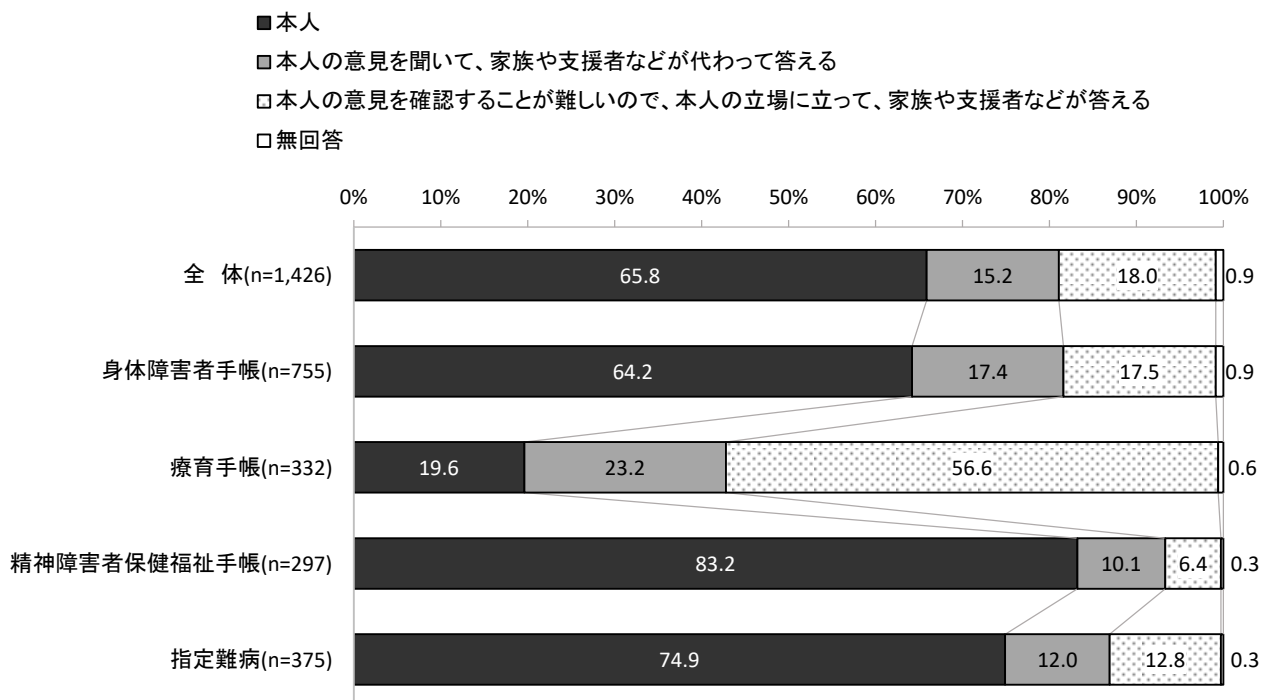
- ・ オンラインでもいいがたまに通信が切れるとやり直さないと行けないのが嫌だ
- ・ 次回からアンケート調査はお断りさせていただきたい
- ・ 期限が短い。用紙の方が助かる
- ・ PC からやりたかったが、アドレスがなかった。
- ・ ONLINE で良いが設問が多すぎる
- ・ 質問項目を少なくしてほしい
- ・ 問題数が多い
- ・ スマホでの回答大変疲れました!! 70 後半に向かっていきます 誰にも聞かず途中で問 1 に戻って しまいここまで来て URL クリックしてくださいになりました
- ・ 問いが多すぎです
- ・ よくわからない事を答えるの大変
- ・ ほぼ回答は無理。文書が長いと理解不能。
- ・ オンラインで2回やっても2回とも半分位のところで(アイフォンのせいかな?)危険なサイトとしてシャットダウンされた。すごく時間がかかったのでイライラします。しっかり対応して。
- ・ 自分は問題ないが、オンラインへの対応が難しい人のことも考えると郵送も選択できる形が望ましい
- ・ 今回は、オンライン回答ができたが次回はオンライン回答ができるか不明なので郵送との併用がよい
- ・ どちらでも選べると良い
- ・ 郵送回答も
- ・ オンライン・郵送併用。
- ・ 郵送回答の選択肢もあるとよい
- ・ オンラインと郵送を自由に選べるとよい
- ・ どちらでも良い。
- ・ 状況次第で、郵送の対応も選べるのもよいかと思う。
- ・ すまほでは見にくい
- ・ オンライン回答か郵送回答か選択できるとよい
- ・ 次回スマホを持っている環境下かが不明な為、お手数ですが、郵送回答も考えて下さると有り難いです。
- ・ オンライン回答のお知らせをハガキ郵送するとして、紙での回答を望む方へは書類を追加で郵送したらどうでしょうか
- ・ 今回は協力を得ながら出来たが、いろいろな方法を選ぶことが出来るとよい。合理化は、障がいのある人にとってはとてもやりにくい、暮らしにくくなる。次回のアンケートの際は、合理化しても、選択肢を増やして、その分の予算は取っていただきたい。
- ・ オンラインか郵送かを選択できたほうがよい
- ・ ネット環境のない人には郵送回答にした方がよいと思います。
- ・ それぞれが苦に感じない選択が出来るといい。
- ・ オンライン、郵送どちらも選択できるとよい
- ・ オンライン回答が良いが自分ではできない
- ・ 失語症で言葉の意味を理解するのに介助者が必要。また自分の意思を伝えるのに介助者が必要なため、介助者にお願ひできる環境が必要である
- ・ 基本的にオンラインでの調査は難しい。
- ・ 老人なのでインターネットが出来ない
- ・ 高齢なので難しい
- ・ できない、困る、迷惑
- ・ PCやスマホ利用が苦手や利用がない方には不向きです。
- ・ 今は父がやったが次回はどうなるかわからない
- ・ 障害者である事を家族は知らない人もいる。何も送らないで欲しい。
- ・ いつ母がいなくなるかわからない
- ・ とても大変でした 手助けがないと無理
- ・ 分からない
- ・ TEL
- ・ すべてを外国語で記載してほしい
- ・ 協力するには対価が必要

## 8. 属性・障がいについて

### (1) 調査票回答者

問 53 この調査票をお答えになった方は誰ですか。(ひとつだけ)

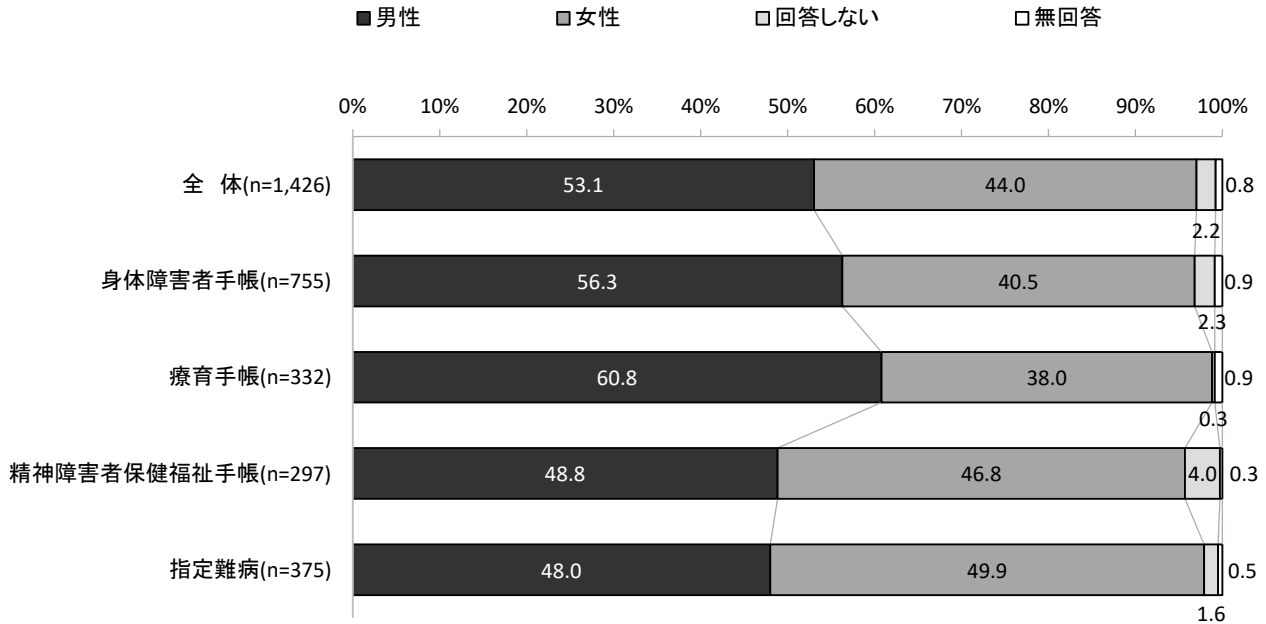
本人からの回答が全体の65.8%を占めている。身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「本人」が6割以上となっているが、療育手帳所有者では、「本人の立場に立って、家族や支援者などが回答」が56.6%となっている。



(2) 対象者本人の属性

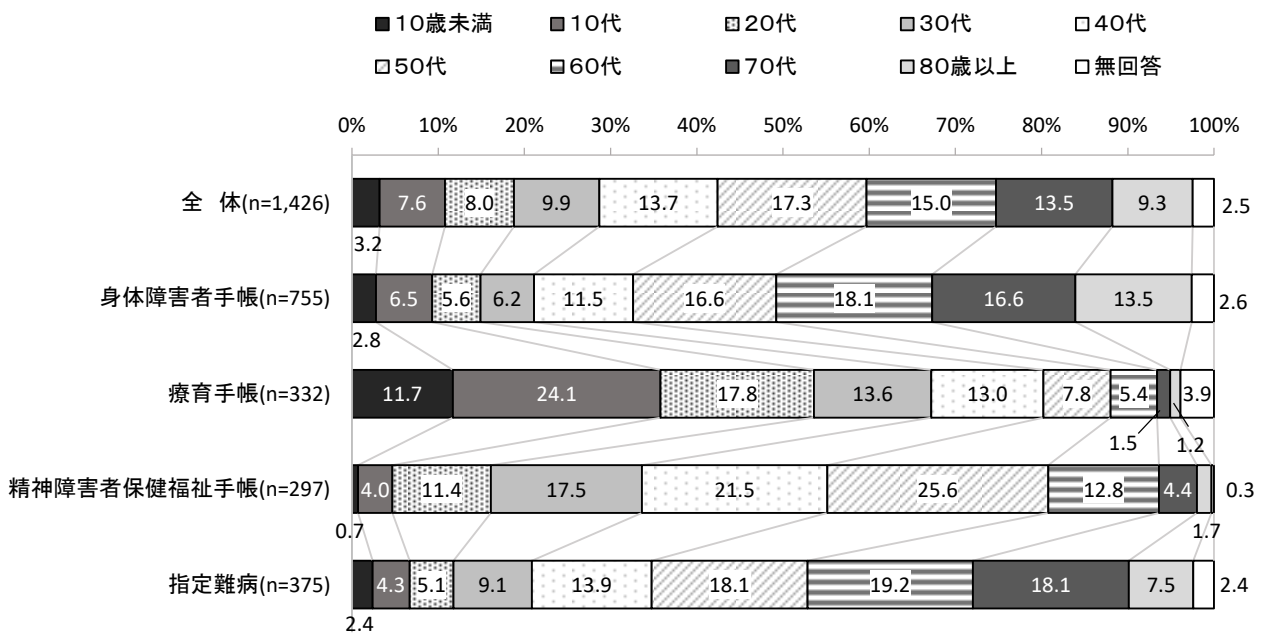
問 54 あなた(ご本人)の性別を教えてください。(ひとつだけ)

全体では、「男性」53.1%、「女性」44.0%と男性の割合が高くなっている。



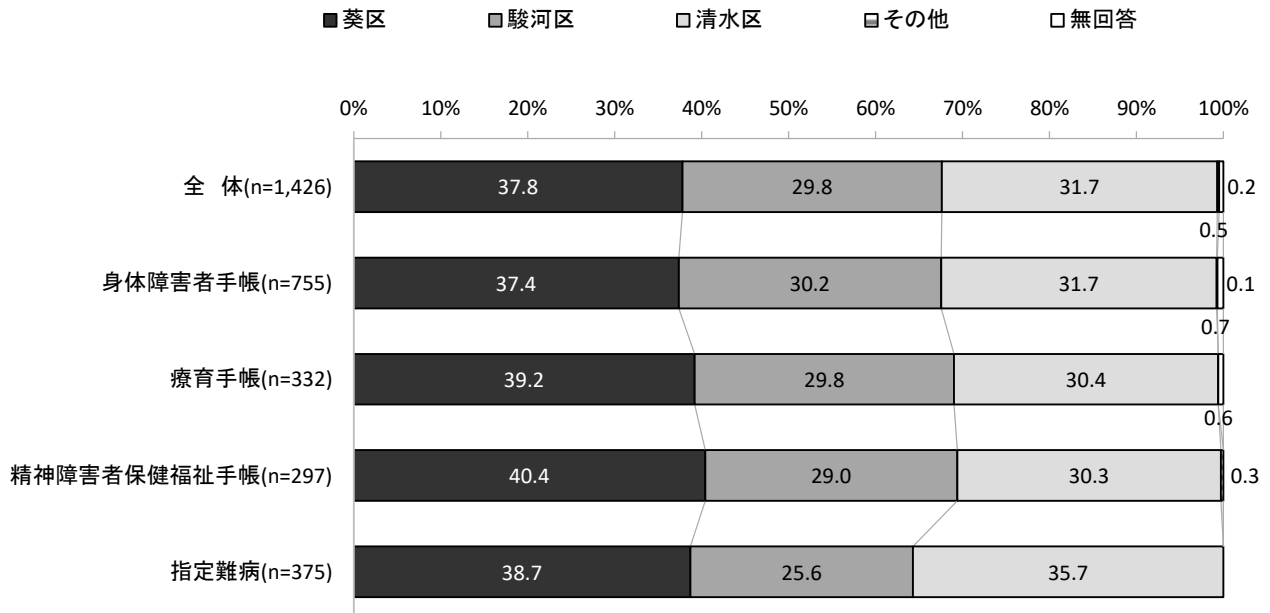
問 55 あなた(ご本人)の年齢を教えてください。(数字を記載)

身体障害者手帳保有者では、「70代以上」が3割とやや高い割合となっている。一方、療育手帳所有者では、10代以下が3割以上を占めている。精神障害者保健福祉手帳所有者では、40代と50代でおよそ半数を占めている。



問 56 あなた(ご本人)が住んでいるところを教えてください。(ひとつだけ)

全体では、「葵区」37.8%、「駿河区」29.8%、「清水区」31.7%の構成比となっている。

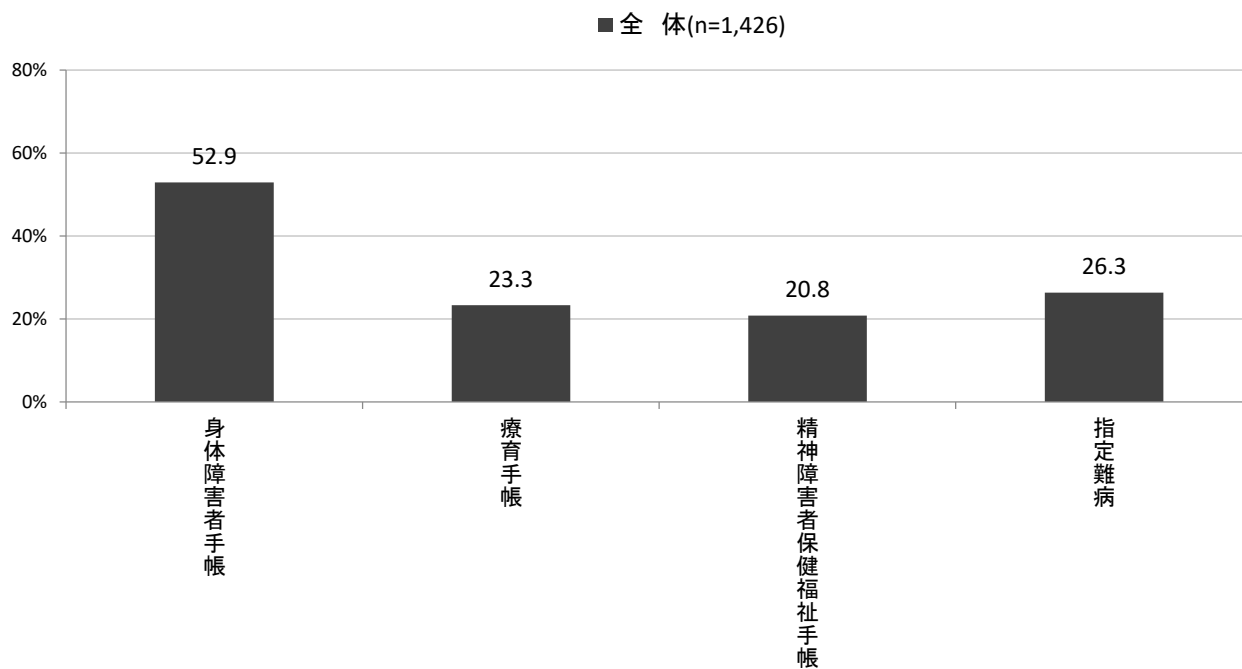


(その他) 富士宮市 1 件

## (3) 手帳の種類

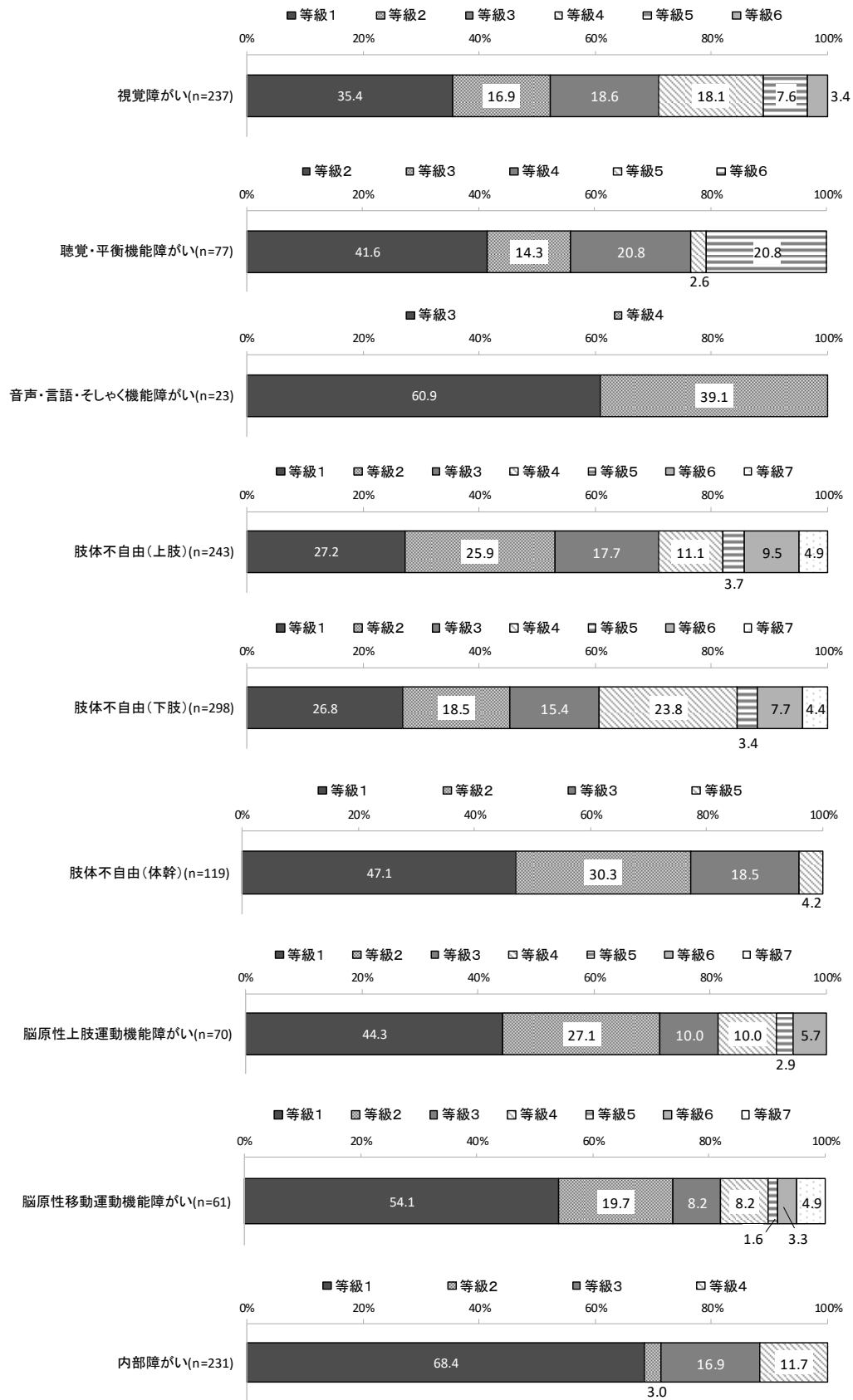
問 57 あなたの手帳の種類と程度を教えてください。(当てはまるものを選択)

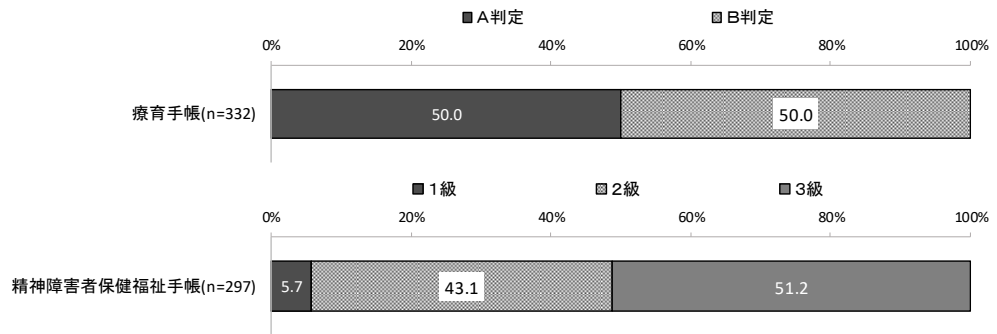
「身体障害者手帳」を所有している人は52.9%、「療育手帳」は23.3%、「精神障害者保健福祉手帳」は20.8%、「指定難病」は26.3%となっている。



<手帳の種類別の程度（等級・判定）>

身体障害者手帳



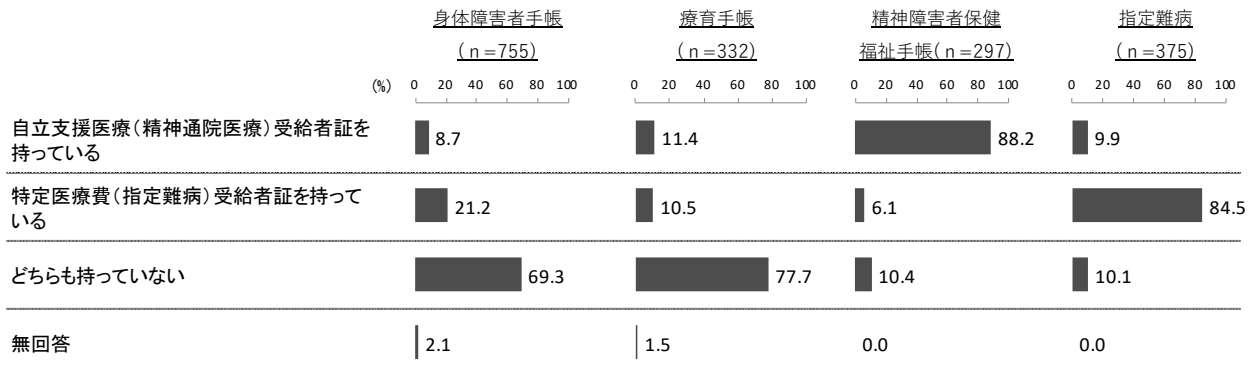
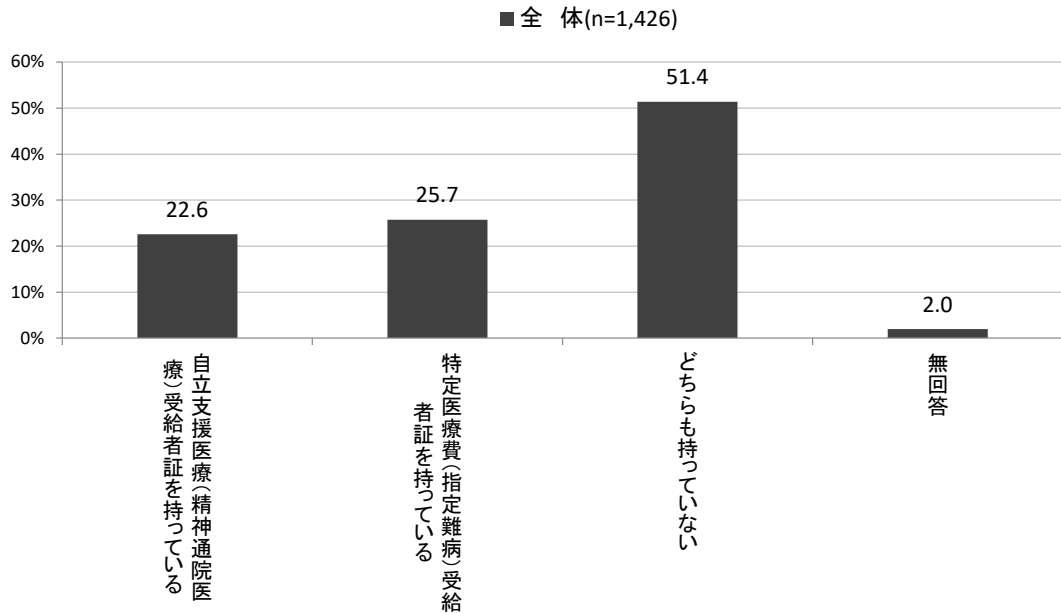


(4) 自立支援医療受給者証・特定医療費受給者証の有無

問 58 次の中から、あなたがお持ちのものを教えてください。(いくつでも)

「自立支援医療受給者証」を持っている人は、全体の22.6%となっている。

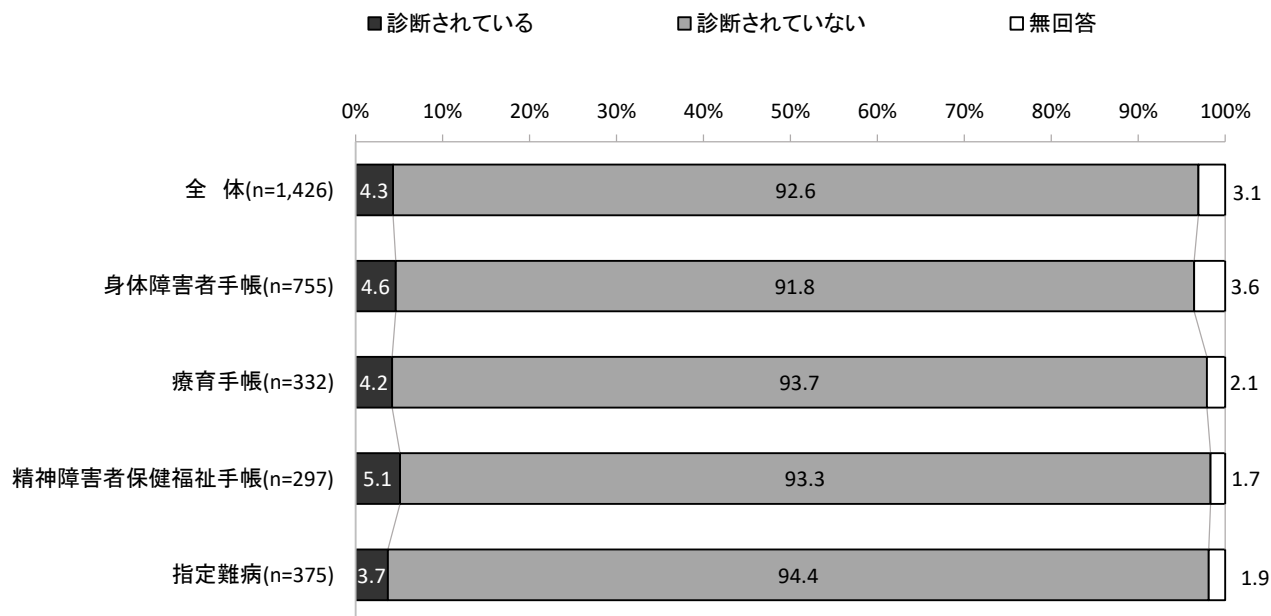
「自立支援医療受給者証」を持っている人は、身体障害者手帳所有者で8.7%、療育手帳所有者で11.4%、精神障害者保健福祉手帳所有者で88.2%、指定難病者で9.9%となっている。



(5) 高次脳機能障がい診断

問 59 あなたは、高次脳機能障がいと診断されていますか。(ひとつだけ)

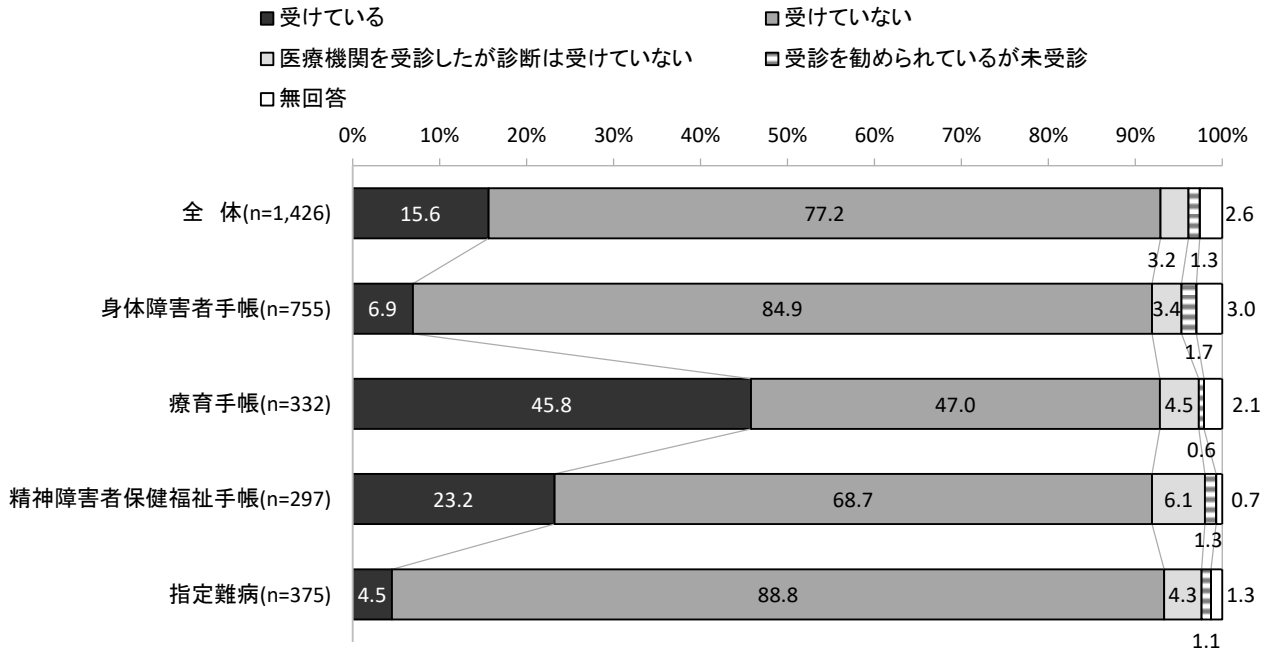
高次脳機能障がいについて、「診断されている」は全体の4.3%となっている。



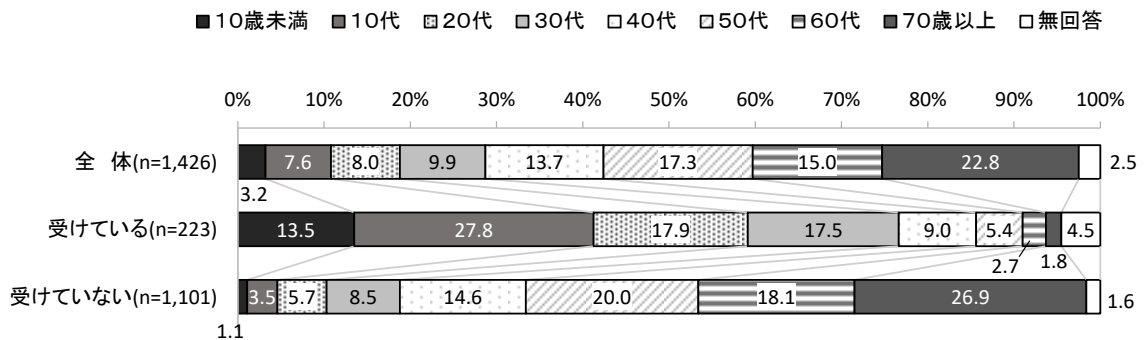
(6) 発達障がいの診断状況

問 60 あなたは、発達障がいの診断を受けていますか。(ひとつだけ)

発達障がいの診断を「受けている」人は、全体の15.6%となっている。療育手帳所有者で「受けている」人は45.8%、精神障害者保健福祉手帳所有者で「受けている」人は23.2%となっている。

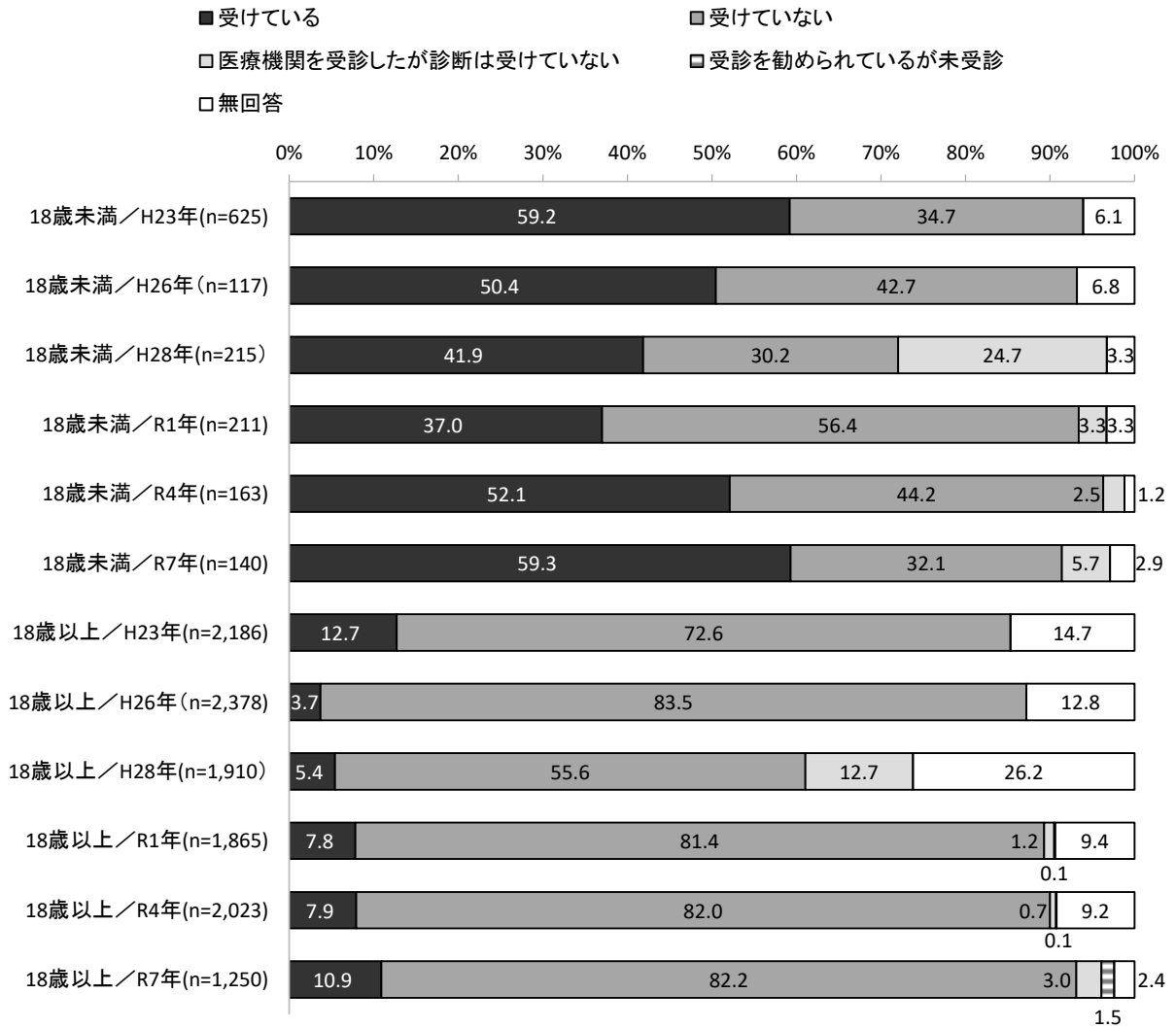


<発達障がいの診断状況別 年代構成比>



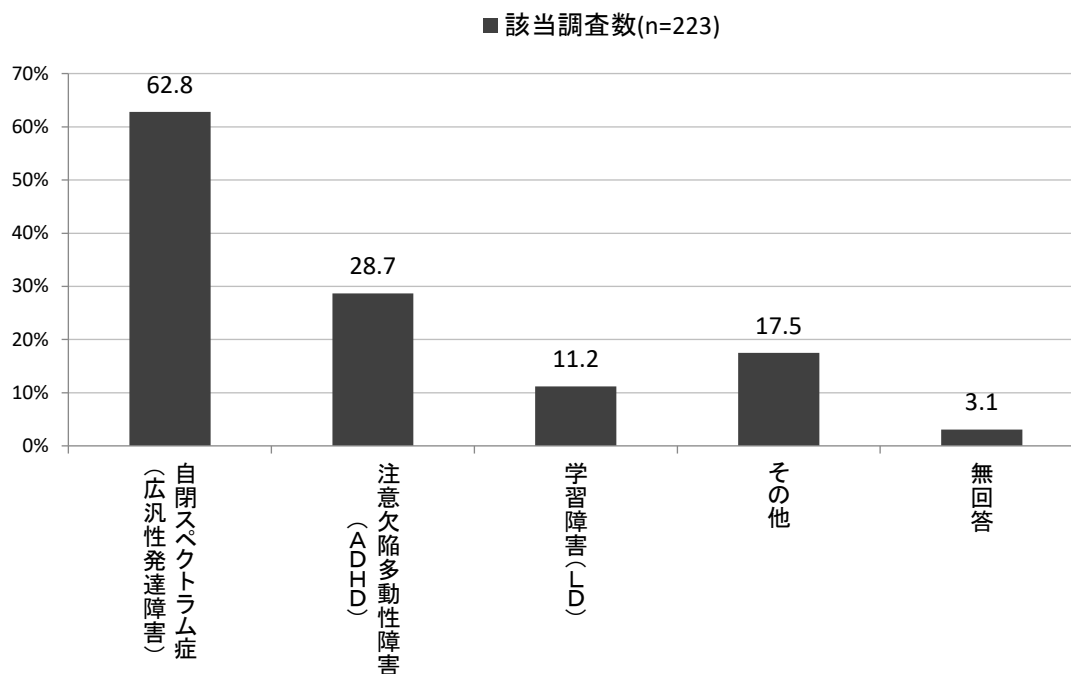
<経年比較>

18歳未満において、令和元年までは発達障がい診断を「受けている」人の割合が減少傾向にあったが、令和4年以降は増加傾向となっており、今回調査では59.3%と、過去最も高くなっている。



問 61 問 60 で発達障がいの診断を「受けている」場合、その診断名を教えてください。(いくつでも)

「受けている」と回答した人に診断名をたずねたところ、「自閉スペクトラム症」62.8%と最も高く、次いで「注意欠陥多動性障害」28.7%となっている。



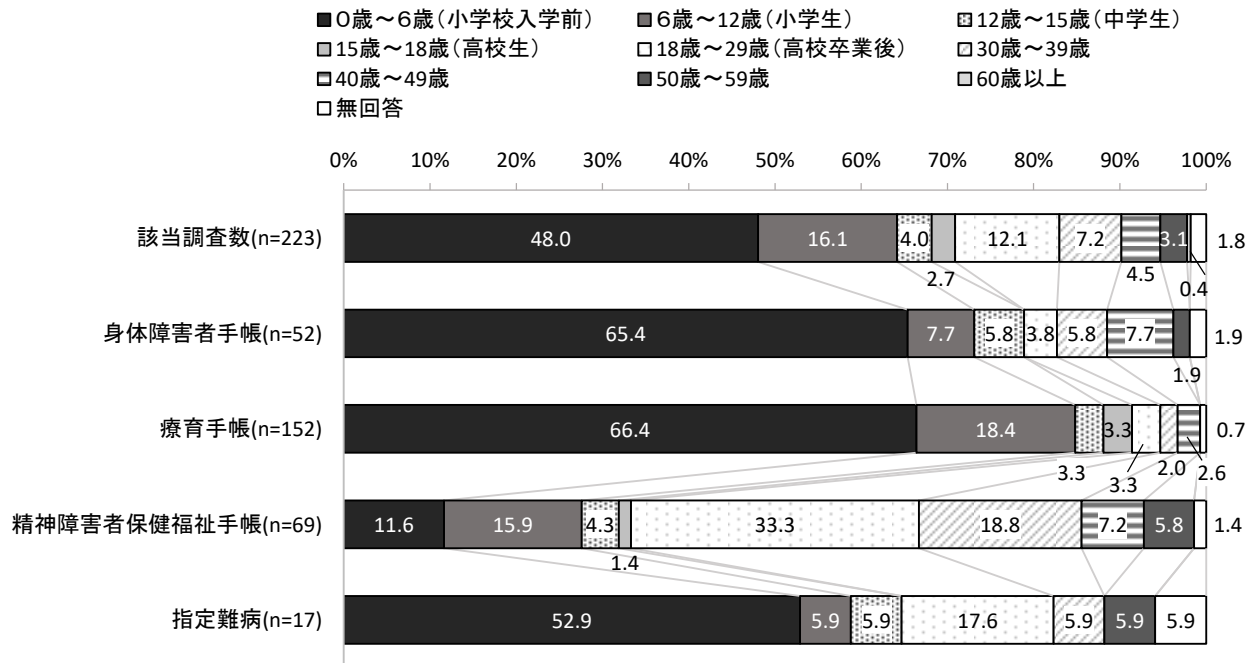
(その他)

知的障害(6件)/軽度知的障害(3件)/ダウン症(2件)/よくわからない(3件)/CHD8 遺伝子異常症/アスペルガー症候群(ASD)/もやもや痛/最重度発達障害/精神薄弱(知的)障害/精神発達遅滞/染色体の病気による発達の遅れ/知的障害を伴う自閉症/聴覚過敏、APD(聴覚情報処理障害)かもしれない。/脳性マヒ/発達障がい/発達障害グレーゾーン

**問 62 問 60 で発達障がいの診断を「受けている」場合、診断を受けた時期を教えてください。(ひとつだけ)**

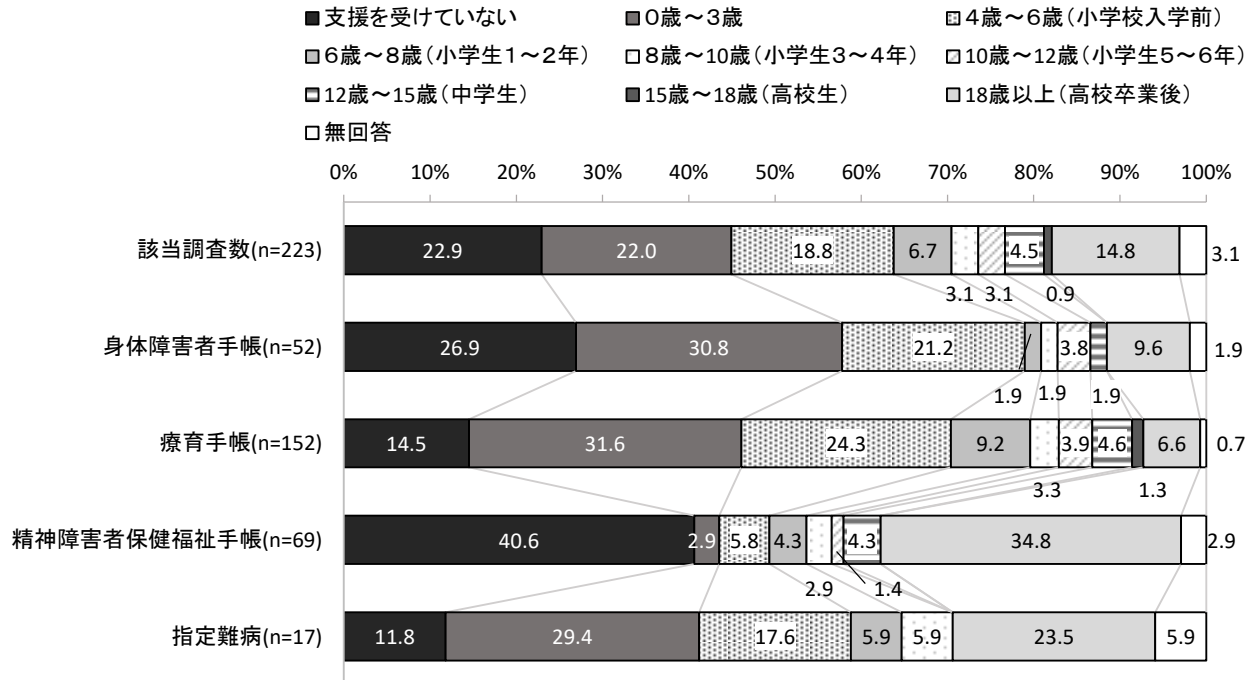
「受けている」と回答した人に診断を受けた時期をたずねたところ、全体では、「0歳～6歳（小学校入学前）」48.0%が最も高く、次いで「6歳～12歳（小学生）」16.1%となっている。

精神障害者保健福祉手帳所有者は、「18歳～29歳（高校卒業後）」33.3%と最も高くなっている。



**問 63 問 60 で発達障がいの診断を「受けている」場合、あなたは、発達障がいに関する支援を受けていますか。また、受けている場合はいつからですか。(ひとつだけ)**

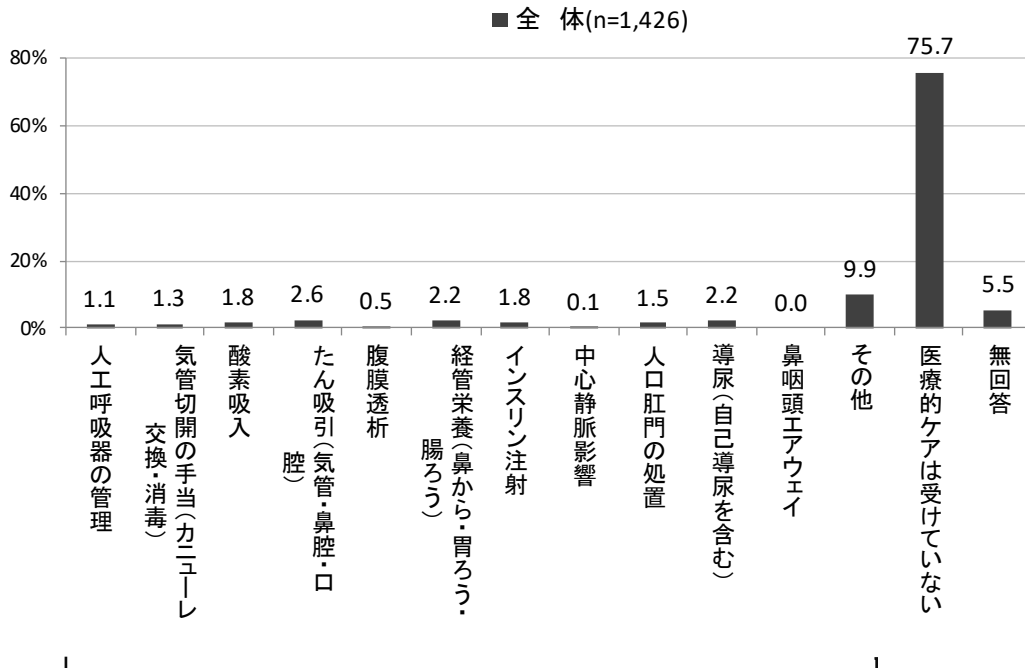
発達障がいに関する支援を受けているか、受けている場合はいつからかをたずねたところ、全体では、「支援を受けていない」22.9%が高くなっている。支援を受け始めた時期は、「0歳～3歳」22.0%と最も高く、次いで「4～6歳（小学校入学前）」18.8%となっている。



(7) 医療的ケアの有無

問 64 あなたは、日常的に医療的ケアを受けていますか。(いくつでも)

全体の 18.8%が何らかの医療的ケアを受けている。

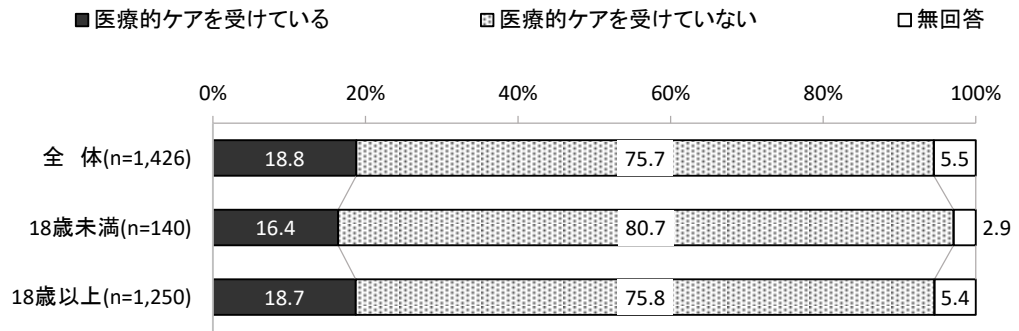


医療的ケアを受けている 18.8 %

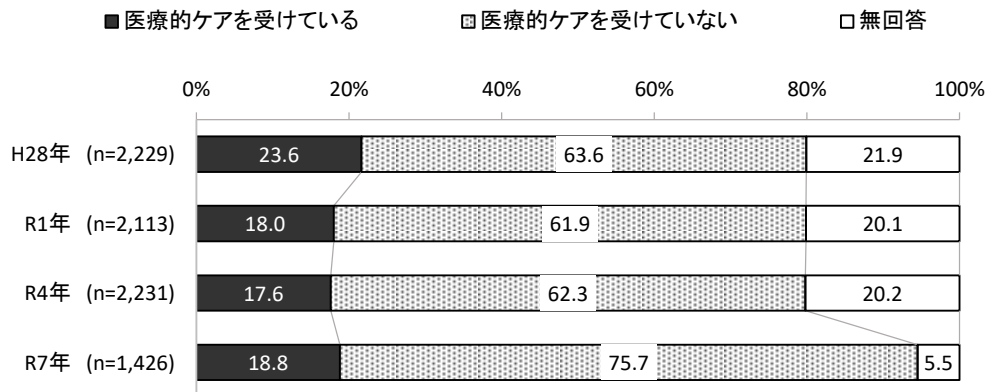
(その他)

人工透析・人工腎臓・血液透析(30件)/定期通院(13件)/ペースメーカー(12件)/薬の服薬(8件)/てんかん(4件)//CPAP(2件)/成長ホルモン注射(2件)/補聴器使用(2件)/2週間に一回自己注射、無呼吸症によりCPAP/ARV/1cd/アダリブマブ注射/アトピー性皮膚炎によるデュピクセント投与/ストーマ管理 膀胱留置カテーテル/ストーマを付けている/デューサービス/デュピクセント皮下注 300mg ペン/パーキンソン病/ビタミン B12 点滴/リュウマチ/リュウマチの治療、緑内障の治療、膝関節の治療/レミケード点滴加療/ワーファリン内服/医療器具の購入補助/往診にて治療/誤嚥性肺炎をやって吸引を時々酷い時に使います。/週1回成長ホルモンを補う皮下注射/重症筋無力症→月1回診察/心臓/心臓機能障害/人工股関節/人工内耳/腎臓移植、免疫抑制療法/睡眠時無呼吸症候群/精神科訪問看護/精神薬による治療。/前立腺肥大、多血症、痛風/装具装着/通院している自宅で自分で注射をしている/低酸素状態の際に酸素吸入/定期的に耳鼻科に通院及び補聴器の調整実施/内分泌疾患によるホルモン補充療法/排泄機能障害3級/服薬(処方された安定剤・眠剤)/免疫不全の診察と特定の指定の薬の支給(定期的)など。/免疫抑制剤/疼痛ブロック注射/膀胱全摘出のため、オストメイトです

<成人区分別>



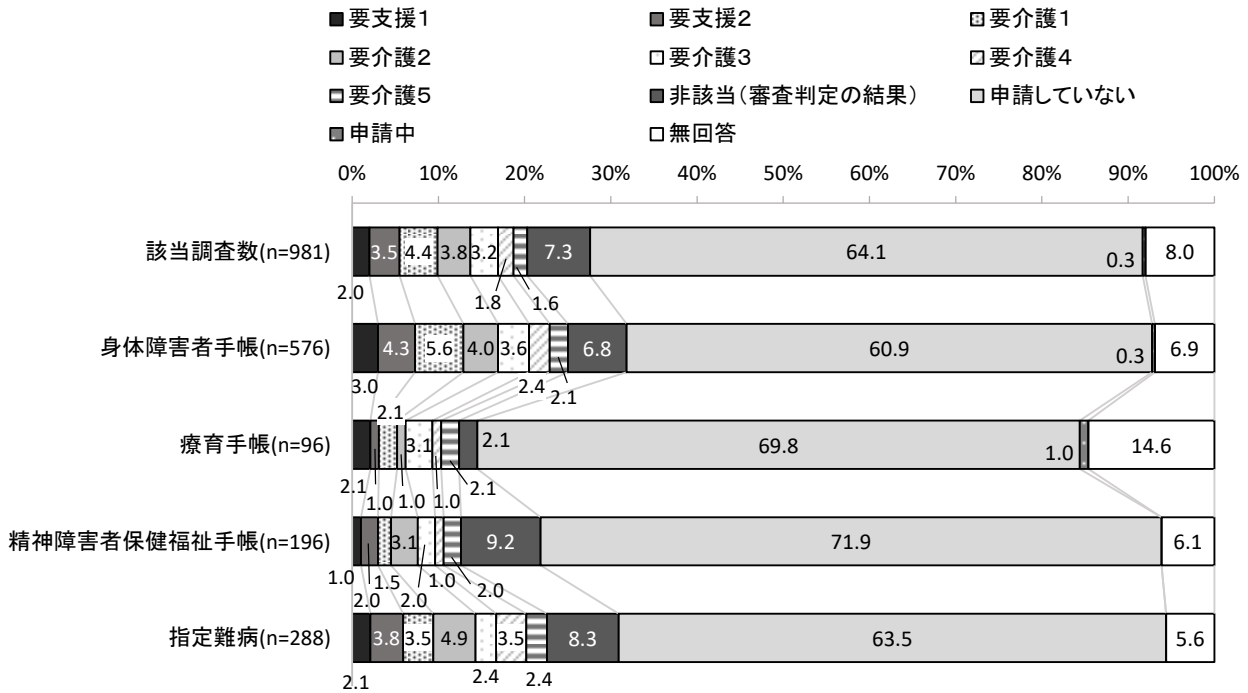
<経年比較>



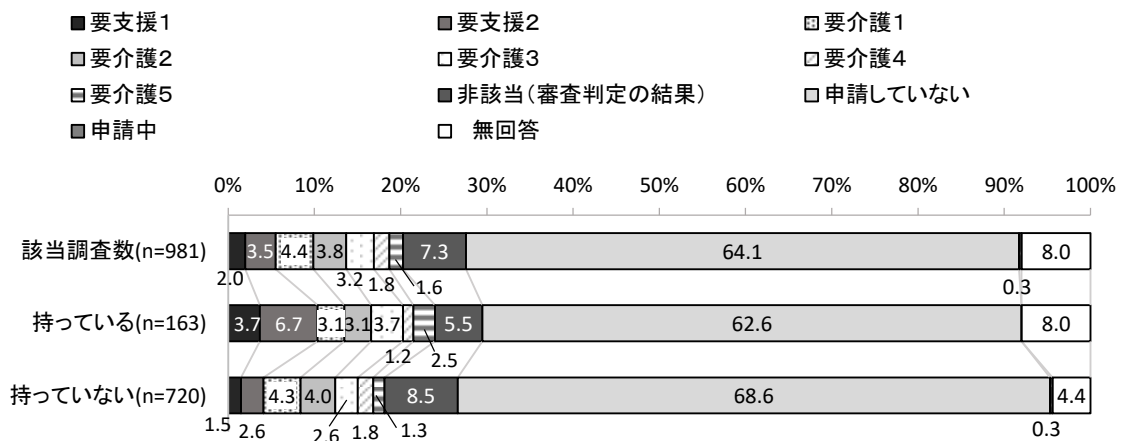
(8) 介護保険の要介護度

問 65 ご本人が 40 歳以上の場合、あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている方は、要介護度をお答えください。(ひとつだけ)

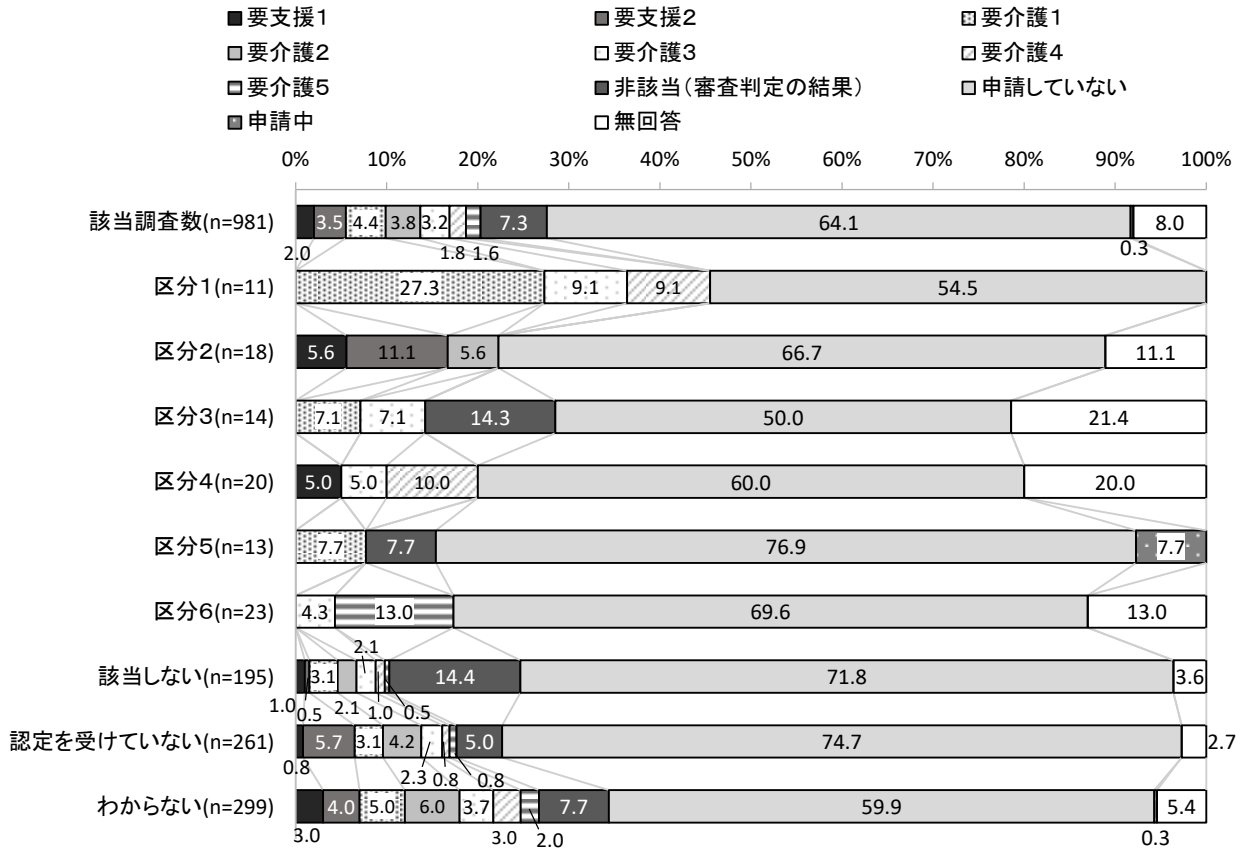
40 歳以上の人で、「要支援」の認定を受けているのは全体の 5.5%、「要介護」は 14.8% となっている。



<障害福祉サービス受給者証の所有別>



<障害支援区分別>

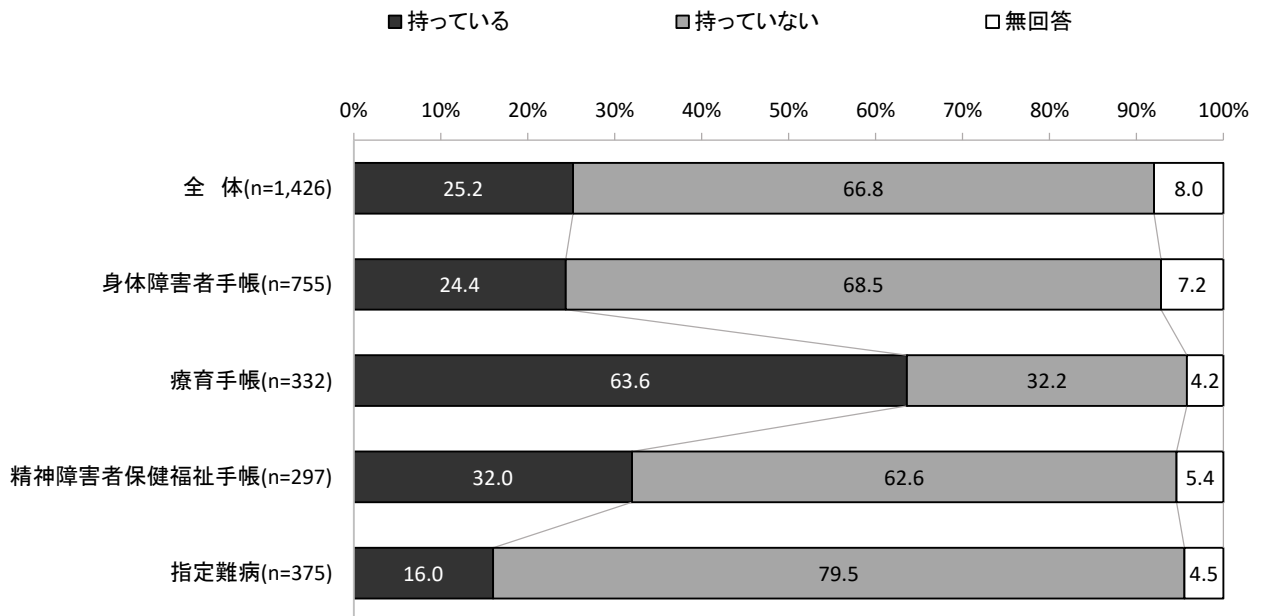


(9) 受給者証の有無

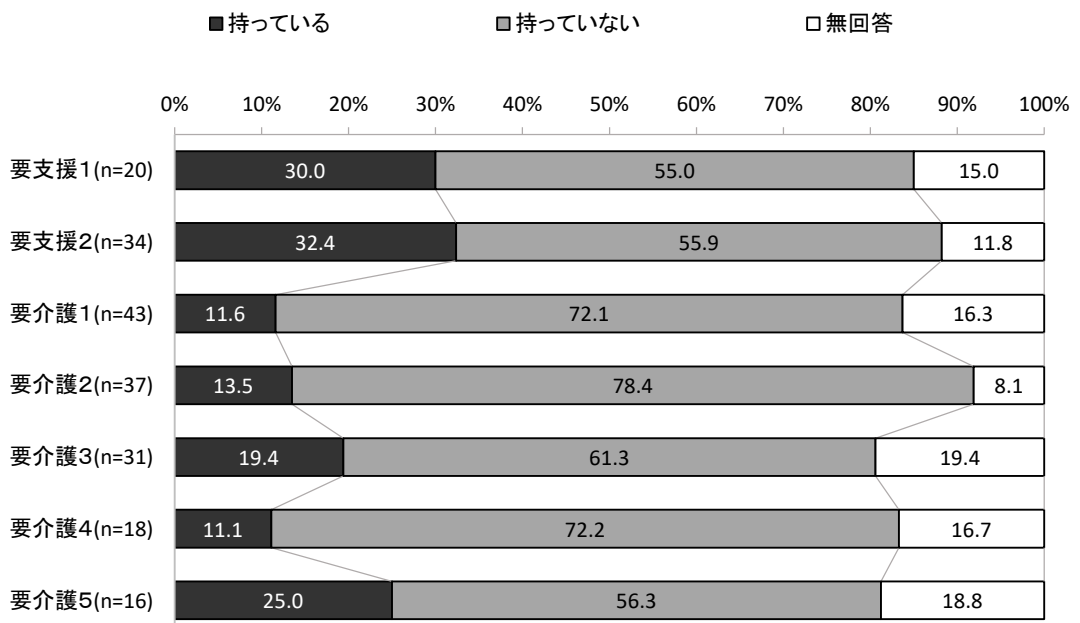
問 66 障害福祉サービス受給者証又は通所受給者証(高校3年生以下の方のみ)をお持ちですか。また、18歳以上の方は、障害支援区分についてもお答えください。(各項目でひとつだけ)

【障害福祉サービス受給者証】

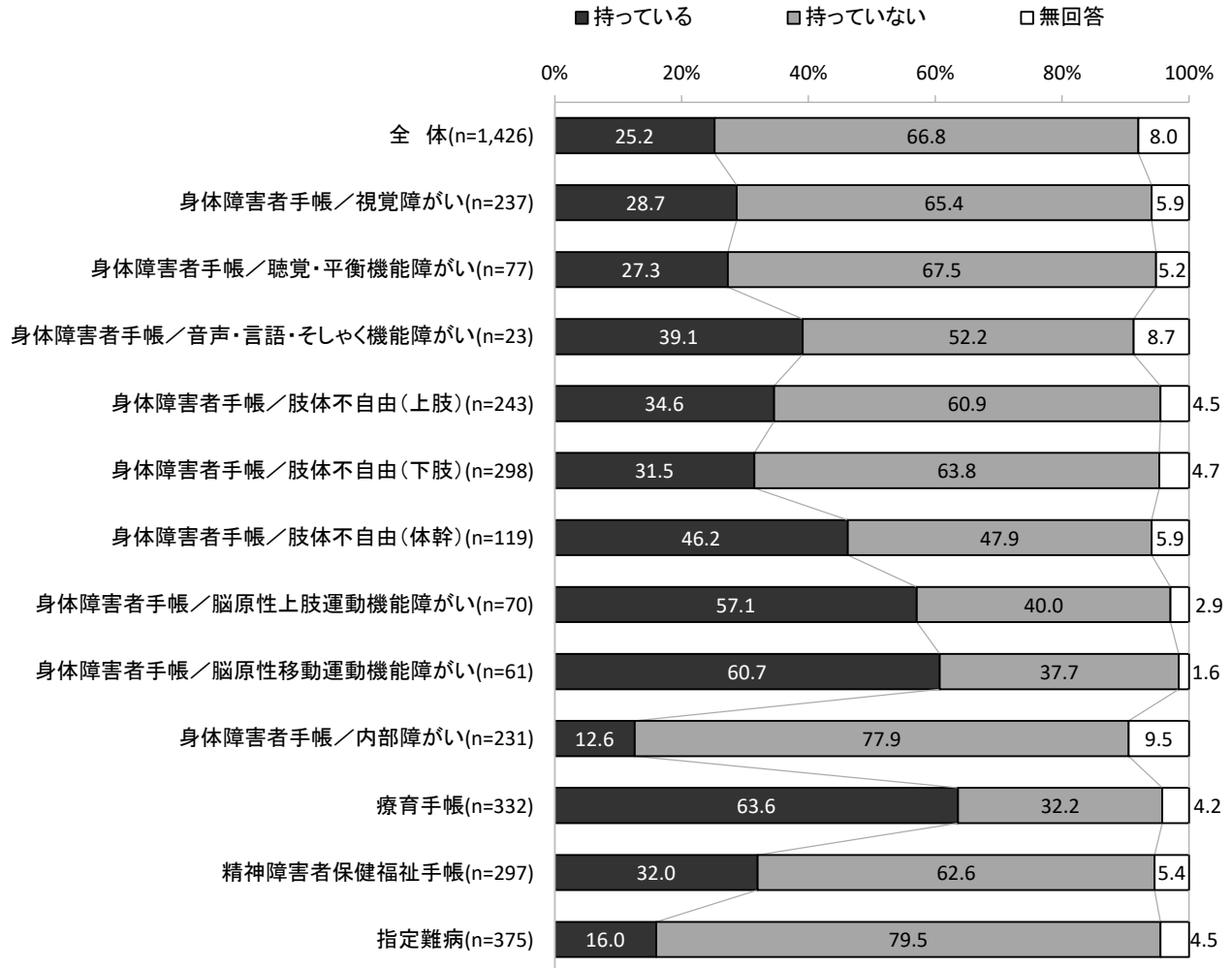
障害福祉サービス受給者証は、全体の25.2%が所有している。療育手帳所有者においては、所有者が63.6%となっている。



<要支援・要介護認定の有無別>

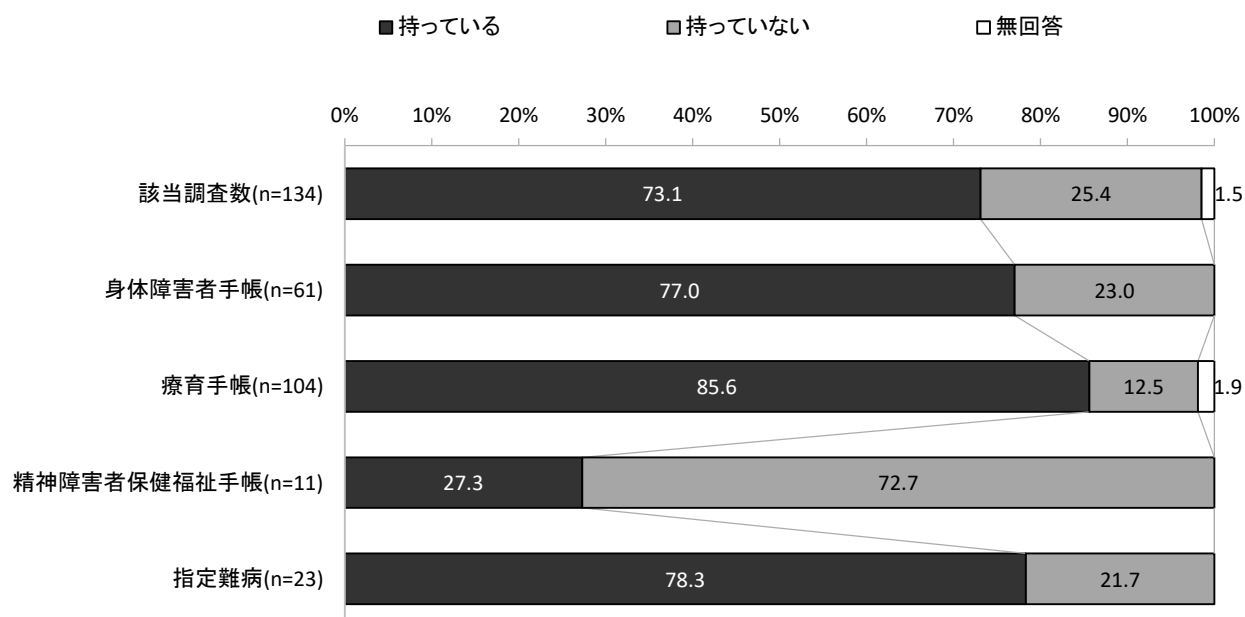


<障害者手帳の種類（詳細）別>



【通所受給者証】

通所受給者証は、高校3年生以下全体の73.1%が所有している。



【障害支援区分】

認定を受けている人は、18歳以上全体の13.4%となっている。療育手帳所有者は、認定を受けている人がおよそ5割となっている。

